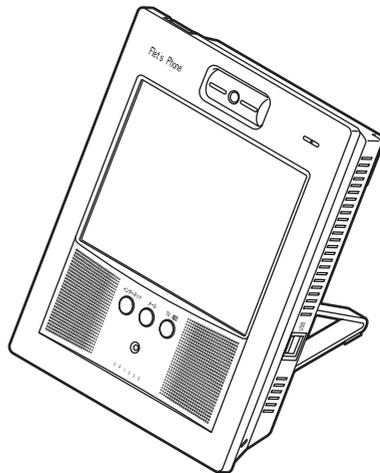


# フレッツフォン VP1500

## 取扱説明書

このたびは、フレッツフォン VP1500 をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手元においてお使いください。



# 安全にお使いいただくために 必ずお読みください

このたびは、フレッツフォン VP1500をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。本書の表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

## 本書中のマーク説明

 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 <b>お願い</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 <b>ワンポイント</b>	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。
 <b>お知らせ</b>	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

## ご使用にあたってのお願い

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準にもとづくクラスB情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ご使用の際は、取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本商品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本商品に関し、海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。本商品は、輸出貿易管理令別表第1-9（7）項に定める輸出規制品に該当いたしますので、日本国外へ持ち出す際には日本政府の輸出許可等必要な手続きをお取りください。許可手続き等にあたり特別な資料が必要な場合は、お買い上げの販売店またはお近くの当社のサービス取扱所にご相談ください。  
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be use in any other country.
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら当社のサービス取扱所へお申しつけください。  
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い上げになった販売店でお求めください。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、または停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報は、別に紙に書き写すなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、または停電などの外部要因によって、メモリに保存されている登録したデータなどが消失することがあります。重要なデータなどは、別に紙に書き写すなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本書の内容、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観は、予告なしに変更することがあります。
- 本商品は著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロビジョン社の許可が必要です。またその使用は、マクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のPPV（ペイ・パー・ビュー）に制限されています。
- 本商品を分解したり改造したりすることは禁じられています。

本商品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

Microsoft®、Windows®、Windows Media™、Internet Explorer®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、本文中に記載の会社名および商品名およびロゴはそれぞれの会社の商標、または登録商標です。

## 本商品を廃棄（または譲渡、返却）される場合の留意事項

- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。データの流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品の設定をお買い上げのときの状態に戻し、本商品内に登録または保持されたデータを消去くださいますようお願いいたします。お買い上げのときの状態に戻す方法は、「本商品をお買い上げのときの状態に戻すには（初期化）」(P.91) をご覧ください。
- 本商品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、最寄りの自治体にお問い合わせください。

## 警告

- 万が一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。すぐにACアダプタを電源コンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- んれた手で本商品の操作やACアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 万が一、本商品を落としたり本商品を破損した場合、または内部に異物や水などが入った場合は、ACアダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔などから内部に、金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万が一、異物が入った場合は、本商品のACアダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本商品を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品のカバーは外さないでください。内部には電圧が高い部分があり、感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は、当社のサービス取扱所にご依頼ください。
- 本商品を次のような環境に置かないでください。
  - ・ 直射日光が当たる場所、暖房設備、ボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所
  - ・ 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
  - ・ 湿気の多い場所や水、油、薬品などのかかる恐れがある場所
  - ・ ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
  - ・ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ACアダプタのコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重いものを乗せたり加熱したりすると、コードが破損し、火災、感電の原因となることがあります。ACアダプタのコードが傷んだら、電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 付属のACアダプタは、本商品専用です。他の商品に接続したり、使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- ACアダプタの電源コードのプラグを電源コンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。プラグの歯に金属などが触れると、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品のそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災、感電の原因となることがあります。
- ACアダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- ACアダプタのコードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。すぐにACアダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

- 本商品から異常音がしたり、本商品やACアダプタなどが熱くなっている状態のまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。すぐにACアダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。
- 本商品の画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。すぐにACアダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- ACアダプタは、AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品を移動するときは、ACアダプタの電源コードを電源コンセントから抜き、LANケーブルなど本商品に接続されているケーブル類をすべて外してから移動させてください。コードやケーブルが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- ACアダプタにものを乗せたり布をかけたたりしないでください。ケースや電源コードの被膜が溶けて、火災、感電の原因となることがあります。
- 通電中の本商品やACアダプタに、長時間触れないでください。長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。
- 液晶画面が破損し、液晶が漏れ出した場合は、液晶を吸い込んだり飲んだりしないでください。万が一口に入った場合は、すぐに吐き出し、うがいをしすすみやかに医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入った場合は、ただちに水でよく洗浄して、すすみやかに医師に相談してください。また、液晶画面が破損している場合は手を触れないでください。けがの原因となることがあります。
- 差し込み口が2つ以上ある電源コンセントに他の電気製品のACアダプタ等を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電の原因となることがあります。

## ⚠ 注意

- 本商品をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所や振動、衝撃の多い場所に置かないでください。また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品やACアダプタのコードを熱器具に近づけないでください。コードの被膜が溶けて、火災、感電の原因となることがあります。
- 近くに雷が発生したときは、ACアダプタを電源コンセントから抜いてご使用を控えてください。雷による、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔をふさがしないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。本商品から周囲の壁などまでは、10cm以上離して設置してください。また、次のような使いかたはしないでください。
  - ・ じゅうたんや布団の上に置く
  - ・ テーブルクロスなどをかける
  - ・ 本棚、タンスの中、押入れの中など風通しの悪い場所に置く
- 本商品に乗ったり、強い荷重を加えたりしないでください。壊れてけがの原因となることがあります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 液晶画面に触れるときは付属のタッチペンを使用してください。
- 液晶画面を強く押ししたり、引っかいたりしないでください。画面にムラが出たり、破損したり、液晶画面の故障の原因になります。
- タッチペンは、乳幼児の手の届かないところに保管してください。けがなどの原因となります。もし、飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。
- タッチペンで目を突いたりしないようにしてください。失明や目に障害を与える原因となります。
- 本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため、必ず本商品のACアダプタを電源コンセントから抜いてください。
- 本商品をお手入れするときは、ACアダプタを電源コンセントから抜いて行ってください。火災、感電の原因となることがあります。
- ACアダプタを電源コンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。ACアダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電や断線の原因となることがあります。
- ACアダプタは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、ACアダプタを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災、感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

## STOP お願い

- 次のようなときに、シャットダウン操作をしたり、ACアダプタや電源コードを抜いたりしないでください。故障の原因となることがあります。
  - ・ 画面に「電源を抜かないでください。」と表示されているとき
  - ・ 本商品の起動中
  - ・ ステータスランプが橙色に速く点滅している（各種データを保存している）とき
  - ・ システムのアップデート中
- 本商品の電源を切るときは、必ずシャットダウン操作を行ってから電源コードを抜いてください。シャットダウン操作を行わないで電源コードを抜くと、本商品が起動しなくなる場合があります。シャットダウン操作については、「本商品の電源の切りかた」(P.37)をご覧ください。
- 本商品の電源を入れたときや再起動したときには、システムが動作するまでに、約2～4分かかります。接続しているネットワークの状態によって異なります。
- 電源を再度入れるときは、電源を切ってから30秒以上経ってから行ってください。電源を切ったあとすぐに電源を入れたり、電源コードの抜き差しや電源ボタンの操作を連続して行ったりすると、起動やシャットダウンが正しくできない場合があります。
- 通話中に本商品へ取り付けたタッチペンケースにタッチペンを出し入れすると、相手側に大きな音が送信される場合があります。ご注意ください。なお、タッチペンケースは任意の場所に取り付けができます。
- USBポートにセットしたUSBメモリは、データ書き込み中や読み込み中などでアクセスランプが点滅している場合は、抜き差しを行わないでください。データ破損や故障する可能性があります。
- 本商品をぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは薄い中性洗剤を付けてよくしぼった布で汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
- 液晶画面の汚れをふき取るときは、市販のクリーニングクロスで軽くふいでください。
- 本商品のカメラのレンズにほこりなどがたまったときには、柔らかいブラシやハケなどで掃除してください。
- 本商品のカメラで直射日光を撮影すると、カメラが壊れる可能性があります。
- 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品を電気製品、AV・OA機器など磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理機器など）。
  - ・ 磁気や電気の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります。特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。
  - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - ・ 放送局や無線局などが近く、雑音などが大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。
- 硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。
- 本商品をご使用中、本体やACアダプタに触れるとあたたかく感じるがありますが、故障ではありません。安心してご使用ください。
- 本商品のプラスチック部品の一部が、光の具合によっては傷に見える場合があります。これはプラスチック部品の製造過程で生じるもので、構造上および機能上は問題ありません。
- タッチペンは、画面を操作するとき以外に使用しないでください。誤った使いかたをして、タッチペンを破損しないようにご注意ください。

# 目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください.....	2
ご使用にあたってのお願い.....	3
目次.....	7
セットを確認してください.....	9
本書の読みかた.....	10

## ■ ご使用の前に ..... 11

特長.....	12
各部の名前.....	14
接続します.....	16
初期設定をします.....	26
初期設定を始める前に.....	26
本商品でインターネット接続をするための設定をします.....	27
本商品でテレビ電話をするための設定をします.....	29
基本操作について.....	31
タッチペンの使いかた.....	31
本体ボタンの使いかた.....	33
画面について（テレビ電話画面の場合）.....	34
本商品の電源の切りかた.....	37
文字の入力のしかた.....	38

## ■ 機能操作編 ..... 43

電話をかけます.....	44
IPテレビ電話サービスをご利用になる際のご注意.....	44
テレビ電話画面について.....	47
電話番号にタッチして電話をかけます.....	50
前にかけた電話番号にかけ直します（リダイヤル）.....	55
発信履歴から電話をかけます.....	56
着信履歴から電話をかけます.....	57
短縮ボタンから電話をかけます.....	58
ハンドセット（オプション）を使って電話をかけます.....	60
電話を受けます.....	61
電話を受けます.....	62
ハンドセット（オプション）を使って電話を受けます.....	64
電話帳を利用します.....	65
電話帳に登録します.....	65
電話帳を編集します.....	67
電話帳を検索します.....	68

その他の機能について .....	69
ホームページをみます .....	71
ひかり電話で保留、キャッチホン、内線、内線転送機能を 利用します .....	73
留守番電話を利用します .....	76
メールを送受信します .....	80
メモ帳でメモを作成します .....	81
ファイル機能で画像や動画をみます .....	82
ツール機能で本商品の設定や再起動などをします .....	83
本商品の設定変更をするには .....	84
本商品をお買い上げのときの状態に戻すには（初期化） .....	91
本商品のシステムをアップデートするには .....	92

## ■ 付 録..... 93

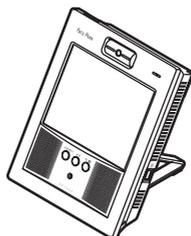
制限事項 .....	94
仕 様 .....	95
故障かなと思ったら .....	97
こんなときは.....	102
エラーメッセージ一覧 .....	103
索 引 .....	117
保守サービスのご案内 .....	119

# セットを確認してください

本商品のパッケージの中には、以下のものが同梱されています。不足するものがないかご確認ください。

## 本体

- フレッツフォン VP1500 (1台)



## 付属品

- ACアダプタ (1個)



- 電源コード (1本)



- フレッツフォン VP1500  
取扱説明書 (本書)



- 設定ガイド
- 操作ガイド

- LANケーブル (1本)



- タッチペンケース



- タッチペン (1本)



- 保証書 (1枚)



- アップデートのお願い (1枚)
- お客様へのお願い (1枚)

## ワンポイント

- ・ オプション品として、ハンドセットをご用意しています。



## お知らせ

- 不足するものがあったり、取扱説明書に乱丁、落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

# 本書の読みかた

本書で使われている表記には、次のようなルールがあります。

表 記	説 明	記載例
本商品	ご使用のフレッツフォン VP1500のことです。	本商品には、ホームページ閲覧機能が搭載されています。
[ ] ボタン	画面上のボタンやアイコンはその文字を表記します。	[画像] ボタンにタッチします。 [OK] ボタンにタッチします。
→	連続した操作は→で表記します。	[画像] → [メモ리카ード] の順にボタンにタッチします。
「 」	画面上の選択項目や入力欄は、「 」と表記します。	「市外局番号」欄に入力します。 着信設定画面の「受話通話音量」を調節します。
[ ] キー	キーボードのキーは[ ]キーと表記します。	[全角かな] キーにタッチします。
(P. )	他のページに詳しい説明がある場合は(P. )と表記します。	詳しくは、「本商品の電源の切りかた」(P.37)をご覧ください。

※本文中の画面やイラストは、実際と多少異なることがあります。

# ご使用の前に

---

特 長

各部の名前

接続します

初期設定をします

基本操作について

文字の入力のしかた

## 特 長

本商品は、Bフレッツやフレッツ・ADSLなどのブロードバンド回線を利用して、動画、音声の双方向通信を行います。パソコンがなくてもテレビ電話を実現する、ブロードバンド通信端末です。

### ● 本商品は、次のような使いかたができます。

- ・ ひかり電話を利用して、IP電話サービスを利用する機器として使う
- ・ プロバイダに接続して、インターネットとIPテレビ電話サービスを利用する機器として使う
- ・ FLET'S.Netナンバーを利用して、IPテレビ電話サービスを利用する機器として使う（NTT東日本エリアのみ）
- ・ 「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能を利用して、「IPテレビ電話サービス」を利用する機器として使う（NTT西日本エリアのみ）

これらの使いかたは、初期設定時にお客様が選択できます。また、設定を変更することで、利用するサービスを変更することも可能です。本商品1台で、お客様の環境に合わせて柔軟な使いかたができます。

### ● 本商品では、次のIPテレビ電話サービスを利用できます。

#### ・ ひかり電話の電話サービス

NTTにひかり電話の申し込みをします。現在お使いの電話番号がそのまま使えるIP電話サービスです。緊急通報（110番、118番、119番）への発信もできます。

なお、「ひかり電話」のテレビ電話を利用するには、発信・着信ユーザともに、「テレビ電話接続」（NTT東日本）／「テレビ電話」（NTT西日本）のサービスの申し込みが必要です。詳細については、「ひかり電話」のホームページをご確認ください。

NTT東日本：<http://www.ntt-east.co.jp/t/index.html>

NTT西日本：<http://flets-w.com/hikaridenwa/index.html>

#### ・ プロバイダが提供する「050」番号を利用したIPテレビ電話サービス

ご利用のプロバイダにIPテレビ電話サービスの申し込みをします。「050」で始まるIP電話、加入電話、携帯電話およびPHSへも電話をかけられます。SIP（IPv4対応）と呼ばれる接続方式に対応したIPテレビ電話サービスです。

#### ・ NTT東日本が提供するFLET'S.Netナンバーを利用したIPテレビ電話サービス

NTT東日本にFLET'S.Netナンバーの申し込みをします。FLET'S.Netナンバーの利用者どうしでテレビ電話ができます。SIP（IPv6対応）と呼ばれる接続方式に対応したIPテレビ電話サービスです。

#### ・ 「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能

NTT西日本にサービスの申し込みをします。本サービスの利用者どうしでテレビ電話ができます。SIP（IPv6対応）と呼ばれる接続方式に対応したIPテレビ電話サービスです。

#### ・ テレビ会議サービス

テレビ会議サービス会社に申し込みをすると、多地点を結んだテレビ会議サービスを利用できます。登録した利用者どうしでテレビ会議ができます。H.323と呼ばれる接続方式に対応したIPテレビ電話サービスです。

初期設定時に利用するIPテレビ電話サービスを選択すると、選択したIPテレビ電話サービスに合わせた本商品の設定ができます。また、本商品のご利用中に、利用するIPテレビ電話サービスを変更することもできます。

初期設定について詳しくは、「初期設定をします」（P.26）をご覧ください。

ご利用途中での設定変更については、「本商品の設定変更をするには」（P.84）をご覧ください。

- ハンズフリー機能を利用して、なめらかな映像、クリアな音声でハンドセットなしの通話ができます。
- タッチパネルのボタンに触れるだけで操作することができます。
- ホームページを閲覧することができます（ホームページによっては、本商品では正しく表示できない場合があります）。
- プロバイダを利用したメールの送受信ができます。
- 映像をテレビやAV機器などに表示することができます。
- 市販のビデオカメラなどを接続できます。ビデオカメラで撮影した映像や音声を、本商品を経由して通信相手に送信することができます。
- オプションのハンドセットや市販のイヤホンマイクを利用して、通話することができます。
- ブラウザやメモ帳で表示している内容を、印刷することができます。



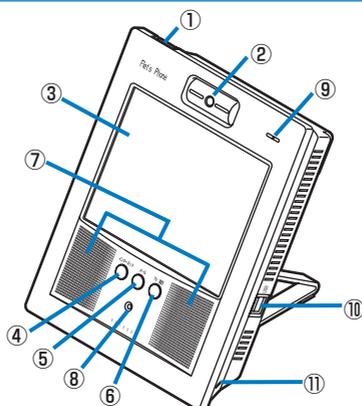
### ワンポイント

- ・IP電話とは、インターネットを利用した電話サービスです。音声データをIPネットワーク上でやり取りするためのVoIP（Voice over IP）技術を利用して、音声データとIPデータを変換し、回線効率や柔軟性の高いIPネットワークを利用して電話サービスを行います。
- ・画面右上に  が表示されると、システムのアップデート（更新）ができます。本商品のシステムをアップデートすることで、機能の追加や改善などができます。 が表示されたらアップデートを行い、システムを常に最新の状態にしてお使いください。アップデートの方法については、「本商品のシステムをアップデートするには」（P.92）をご覧ください。
- ・画面右下に表示される「ヘルプ」ボタンにタッチすると、操作中の機能についてのヘルプ（操作説明）を見ることができます。本書に記載されていない詳しい情報も記載されています。使いかたがわからないときは「ヘルプ」ボタンにタッチしてみてください。ヘルプの使用方法について詳しくは、「ヘルプの使いかた」（P.36）をご覧ください。

### お知らせ

- 本商品、フレッツフォン VP1000、フレッツフォンに対応したソフトフォンおよびFOMA<sup>®</sup>以外のIP電話、加入電話、携帯電話、PHSに電話をかけた場合は、音声のみの通信になります。また、ご利用の電話サービスによって、音声のみの通信になる場合があります。
- 本商品でIPテレビ電話サービスを利用するには、サービス契約および登録設定が必要です。NTT東日本／NTT西日本、IP電話接続事業者、またはプロバイダなどから案内される『ご利用の手引き』などを必ずご覧のうえ、サービス契約および登録設定を行ってからお使いください。
- 起動時の操作により、本商品の記憶内容を初期状態に戻すことができます。詳しくは、「本商品をお買い上げのときの状態に戻すには（初期化）」（P.91）をご覧ください。

## 各部の名前



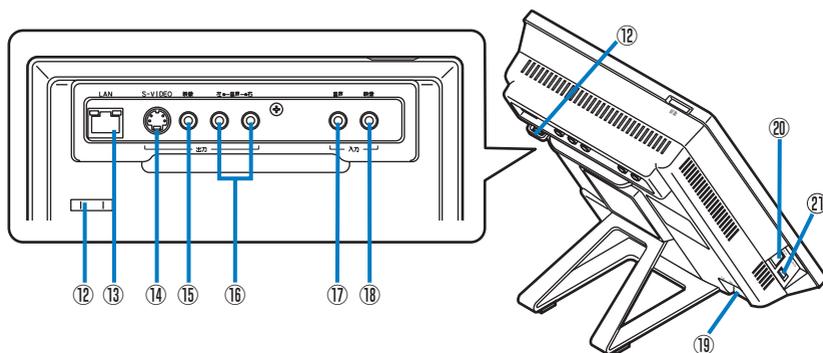
項目	説明
①電源ボタン	本商品の電源をオン／オフします。
②カメラ	自分の映像を撮影します。
③液晶ディスプレイ (タッチパネル)	テレビ電話の映像やホームページなどを表示します。付属のタッチペンで画面上のボタンやアイコンを操作します。
④インターネットボタン	ブラウザ画面を表示します。
⑤メールボタン	メール画面を表示します。
⑥TV電話ボタン	テレビ電話画面を表示します。
⑦スピーカ	音声を出力します。
⑧電源／ステータス ランプ	電源：本商品の電源が入っているときに緑色に点灯します。 ステータス：内部メモリに情報を書き込んでいるときには橙色に速く点滅します。留守番電話を設定しているときには橙色に点灯します。留守番電話を設定して留守録メッセージが記録されているときには橙色にゆっくり点滅します。
⑨マイク	音声を取り込むことができます。
⑩USBポート	市販のUSBメモリやUSBマウス、USBキーボード、USBプリンタ、USB無線LANを接続します。
⑪盗難防止用ロック穴 (セキュリティロック)	市販のセキュリティケーブルなどを接続することによって盗難防止をするための穴です。

### ワンポイント

- 接続可能な周辺機器は、フレッツフォンのホームページ (Flet's Phone HOME) をご覧ください。

### お知らせ

- 周囲の環境や背景により、自動的に色合いの調整を行っています。そのため、実物とカメラ映像とでは、色合いが多少異なって見える場合があります。
- USBポートは2つありますが、USBポートにUSBメモリを2つセットしても、1つしか認識されません。
- 起動時に内部メモリに書き込みしているときは、ステータスランプが点滅しないことがあります。
- システムの負荷により、ステータスランプの点滅間隔が長くなる場合があります。



項目	説明
⑫タッチペン用ストラップフック	タッチペンを紛失しないように市販のストラップを使用して接続します。
⑬LANポート	LANケーブルで回線終端装置（ONU）や加入者網終端装置（CTU）、ADSLモデム、ルータ、ハブなどと接続します。 LANポート上部のランプの意味は次のとおりです。 ・LINKランプ（橙色）：LANのリンクが確立しているときに橙色に点灯します。 ・DATAランプ（緑色）：LANのデータが送受信されているときに緑色に点灯します。
⑭S映像出力端子	S映像入力に対応したAV機器を接続します。
⑮映像出力端子（黄） （RCAピンジャック）	テレビやAV機器などの映像入力端子と接続します。
⑯音声出力端子 （右：赤／左：白） （RCAピンジャック）	テレビやAV機器などの音声入力端子と接続します。
⑰音声入力端子（白） （RCAピンジャック）	市販のビデオカメラなどの音声出力端子と接続します。個人で撮影したビデオカメラの音声を、本商品を経由して通信相手に送信することができます。
⑱映像入力端子（黄） （RCAピンジャック）	市販のビデオカメラなどの映像出力端子と接続します。個人で撮影したビデオカメラの映像を、本商品を経由して通信相手に送信することができます。
⑲電源コネクタ	付属のACアダプタを接続します。
⑳ハンドセット接続ポート	オプションのハンドセットを接続します。
㉑イヤホンマイク接続ポート	市販の携帯電話用イヤホンマイク機器（平型プラグタイプ）を接続します。

### お知らせ

- 加入者網終端装置（CTU）は、NTT西日本が提供するフレッツ・光プレミアム専用装置です。
- 本商品の電源を入れた直後に、音声出力端子にノイズが出力されることがあります。音声出力端子に接続しているテレビやAV機器などの音量を下げてください。
- 音声出力端子にテレビやAV機器などを接続した場合、本商品で各機器の音量を調節することはできません。
- 映像出力端子にテレビを接続して、テレビにカメラ映像を表示させた場合、本商品の液晶ディスプレイと同じ表示がされなかったり、一部が表示されなかったりしますが、故障ではありません。

# 接続します

## ■ 接続、設定の流れ

本商品でテレビ電話を使えるようにするには、次の手順で接続、設定を行います。本商品を接続する機器やご利用になるサービスによって、接続のしかた、設定内容が異なります。使用環境に合わせた接続、設定を行ってください。

### 必要なものを準備します (P.17)

接続、設定に必要な環境や機器を準備します。ご利用になるサービスによって異なります。



### 設置場所を確認します (P.18)

本商品の設置場所を確認します。「安全にお使いいただくために必ずお読みください」(P.2) もご覧ください。



### 接続します (P.20)

本商品を接続します。ご利用になる機器によって接続のしかたが異なります。ここでは、「回線終端装置 (ONU) またはADSLモデムに接続する場合」と「ルータまたは加入者網終端装置 (CTU) に接続する場合」の2つの接続方法を説明します。



### 初期設定をします (P.26)

本商品でテレビ電話を使えるようにするための初期設定を行います。初期設定は、本商品に内蔵されている「設定ガイド」で行います。ご利用になるサービスによって初期設定の方法が異なります。ここでは「プロバイダに接続してインターネットとIPテレビ電話サービスを利用する場合」の初期設定を説明します。

## ■ 必要なものを準備します

接続するために必要な環境や機器について確認します。

### プロバイダに接続してインターネットとIPテレビ電話サービスを利用する場合、プロバイダが提供するIPテレビ電話サービスのご確認、ご契約はお済みですか。

- ご利用中もしくはご利用予定のプロバイダが、NTT東日本、NTT西日本が提供する「IPテレビ電話対応機器」に対応したIPテレビ電話サービスを提供しているかどうか、事前にご確認ください。
- IPテレビ電話サービスの内容は、プロバイダによって異なります。サービス提供条件、料金体系、お申し込み方法、サービス対象電話（発信できる電話番号）などについて、契約されるプロバイダに事前にご確認ください。
- 契約が完了しても、プロバイダ側の工事が完了するまではご利用できません。

### 接続に必要な機器はそろっていますか。回線接続や設定はできていますか。

本商品の他に、接続する環境に応じて次のような機器が必要です。

- ADSLモデム（フレッツ・ADSLの場合）  
ご利用になる接続回線やサービスに対応したADSLモデムが必要です。
- 回線終端装置（Bフレッツの場合）  
ご利用になる接続回線やサービスに対応した回線終端装置（ONU）が必要です。
- 加入者網終端装置（フレッツ・光プレミアムの場合）  
ご利用になる接続回線やサービスに対応した加入者網終端装置（CTU）が必要です。
- ルータまたはスイッチングハブ  
フレッツ・ADSLまたはBフレッツをご利用の場合、本商品の他にパソコンなどを使ってインターネット接続をするには、ルータまたはスイッチングハブが必要です。ルータはご利用になるサービスに対応しているものをご利用ください。

また、回線終端装置（ONU）や加入者網終端装置（CTU）、ADSLモデムが正しく接続されているか、確認しておいてください。

### お知らせ

- H.323でのIPテレビ電話サービスを利用する場合は、お使いの機器がH.323に対応しているか、取扱説明書や製造メーカー、ネットワーク管理者などに確認してください。
- 本商品を接続する前に、ルータ機能付きADSLモデム、ルータでインターネットに接続できるように、各機器の設定を行っておいてください。詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

## 設定に必要な情報は準備されていますか。

本商品の初期設定をするときに、次の情報が必要です。

### プロバイダを利用する場合

プロバイダとのご契約時に、次のような情報が提供されます。契約書などで確認してください。不明の場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。

- ・ ユーザID（プロバイダによって、ユーザ名など呼びかたが異なる場合があります）
- ・ パスワード
- ・ DNSサーバのIPアドレス（プロバイダなどから指定された場合）



### ワンポイント

- ・ DNSサーバのIPアドレスとは、インターネット上でのコンピュータの名前に当たるドメイン名を、住所に当たるIPアドレスと呼ばれる4つの数字の列に変換するコンピュータの識別番号です。

## ■ 設置場所を確認します

必要な環境や機器について確認したら、「安全にお使いいただくために必ずお読みください」(P.2) をご覧のうえ、本商品の設置場所を確認してください。

### 設置に適さない場所

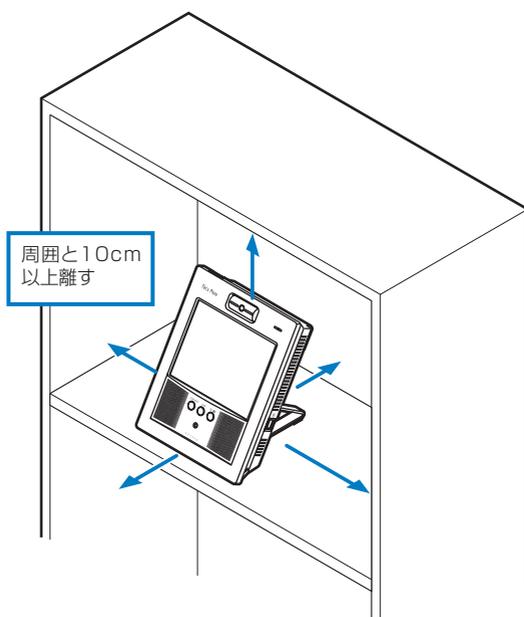
- ・ 直射日光が当たる場所、暖房設備、ボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所
- ・ 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
- ・ 湿気の多い場所や水、油、薬品などのかかる恐れがある場所
- ・ ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
- ・ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所
- ・ 発熱する機器の上
- ・ 明るすぎる、または暗すぎる場所
- ・ 騒がしい場所
- ・ 落下の恐れがある場所
- ・ 風通しの悪い場所

### お知らせ

- 本商品は、室内での使用を前提としています。
- 適度に明るい室内に設置してください。明るすぎる場所では、カメラの映像が白っぽくなり画面が見にくくなる場合があります。
- 夜間や昼間でも薄暗い部屋の中では、カメラ映像が不鮮明になることがあります。なるべく明るい部屋でご使用ください。
- 各機器の電源コードにつまずかないような場所に設置してください。

## 設置のしかた

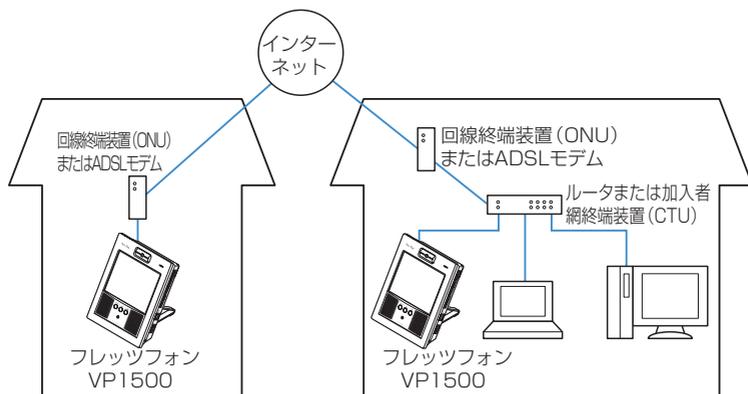
本体上部および前後左右から周囲の壁などまでは、10cm以上離して設置してください。



## ■ 接続します

### ご家庭での接続例

- ・ 本商品のみをインターネットに接続する場合は、本商品を回線終端装置（ONU）またはADSLモデムに接続します。本商品の他にパソコンなどをインターネットに接続する場合は、ルータまたは加入者網終端装置（CTU）を使用します。
- ・ 本商品の利用方法によっては、本商品と接続する各機器（ルータやADSLモデム）の設定変更が必要な場合があります。各機器の取扱説明書をご覧のうえ、接続、設定を行ってください。



## ■ 本商品を回線終端装置 (ONU)、加入者網終端装置 (CTU)、ADSLモデムまたはルータに接続します

設置場所が決まったら、本商品を回線終端装置 (ONU)、加入者網終端装置 (CTU)、ADSLモデムまたはルータに接続し、ACアダプタを接続します。

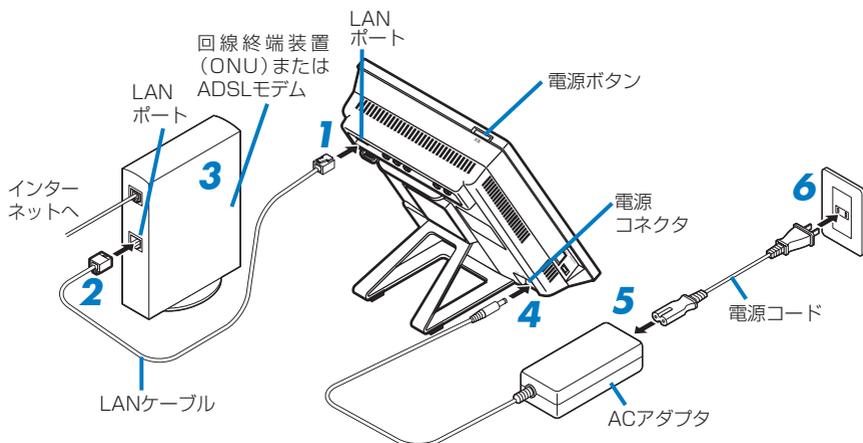
### お知らせ

- 回線終端装置 (ONU)、加入者網終端装置 (CTU)、ADSLモデムまたはルータの回線接続が正しく設定されているか確認してください。ADSLモデムおよびルータの接続や設定については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 電源ボタンを押したあと、しばらく経っても電源ランプが緑色に点灯しない場合は、もう一度電源ボタンを押してみてください。電源ランプが緑色に点灯しているにもかかわらず、何も表示されないときは、本商品のACアダプタを抜いて、30秒以上経ってからACアダプタを接続してください。
- 本商品の電源を切るときは、必ず電源ボタンを押すか、メニューからシャットダウン操作を行ってください。シャットダウン操作を行わないで電源コードを抜くと、本商品が起動しなくなる場合があります。シャットダウン操作については、「本商品の電源の切りかた」(P.37)をご覧ください。
- 電源を再度入れるときは、電源を切ってから30秒以上経ってから行ってください。電源を切ったあとすぐに電源を入れたり、電源コードの抜き差しや電源ボタンの操作を連続して行ったりすると、起動やシャットダウンが正しくできない場合があります。
- 本商品をルータに接続する場合は、本商品の電源を入れる前に、ルータの電源が入っていることを確認してください。
- ルータなどの設定を変更したときは、本商品を再起動してください。再起動の方法は、「ツール機能で本商品の設定や再起動などをします」(P.83)をご覧ください。

## 回線終端装置 (ONU) またはADSLモデムに接続する場合

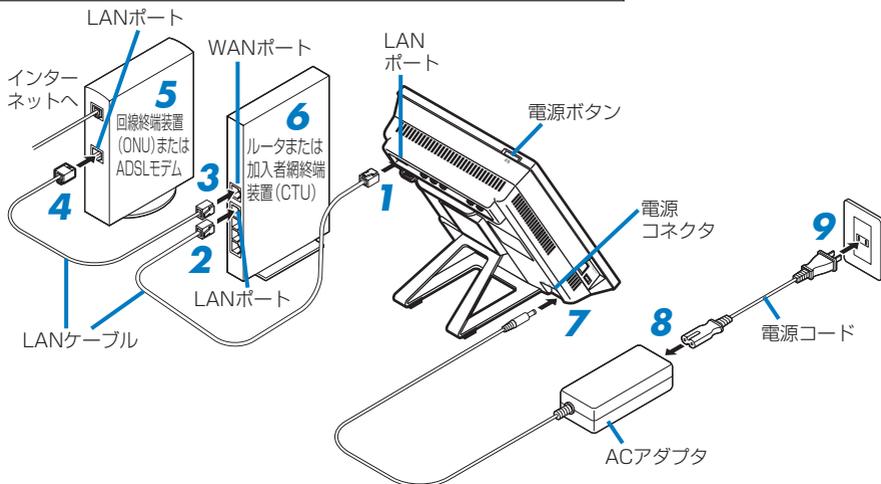
ご使用前に

接続します



- 1** 付属のLANケーブルのコネクタを本体背面のLANポートに接続する
- 2** 付属のLANケーブルのもう一方のコネクタを、回線終端装置 (ONU) またはADSLモデムのLANポートに接続する
- 3** 回線終端装置 (ONU) またはADSLモデムの電源を入れる
- 4** ACアダプタのコネクタを本体背面の電源コネクタに接続する
- 5** ACアダプタに電源コードを接続する  
電源コードが抜けないように、奥までしっかり差し込んでください。
- 6** 電源コードのプラグを電源コンセントに接続する  
本商品の電源が入ります。「初期設定をします」(P.26)に進んで設定を行ってください。  
本商品の電源の切りかたについては、「本商品の電源の切りかた」(P.37)をご覧ください。

ルータまたは加入者網終端装置 (CTU) に接続する場合



- 1** 付属のLANケーブルのコネクタを本体背面のLANポートに接続する
- 2** 付属のLANケーブルのもう一方のコネクタを、ルータまたは加入者網終端装置 (CTU) のLANポートに接続する
- 3** LANケーブルのコネクタをルータまたは加入者網終端装置 (CTU) のWANポートに接続する  
 本商品に同梱されているLANケーブルは1本のみです。市販のLANケーブルや、ルータまたは加入者網終端装置 (CTU) に付属のLANケーブルをお使いください。  
 詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 4** LANケーブルのもう一方のコネクタを、回線終端装置 (ONU) またはADSLモデムのLANポートに接続する
- 5** 回線終端装置 (ONU) またはADSLモデムの電源を入れる
- 6** ルータまたは加入者網終端装置 (CTU) の電源を入れる  
 電源を入れる前に、ルータまたは加入者網終端装置 (CTU) のインターネット接続の設定を完了させておいてください。
- 7** ACアダプタのコネクタを本体背面の電源コネクタに接続する
- 8** ACアダプタに電源コードを接続する  
 電源コードが抜けないように、奥までしっかり差し込んでください。
- 9** 電源コードのプラグを電源コンセントに接続する  
 本商品の電源が入ります。「初期設定をします」(P.26)に進んで設定を行ってください。  
 本商品の電源の切りかたについては、「本商品の電源の切りかた」(P.37)をご覧ください。

**お知らせ**

- NTT西日本エリアで「ひかり電話」をご利用のお客様は、加入者網終端装置 (CTU) と本商品の間に「ひかり電話」対応機器を接続する必要があります。

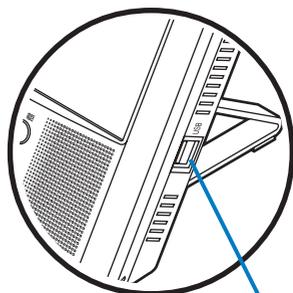
## ワンポイント

- ・本商品のUSBポートに市販のUSBメモリをセットすると、本商品の外部メモリとして使用できます。外部メモリを使って、次のような機能を利用することができます。

- メモ帳の保存や呼び出し
- メールデータの保存や呼び出し
- 留守番電話の録音録画データの保存や呼び出し
- 保存データの表示や再生

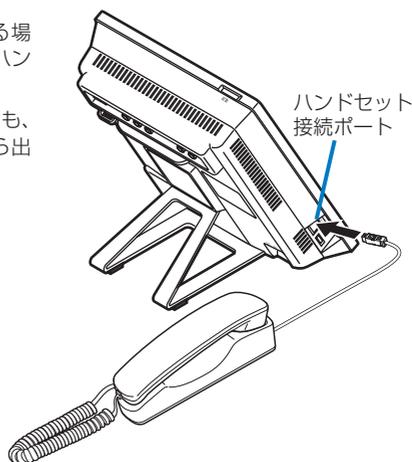
詳しくは、画面上のヘルプをご覧ください。

- ・本体のUSBポートに市販のUSBマウスを接続することができます。マウスの設定について詳しくは、画面上のヘルプをご覧ください。USB機器によってはご利用いただけない場合があります。



USBポート

- ・ハンドセット（オプション）をご利用になる場合は、本体側面のハンドセット接続ポートにハンドセットのケーブルを接続します。
- ・オプションのハンドセットを使用した場合でも、ハンドセットと同じ音声は音声出力端子から出力されます。



ハンドセット  
接続ポート

- ・イヤホンマイクのケーブルを接続している場合は、ハンズフリー、ハンドセットまたは音声入力端子はご利用になれません。
- ・イヤホンマイクをご利用になる場合は、本体側面のイヤホンマイク接続ポートにイヤホンマイクの平型プラグを接続します。
- ・スイッチ付きイヤホンマイクを接続している場合は、電話の着信と通話の切断にスイッチをご利用いただけます。なお、発信中の切断はできません。
- ・イヤホンマイク出力はモノラルです。ステレオ対応のイヤホンマイクを接続した場合、左音声の音が左右から聞こえます。
- ・対応するイヤホンマイク製品については、フレットフォンのホームページ (Flet's Phone HOME) をご覧ください。その他の製品を使用すると、通話音量が適切でなかったり、音が途切れたり、あるいは誤動作する場合があります。

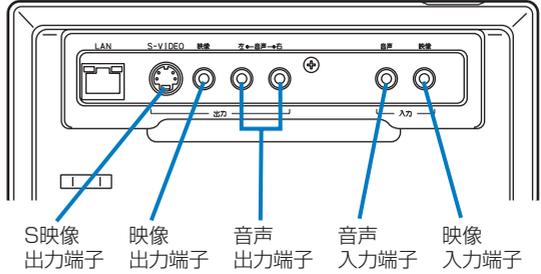


イヤホンマイク  
接続ポート



## ワンポイント

- ・本商品にテレビを接続して、テレビ電話の映像をテレビで見ることができます。この場合は、本体背面の映像出力端子とテレビの映像入力端子を、音声出力端子とテレビの音声入力端子を、それぞれ接続します。接続には市販のAVケーブルをご用意ください。S映像出力端子に接続すると、よりクリアな映像を見ることができます。



- ・本商品に市販のビデオカメラなどを接続できます。ビデオカメラで撮影した映像や音声を、本商品を経由して通話相手に送信することができます。
- ・音声出力端子のボリューム調整は接続されるテレビ側で行ってください。ハンズフリー、ハンドセットまたはイヤホンマイクを使用した場合でも、同じ音声が音声出力端子から出力されます。

# 初期設定をします

本商品でテレビ電話を使えるようにするための設定を行います。

## 初期設定を始める前に

ご利用になるサービスと初期設定の手順を確認してください。

本商品でご利用になるサービスによって、初期設定の手順が異なります。

本書では、プロバイダが提供する「インターネット接続サービスとIPテレビ電話サービス」を利用する場合の初期設定方法を説明しています。

初期設定の際には、次の操作が必要です。

- ・ タッチ  
画面上のボタンやアイコンを付属のタッチペンで触れる操作です。
- ・ 文字の入力  
画面上のキーボードを使って文字を入力します。ユーザIDやパスワードの入力などの際に必要です。

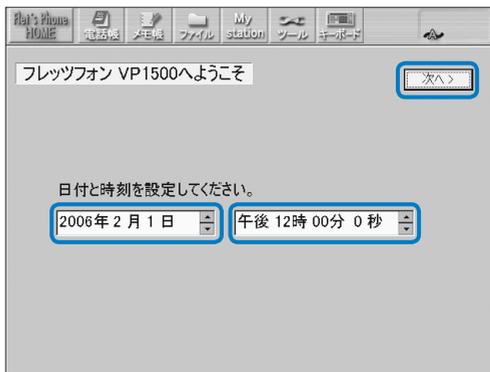
「タッチペンの使いかた」(P.31) や 「文字の入力のしかた」(P.38) をご覧になり、操作方法を確認してから初期設定を始めてください。

## 本商品でインターネット接続をするための設定をします

プロバイダに接続してインターネットを利用するための設定例です。本商品の電源を入れると、次のような画面が表示されます。

### 1 日付と時刻を設定して、[次へ]ボタンにタッチする

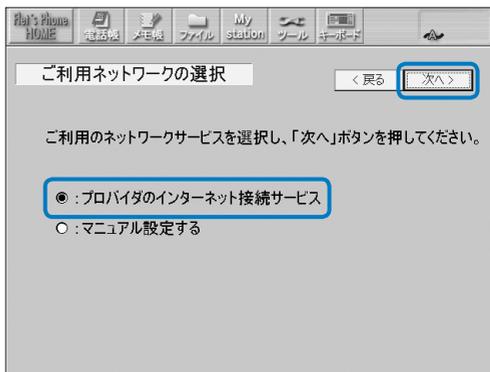
日付は2006年～2070年の間で入力してください。それ以外の値を入力した場合は、正しい値が設定されないことがあります。



### お知らせ

- この画面が表示されるまで、約2～4分かかります。

### 2 「プロバイダのインターネット接続サービス」を選択して、[次へ]ボタンにタッチする

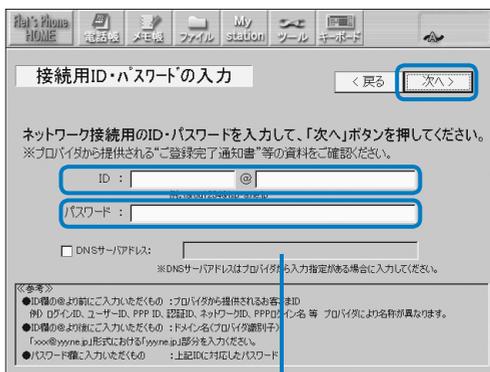


以降は、本商品を接続している機器によって、手順が異なります。

## 本商品を回線終端装置（ONU）またはADSLモデムに接続している場合

### 3 右のような画面が表示されたら、プロバイダから提供されたユーザIDやパスワードを入力して、[次へ] ボタンにタッチする

本商品の設定が行われます。しばらく経つと、「ネットワーク設定が完了しました」などのメッセージが表示されます。



プロバイダからDNSサーバのアドレスを指定されている場合は、ここにアドレスを入力します

### 4 表示された画面で、[設定完了] ボタンにタッチする

初期設定を続けます。

次に、IPテレビ電話サービスの設定を行います。「本商品でテレビ電話をするための設定をします」(P.29)をご覧ください。

## 本商品をルータまたは加入者網終端装置（CTU）に接続している場合

ルータや加入者網終端装置（CTU）の設定が完了し、インターネットに接続可能な場合は、本商品の設定が自動的に行われます。しばらく経つと、「ネットワーク設定が完了しました」などのメッセージが表示されます。

### 3 表示された画面で、[設定完了] ボタンにタッチする

初期設定を続けます。

次に、IPテレビ電話サービスの設定を行います。「本商品でテレビ電話をするための設定をします」(P.29)をご覧ください。

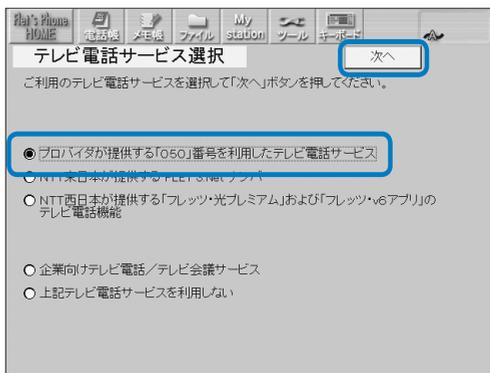
### お知らせ

- ルータや加入者網終端装置（CTU）の設定が完了していない場合は、上記の手順で本商品の設定を行えません。先に各機器の設定を行ってください。設定については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

## 本商品でテレビ電話をするための設定をします

### プロバイダの提供するIPテレビ電話サービスを利用する場合

- 1** 「プロバイダが提供する「050」番号を利用したテレビ電話サービス」を選択して、[次へ] ボタンにタッチする



### お知らせ

- 「ひかり電話」対応機器に接続している場合、ひかり電話を設定する画面が表示されます。画面の案内に従い設定してください。

- 2** 本商品でご利用予定のプロバイダを一覧から選択して、[決定] ボタンにタッチする  
ご利用予定のプロバイダによっては、自動的に手順3に進む場合があります。

- 3** 「申し込みますか」と表示されたら、[確認] ボタンにタッチする

- 4** 画面の説明を読んで、IPテレビ電話サービスの申し込み、登録を行う

- 5** ご利用のフレッツサービスを選択して、[次へ] ボタンにタッチする  
設定された内容が表示されます。

- 6** 設定内容を確認して、[完了] ボタンにタッチする  
「更新情報を確認しています」などのメッセージが表示され、本商品の更新情報の確認が行われます。更新情報が取得されると、システムをアップデートするかどうかを確認する画面が表示されます。

[はい] ボタンにタッチすると、システムのアップデートが始まります。詳しくは、「本商品のシステムをアップデートするには」(P.92)をご覧ください。

しばらく経つと、テレビ電話画面が表示されます。ご利用のプロバイダによっては、プロバイダのポータル画面が表示されます。

画面右上のステータス表示にネットワークや電話のアイコンが表示されていれば、正しく設定ができています。ステータス表示については、「画面について(テレビ電話画面の場合)」(P.34)をご覧ください。

これで初期設定は完了です。

(次ページに続く)

**お知らせ**

- 初期設定を完了しなかった場合や、テレビ電話の設定を行わないで初期設定を終了した場合は、電話機能を使用できません。IPテレビ電話サービスを利用する場合は、別途、設定を行ってください。詳しくは、「本商品の設定変更をするには」(P.84)をご覧ください。
- 「テレビ電話サービスの工事が完了していません」などのメッセージが表示された場合は、プロバイダ側の工事が完了していないため、本商品の設定ができません。しばらく経ってから [再確認] ボタンにタッチしてください。工事完了までの時間はプロバイダによって異なります。詳しくは、ご利用のプロバイダにご確認ください。
- 設定は、あとで変更することもできます。詳しくは、「本商品の設定変更をするには」(P.84)をご覧ください。

# 基本操作について

## タッチペンの使いかた

本商品は、画面を付属のタッチペンで触れることによって電話をかけたり、メールを送ったりする操作を簡単に行えます。タッチペンの操作には、タッチペンで軽く触れる「タッチ」、タッチペンの先端をタッチパネルに触れたままずらす「ドラッグ」の2つの方法があります。

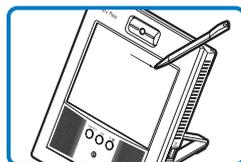
### タッチ

ボタンやアイコンにタッチペンの先端を合わせて、軽く触れる操作です。パソコンのマウスで行うクリックとほぼ同じ働きをします。



### ドラッグ

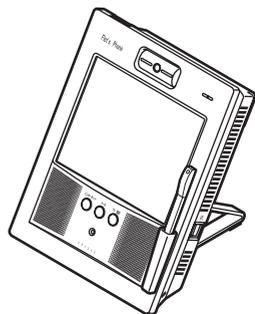
タッチペンの先端を、タッチパネルに触れたままずらす操作です。メモ帳の編集画面で絵や文字を描いたり、範囲を選択します。



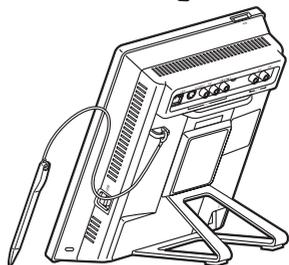
(次ページに続く)

## ワンポイント

- ・タッチペンは、付属のタッチペンケースに収納できます。タッチペンケースは、両面テープで任意の場所に取り付けてご使用ください。



- ・タッチペンをご利用になる場合は、本体背面のストラップフックを使用して市販のストラップなどでタッチペンをつなぐことで、タッチペンの紛失を防ぐことができます。



## お知らせ

- タッチパネルにタッチするときは、必ず付属のタッチペンを使ってください。シャープペンシルなど先端がとがったものでタッチすると、タッチパネルが傷ついたり割れたりすることがあります。
- ボタンにタッチするときは、ボタンにタッチしたままタッチペンをずらしたりしないでください。正常に機能が実行されなくなる場合があります。
- タッチペンでボタンにタッチするときに、指などが他のボタンに触れると、画面が切り替わったり誤動作をします。ご注意ください。
- 文字列入力エリアの幅を超える文字列を入力した場合は、ドラッグでスクロールしてください。
- 機能によっては、処理に時間がかかるため、ボタンなどにタッチしてもすぐには実行されないことがあります。同じボタンを何度もすばやくタッチしないようにしてください。
- タッチした箇所と異なる箇所が反応してしまうときは、「タッチパネル補正」を行ってください。詳しくは、「環境設定画面で設定できること」(P.89)をご覧ください。
- ボタンにタッチしても反応しない場合は、入力した情報や設定が間違っている、通話中に利用できない機能のボタンにタッチしているなどの可能性があります。
- 画面に表示されているボタンへのタッチや、本体ボタンを押す操作をすばやく繰り返したり、ファイル(の共有)、メモ帳(の共有)やブラウザ(の共有)をすばやく連続して繰り返した場合、正しく動作しなくなったり、システムに大きな負荷がかかり動作が著しく遅くなったり、停止する可能性があります。その場合は、シャットダウン操作を行ってから電源コードを抜いて、30秒以上経ってから電源を入れ直してください。

## 本体ボタンの使いかた

本体の各ボタンを使うと、次の操作ができます。

### ①インターネットボタン

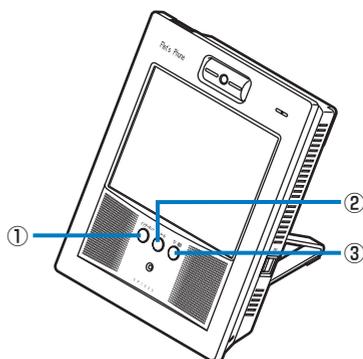
ブラウザ画面を表示します。  
ホームページが全画面表示されているときにインターネットボタンを押すと、通常のブラウザ画面の表示に戻ります。

### ②メールボタン

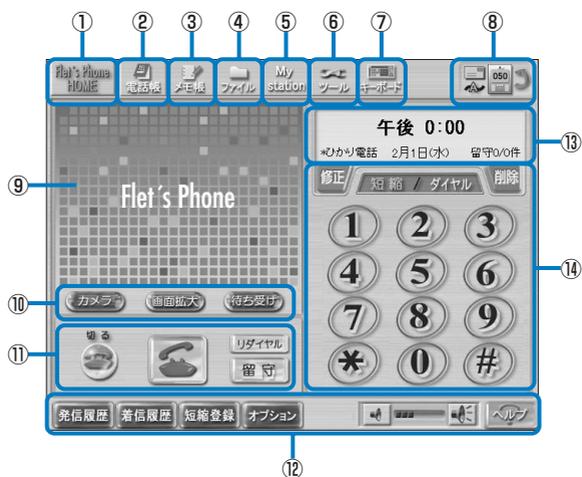
メール画面を表示します。

### ③TV電話ボタン

テレビ電話画面を表示します。



## 画面について（テレビ電話画面の場合）



項目	説明
①Flet's Phone HOME	フレッツフォンのホームページを表示します。
②電話帳	電話帳画面を表示します。
③メモ帳	メモ帳画面を表示します。
④ファイル	本商品の内部メモリや外部メモリに保存されているファイルの一覧を表示します。
⑤My station	ポータル画面を表示します。ポータル画面の設定については、「ポータル設定画面で設定できること」(P.88) をご覧ください。
⑥ツール	各種設定画面を表示します。また、本商品のシャットダウンや再起動などもできます。
⑦キーボード	キーボードを表示します。キーボードの表示については、「キーボードの表示」(P.38) をご覧ください。

項目	説明
⑧ステータス表示	<p>ネットワーク接続中などの状態を表示します。各アイコンの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●メール   : 新着メールがあります。</li> <li>●ネットワーク    : DHCPでネットワークに接続中です。×印が付いているときは、ネットワーク未接続です。    : PPPoEでネットワークに接続中です。×印が付いているときは、ネットワーク未接続です。    : 手動設定でネットワークに接続中です。×印が付いているときは、ネットワーク未接続です。</li> <li>●アップデート   : システムのアップデートができます。システムのアップデートを行ってください。システムのアップデートについては、「本商品のシステムをアップデートするには」(P.92)をご覧ください。</li> <li>●電話   : プロバイダが提供する「050」番号を利用したIPテレビ電話サービスが利用できます。×印が付いているときは、IPテレビ電話サービスを利用できません。   : FLET'S.NetナンバーでのIPテレビ電話サービスが利用できます。×印が付いているときは、IPテレビ電話サービスを利用できません。   : 「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能でのIPテレビ電話サービスが利用できます。×印が付いているときは、IPテレビ電話サービスを利用できません。   : H.323方式を利用したIPテレビ電話サービスが利用できます。×印が付いているときは、IPテレビ電話サービスを利用できません。</li> </ul>
⑨イメージウィンドウ	カメラ映像や待ち受け画面を表示します。
⑩カメラ（外部入力）／画面拡大／待ち受け（自画像／相手画像）	画面を拡大表示にしたり、カメラ映像を切り替えます。（ ）内はボタンにタッチして切り替えます。
⑪操作パネル	テレビ電話の操作ボタンです。電話をかけたがり受けたりします。留守番電話の設定・解除も、ここで行います。
⑫機能ボタン	テレビ電話、メモ帳、メールなどの各機能に応じた機能ボタンが表示されます。
⑬情報ウィンドウ	<p>通話相手の電話番号が表示されます。通話相手が電話帳に登録されている場合は、名前も表示されます。待ち受け時には、時刻と発信先情報および留守番電話の未再生件数／総件数が表示されます。発信先情報は、ひかり電話やテレビ電話機能が利用できる場合、利用状況、通常の発信先が表示されます。</p> <p>※H.323を利用している場合は、留守番電話の未再生件数／総件数は表示されません。</p> <p>※発信先情報について詳しくは、画面上のヘルプをご覧ください。</p>
⑭ダイヤル画面	電話のダイヤルボタンです。

### ワンポイント

- ・画面が見えにくいときは、「ディスプレイ輝度」で見やすいように調整してください。詳しくは、「環境設定画面で設定できること」(P.89)をご覧ください。
- ・電話や電話帳の操作方法については、「機能操作編」(P.43)をご覧ください。その他の機能の操作方法については、各機能の画面上のヘルプをご覧ください。

(次ページに続く)

**お知らせ**

- ボタンやアイコンがグレーに表示されているときは、タッチしても選択することはできません。
- ネットワークの設定が適切に行われていない場合、フレッツフォンのホームページを見ることはできません。
- 操作を促すメッセージが表示されている状態では、メッセージ外側のボタン等の操作はできません。メッセージを閉じてから操作してください。同様にメッセージ表示状態ではステータスアイコンの状態は更新されませんので、メッセージを閉じてからアイコン状態を確認してください。

**■ ヘルプの使いかた**

各機能画面の右下には、[ヘルプ] ボタンがあります。[ヘルプ] ボタンにタッチすると、操作中の機能についてのヘルプを見ることができます。

**ワンポイント**

- ・ ヘルプ画面で青字になっている箇所にタッチすると、その項目の説明にジャンプします。
- ・ ヘルプ画面の右上にある[閉じる] ボタンにタッチすると、ヘルプ画面を閉じます。また、別の画面を表示させると、ヘルプ画面を自動的に閉じます。
- ・ ヘルプ画面を閉じても、ヘルプ画面を表示する直前の画面に戻らない場合があります。この場合は、もう一度、操作したい機能のボタンにタッチしてください。

**■ 音量設定について**

本商品の音量を調整するときは、次の手順で行ってください。ご利用中の機能によって調整のしかたが異なります。

項目	説明
① テレビ電話の受話音量 (通話相手の話し声や通話中のキャッチ音など)	テレビ電話画面上の [音量] ボタンで調整します。 「テレビ電話画面について」(P.47) をご覧ください。
② テレビ電話の音量 (待ち受け時や発着信時の着信音やブッシュ音など)	電話のオプション画面上の [音の大きさ] ボタンで調整します。 「オプション画面で設定できること」(P.48) をご覧ください。
③ 留守録メッセージ再生時の音量	留守録メッセージ再生画面上の [音量] ボタンで調整します。
④ ブラウザの音量	ブラウザ画面上の [音量] ボタンで調整します。
⑤ メディアプレーヤの音量	メディアプレーヤ画面上の [音量] ボタンで調整します。

**お知らせ**

- 設定した音量設定はそれぞれの機能の中で有効となります。すべての音量を変更するには、それぞれの音量設定を調整してください。
- 本商品や各機能の起動と終了時、外部接続機器の接続を変更した直後に、ノイズが聞こえることがあります。
- 音声出力端子の音量を本商品で調節することはできません。テレビやAV機器などで音量を調整してください。

## 本商品の電源の切りかた

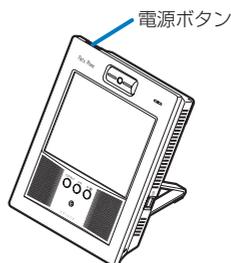
本商品の電源を切るときは、次の手順で行ってください。

### お知らせ

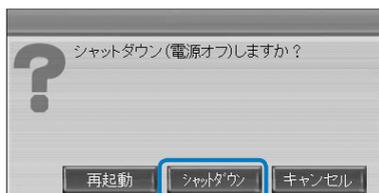
- シャットダウンを行わないで電源コードを抜くと、本商品が起動しなくなる場合があります。必ず、下記の手順を守って電源を切ってください。
- 発信中、着信中、通話中、切断中は、電源ボタンによるシャットダウンはできません。状況によっては、一定時間警告メッセージを表示します。

### 電源ボタンによる方法

#### 1 本体左上部の電源ボタンを押す



#### 2 確認画面が表示されたら、**【シャットダウン】** ボタンにタッチする



### メニューからの方法

#### 1 **【ツール】** → **【シャットダウン】**の順にボタンにタッチする



#### 2 確認画面がでたら、**【はい】** ボタンにタッチする

「シャットダウン中です…」と表示されます。  
しばらくすると、画面が暗くなり電源ランプが消えます。  
再度電源を入れる場合は、電源ボタンを押してください。

# 文字の入力のしかた

電話帳で氏名や電話番号を入力したり、各種設定画面などで文字を入力するときは、[キーボード] アイコンにタッチしてキーボードを表示します。キーボード表示は5種類あり、入力する文字の種類によって切り替えて使用します。

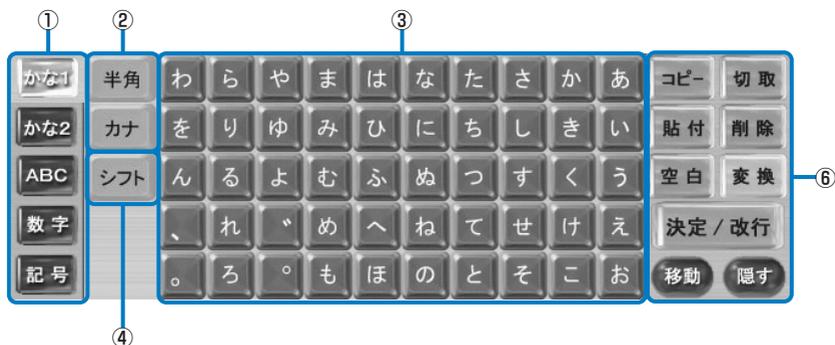
## ■ キーボードの表示

### ワンポイント

- ・ [キーボード] アイコンについては、「画面について（テレビ電話画面の場合）」(P.34) をご覧ください。

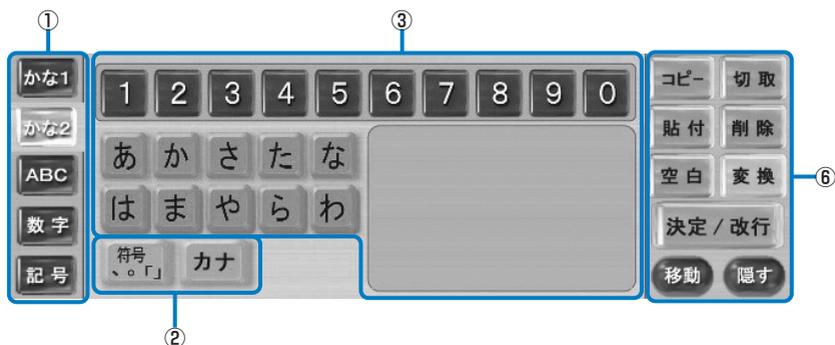
## 50音のキーボード

[かな1] ボタンにタッチすると表示されます。



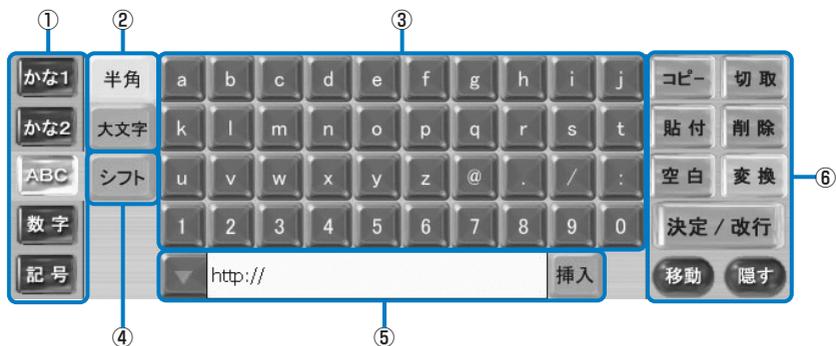
## 50音のキーボード（ツータッチ入力）

[かな2] ボタンにタッチすると表示されます。



## 英数字のキーボード

【ABC】 ボタンにタッチすると表示されます。



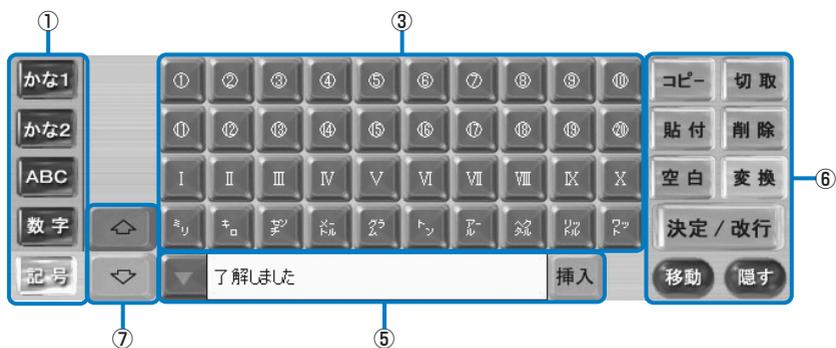
## 数字と記号のキーボード

【数字】 ボタンにタッチすると表示されます。



## 記号のキーボード

【記号】 ボタンにタッチすると表示されます。



項目	説明
①キー配列	<p>キーボードのキー配列を選ぶことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [かな1] : ひらがな、カタカナを直接タッチして入力できます。入力したひらがなを漢字に変換できます。</li> <li>・ [かな2] : ひらがな、カタカナを直接タッチして入力できます。入力したい文字が含まれる行を指定してから、該当する文字にタッチして入力します。入力したひらがなを漢字に変換できます。</li> <li>・ [ABC] : アルファベット、数字、記号を直接タッチして入力できます。</li> <li>・ [数字] : 記号・数字を直接タッチして入力できます。</li> <li>・ [記号] : 「①」「②」などの数字やローマ数字などの特殊記号を入力できます。</li> </ul>
②入力モード	<p>キー配列に応じた入力モードを切り替えることができます。全角／半角、ひらがな／カタカナ、大文字／小文字の切り替えができます。[半角] キーの色が薄いときは、半角で入力できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [かな1] : 全角／半角、ひらがな／カタカナの切り替えができます。半角にすると、自動的にカタカナの入力に切り替わります。</li> <li>・ [かな2] : ひらがな／カタカナの切り替えができます。また、[符号] キーにタッチすると、符号の入力に切り替わります。</li> <li>・ [ABC] : 全角／半角、大文字／小文字の切り替えができます。</li> <li>・ [数字] : 全角／半角の切り替えができます。</li> </ul>
③キー表示	<p>キー配列と入力モードで選ばれたキーを表示します。</p>
④シフト	<p>小文字、よく使う記号などが入力できます。[かな2]、[数字]、[記号]では[シフト]キーは使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [かな1] : 「ぁ」「ぃ」「ァ」「ィ」などの小文字が入力できます。</li> <li>・ [ABC] : キー表示の数字の部分がよく使う記号に変わります。また、英字の部分は小文字または大文字に変わります。</li> </ul>
⑤定型文入力	<p>よく使われる文字列、顔文字などの定型文が入力できます。☑にタッチすると定型文の一覧が表示されます。入力したい定型文を選択して[挿入]キーにタッチすると、カーソルの位置に定型文が入力されます。[かな1]、[かな2]、[数字]では定型文入力はできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [ABC] : 「http」など、インターネットでよく使われる文字列が入力できます。</li> <li>・ [記号] : 「(^_^)」などの顔文字や、「こんにちは」などのよく使われる日本語が入力できます。</li> </ul>
⑥コピー、切取、貼付、削除、空白、変換、決定／改行、移動、隠す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ [コピー] : ドラッグして選択した文字をコピーします。</li> <li>・ [切取] : ドラッグして選択した文字を切り取ります。</li> <li>・ [貼付] : コピーまたは切り取りした文字を、カーソルの位置に貼り付けます。</li> <li>・ [削除] : ドラッグして選択した文字またはカーソルの左の文字を削除します。</li> <li>・ [空白] : カーソルの位置にスペースを入力します。</li> <li>・ [変換] : 入力したひらがなの漢字変換候補を表示します。</li> <li>・ [決定／改行] : 文字の入力を決定します。または、カーソルの位置で改行します。</li> <li>・ [移動] : キーボードの位置を、画面の上または下に移動します。</li> <li>・ [隠す] : キーボードの表示を消します。</li> </ul>
⑦  	<p>一覧に表示しきれていない特殊記号や絵文字がある場合に、一覧を上下に移動して表示できます。</p>

## ■ 文字を入力します



### ワンポイント

- ・ キーボードから正しく文字が入力できないときは、一度TV電話ボタンなどを押して他の画面に切り替えてから、再度【キーボード】アイコンにタッチして文字を入力してください。

### “フレッツでTV電話”を50音のキーボードを使って入力する場合

- 1** 文字を入力したい位置にタッチする  
カーソルが点滅します。
- 2** 【キーボード】アイコンにタッチする  
キーボードが表示されます。
- 3** 【かな1】にタッチする  
50音のキーボードに切り替わります。
- 4** 【カナ】にタッチする  
キーボードがカタカナ表示に変わります。キー表示がカタカナになっているときは、【カナ】キーにタッチする必要はありません。
- 5** 【フ】→【レ】→【シフト】→【ツ】→【ツ】→【改定/改行】の順にキーにタッチする  
“フレッツ”と入力されます。
- 6** 【かな】→【て】→【ゝ】→【決定/改行】の順にキーにタッチする  
“フレッツで”と入力されます。
- 7** 【ABC】→【大文字】→【T】→【V】の順にキーにタッチする  
キー表示が大文字になっているときは、【大文字】キーにタッチする必要はありません。  
“フレッツでTV”と入力されます。
- 8** 【かな1】→【て】→【ゝ】→【ん】→【わ】→【変換】の順にキーにタッチする  
もう一度【変換】キーにタッチすると、漢字変換候補が表示されます。
- 9** 【決定/改行】キーにタッチする  
漢字変換候補が表示されているときは、一覧から「電話」にタッチして、【決定/改行】キーにタッチします。  
“フレッツでTV電話”と入力されました。
- 10** 【隠す】キーにタッチする  
キーボードの表示が消えます。

“フレッツでTV電話”を50音のキーボード（ツータッチ入力）を使って入力する場合

- 1 文字を入力したい位置にタッチする  
カーソルが点滅します。
- 2 【キーボード】アイコンにタッチする  
キーボードが表示されます。
- 3 【かな2】にタッチする  
50音のキーボード（ツータッチ入力）に切り替わります。
- 4 【カナ】にタッチします。  
キーボードがカタカナ表示に変わります。
- 5 行の一覧から【ハ】キーにタッチします。  
右側に「ハ行」の一覧が表示されます。
- 6 【フ】→【決定／改行】の順にキーにタッチする  
“フ”と入力されます。
- 7 同様の手順で、【ラ】→【レ】→【夕】→【ッ】→【夕】→【ッ】→【決定／改行】の順にキーにタッチする  
“フレッツ”と入力されます。
- 8 【かな】→【た】→【で】→【決定／改行】の順にキーにタッチする  
“フレッツで”と入力されます。
- 9 【ABC】→【大文字】→【T】→【V】の順にキーにタッチする  
キー表示が大文字になっているときは、【大文字】にタッチする必要はありません。  
“フレッツでTV”と入力されます。
- 10 【かな2】→【た】→【で】→【わ】→【ん】→【わ】→【わ】→【変換】の順にキーにタッチする  
最後の【わ】は、右側のわ行の一覧にある【わ】キーにタッチします。  
もう一度【変換】キーにタッチすると、漢字変換候補が表示されます。
- 11 【決定／改行】キーにタッチする  
漢字変換候補が表示されているときは、一覧から【電話】にタッチして、【決定／改行】キーにタッチします。  
“フレッツでTV電話”と入力されました。
- 12 【隠す】キーにタッチする  
キーボードの表示が消えます。

# 機能操作編

---

電話をかけます

電話を受けます

電話帳を利用します

その他の機能について

本商品の設定変更をするには

本商品をお買い上げのときの  
状態に戻すには（初期化）

本商品のシステムをアップ  
デートするには

# 電話をかけます

本商品で電話をかけます。電話がつながると、カメラ映像を見ながらハンズフリーで通話できます。加入電話や携帯電話、PHSに電話をかけても音声のみで通信できます。

## IPテレビ電話サービスをご利用になる際のご注意

発信先電話番号と発信できるサービスは、次のとおりです。

### ひかり電話の場合

	発信先の電話番号	発信できるサービス
加入電話番号	例：03-XXXX-XXXX 06-XXXX-XXXX	ひかり電話で発信できます。
050番号 (IP電話)	例：050-XXXX-XXXX	ひかり電話で発信できます。 ※契約されたひかり電話サービスとは異なるサービスのご利用者とは、通話できない場合があります。
0X0 (050以外)	例：携帯電話(090)、PHS(070)、国際電話(010)など	契約されたひかり電話のサービス内容によります。
00XY	例：0036などで始まる番号	・ダイヤルした番号がひかり電話サービス対象の場合 ひかり電話で発信できます。
0XY0 (市外局番以外)	例：0120、0570などで始まる番号	・ダイヤルした番号がひかり電話サービス対象外の場合 加入電話でおかけください。
1XY	110、118、119などの緊急電話	ひかり電話で発信できます。
	184 / 186番+電話番号 ※電話番号に市外局番を付けて発信してください。	ひかり電話で発信できます。
	その他の「1」で始まる番号 例：117や177など	契約されたひかり電話のサービス内容によります。 ・ダイヤルした番号がひかり電話サービス対象の場合(例：177など) ひかり電話で発信できます。 ・ダイヤルした番号がひかり電話サービス対象外の場合(例：117など) 加入電話でおかけください。
#で始まる4桁のダイヤル		加入電話でおかけください。
1桁または2桁の電話番号		内線電話として発信できます。 また、#付きの1桁または2桁の電話番号でも、内線電話として発信できます。

### プロバイダが提供する「050」番号を利用したIPテレビ電話サービスの場合

	発信先の電話番号	発信できるサービス
加入電話番号	例：03-XXXX-XXXX 06-XXXX-XXXX	IPテレビ電話サービスで発信できます。
050番号 (IP電話)	例：050-XXXX-XXXX	IPテレビ電話サービスで発信できます。 ※契約されたIPテレビ電話サービスとは異なるサービスのご利用者とは、通話できない場合があります。
0X0 (050以外)	例：携帯電話 (090)、PHS (070)、国際電話 (010) など	契約されたIPテレビ電話サービスのサービス内容によります。
00XY	例：0036などで始まる番号	・ダイヤルした番号がIPテレビ電話サービス対象の場合 IPテレビ電話サービスで発信できます。
0XY0 (市外局番以外)	例：0120、0570などで始まる番号	・ダイヤルした番号がIPテレビ電話サービス対象外の場合 加入電話でおかけください。
1XY	110、118、119などの緊急電話	加入電話でおかけください。
	184 / 186番+電話番号 ※電話番号に市外局番を付けて発信してください。	IPテレビ電話サービスで発信できます。
	その他の「1」で始まる番号 例：177など ※市外局番を付けて発信してください。	加入電話でおかけください。 ※番号によっては市外局番を付けることでIPテレビ電話サービスで発信できる場合があります (例：177など)。
#で始まるダイヤル		加入電話でおかけください。

### FLET'S.Netナンバーを利用したIPテレビ電話サービスの場合

	発信先の電話番号	発信できるサービス
FLET'S.Net ナンバー	例：XXXXXXX (6桁)	NTT東日本のFLET'S.Netナンバーで発信できます。 ※利用するIPテレビ電話サービスに、FLET'S.Netナンバーを選択した場合に発信できます。 ※同じサービスを利用している相手にしか、発信できません。

## 「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能を利用したIPテレビ電話サービスの場合

	発信先の電話番号	発信できるサービス
「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能	ダイヤルナンバー 例：XXXXXXXX（7桁の数字）	「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能で発信できます。 ※利用するIPテレビ電話サービスに、「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能を選択した場合に発信できます。 ※同じサービスを利用している相手にしか、発信できません。
	1XY	・184 / 186+ダイヤルナンバーの場合 IPテレビ電話サービスで発信できます。 ・その他の「1」で始まる番号の場合 加入電話でおかけください。

## H.323を利用したIPテレビ電話サービスの場合

	発信先の電話番号	発信できるサービス
テレビ会議システムなど、H.323での通話	任意に設定した番号（1桁～32桁） ※英字を含む番号の場合は、あらかじめ電話帳に登録しておき、電話帳から発信してください。電話帳については、「電話帳を利用します」（P.65）をご覧ください。	H.323（多地点テレビ会議）で発信できます。 ※利用するIPテレビ電話サービスに、H.323を利用したIPテレビ電話サービスを選択した場合に発信できます。 ※同じサービスを利用している相手にしか、発信できません。

### お知らせ

- H.323方式を利用したIPテレビ電話（会議）サービスで着信拒否をされた相手に発信した場合、呼出音が1回のみ鳴り、その後、待受表示に戻ります。その際、エラーメッセージの表示はされず、話中音は鳴りません。

## ■ IPテレビ電話サービスから発信した場合の発信者番号通知（ナンバー・ディスプレイ）

### 【契約されたIPテレビ電話サービスご利用者間の通話】

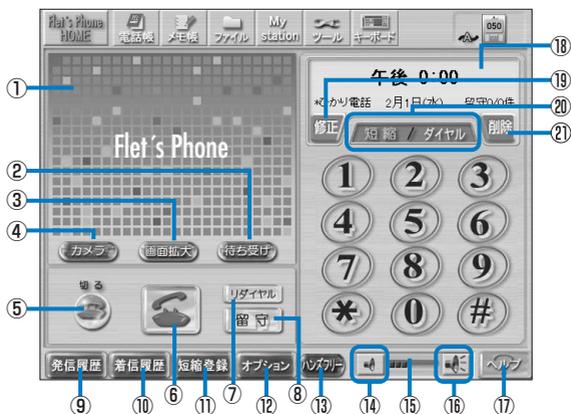
- IPテレビ電話サービスで使う電話番号が通知されます。
- 「184+電話番号」をダイヤルすることで、非通知にすることができます。
- FLET'S.Netナンバー、H.323での通話の場合は、通知／非通知の設定はできません（184 / 186は無効です）。

### 【契約されたIPテレビ電話サービスご利用者間以外の通話】

- 契約されたプロバイダにご確認ください（IPテレビ電話サービスによっては、加入電話などに発信したときは、発信者番号が通知されない場合があります）。

## テレビ電話画面について

テレビ電話画面には、次のようなボタンや機能があります。



項目	説明
①イメージウィンドウ	カメラ映像や待ち受け画面を表示します。
②待ち受け／自画像／相手画像	イメージウィンドウの表示を切り替えます。[待ち受け]と表示されているときは、イメージウィンドウに待ち受け画面が表示されます。[自画像]と表示されているときは、自分側のカメラ映像（内蔵カメラの映像）が表示されます。通話中は、自分側が画像送信をしていない場合は自画像への切り替えはできません。[相手画像]は、通話中に相手側が画像送信をした場合に表示されます。
③画面拡大	カメラ映像を拡大表示にします。
④カメラ／外部入力	内蔵カメラの映像と映像入力端子からの映像を切り替えます。[カメラ]が表示されているときは、内蔵カメラの映像が表示されています。[外部入力]が表示されているときは、映像入力端子に接続されている機器からの映像が表示されています。
⑤切る	電話を切ります。
⑥発信	電話をかけたり受けたりします。電話については、「電話番号にタッチして電話をかけます」(P.50)、「電話を受けます」(P.61)、画面上のヘルプをご覧ください。
⑦リダイヤル	最後にかけた電話番号にかけ直します。リダイヤルについては、「前にかけた電話番号にかけ直します(リダイヤル)」(P.55)をご覧ください。 ※H.323を利用している場合は、表示位置が下がります。
⑧留守	留守番電話の設定／解除を行います。留守録メッセージがある場合、解除時に再生画面が表示されます。 ※H.323を利用している場合は、表示されません。
⑨発信履歴	発信履歴を表示します。発信履歴については、「発信履歴から電話をかけます」(P.56)をご覧ください。
⑩着信履歴	着信履歴を表示します。着信履歴については、「着信履歴から電話をかけます」(P.57)をご覧ください。
⑪短縮登録	短縮ダイヤルを登録します。短縮については、「短縮ボタンから電話をかけます」(P.58)をご覧ください。
⑫オプション	テレビ電話についての各種設定を行います。

項目	説明
⑬ハンズフリー	オプションのハンドセットを接続しているときに表示されます。このボタンにタッチしてハンドセットを置き台に置くと、ハンズフリーで通話できるようになります。ハンドセットについては、「ハンドセット (オプション) を使って電話をかけます」(P.60)、「ハンドセット (オプション) を使って電話を受けます」(P.64)をご覧ください。
⑭音量調節 (小)	受話音量を小さくします。通話時以外の音については、オプション画面の中で調節します。
⑮音量インジケータ	受話音量を表示します。
⑯音量調節 (大)	受話音量を大きくします。通話時以外の音については、オプション画面の中で調節します。
⑰ヘルプ	電話機能についてのヘルプ画面を表示します。
⑱情報ウィンドウ	通話相手の電話番号が表示されます。通話相手が電話帳に登録されている場合は、名前も表示されます。待ち受け時には、時刻と発信先情報および留守番電話の未再生件数/総件数が表示されます。発信先情報は、ひかり電話やIPテレビ電話サービスが利用できる場合、利用状況、通常の発信先が表示されます。 ※H.323を利用している場合は、留守番電話の未再生件数/総件数は表示されません。 ※発信先情報について詳しくは、画面上のヘルプをご覧ください。
⑲修正	入力した電話番号を末尾から1文字ずつ削除します。
⑳短縮/ダイヤル	短縮モード画面とダイヤル画面を切り替えます。
㉑削除	入力した電話番号をすべて削除します。

## ■オプション画面で設定できること

[オプション] ボタンにタッチすると、次のような画面が表示されます。ここでは、電話に関する詳細設定ができます。



項目	設定内容
①非通知着信拒否	電話番号を非通知に設定した電話からの、着信の拒否 (ON) / 許可 (OFF) を切り替えます。 ※H.323を利用している場合は、OFF固定となります。
②発信番号通知	相手側への自分の電話番号の通知 (ON) / 非通知 (OFF) を切り替えます。 ※H.323を利用している場合は、ON固定となります。
③着信音	着信音を切り替えます。[試聴] ボタンにタッチすると、着信音を試聴できます。試聴中に[停止]ボタンにタッチすると、試聴を停止できます。着信音に「ユーザ設定」を選択すると、[登録] ボタンが表示され、着信音として登録する音声ファイル (WAVファイル) を選択できます。

項目	説明
④音の大きさ	着信音やダイヤル中の音など、通話中以外の電話関連音量を調節します。
⑤映像帯域	相手側に送信する映像のデータ量を設定します。大きな値に設定すると高画質の映像を送信できますが、処理が遅くなる場合があります。※無線LAN使用時は、映像帯域が制限されます。
⑥通話開始時	通話開始時に映像や音声を送信するかどうかを設定します。 [映像ON/OFF] は、通話開始時に映像を送信するかを設定します。 [全画面ON/OFF] は、通話開始時に全画面表示するかを設定します。 [音声ON/OFF] は、通話開始時に音声を送信するかを設定します。 ※[音声ON/OFF] は、H.323を利用している場合のみ有効です。
⑦通話時間表示	通話中に相手側画像を拡大表示した場合、通話時間を表示するかどうかを設定します。
⑧留守録設定	留守録の設定を行います。 ※H.323を利用している場合は、設定できません。

### ワンポイント

- 各項目について詳しくは、画面上のヘルプをご覧ください。

### お知らせ

- 「パスワード変更」でパスワードを設定した場合は、設定したパスワードを正しく入力しないとオプション画面は表示されません。詳しくは、「環境設定画面で設定できること」(P.89)をご覧ください。

## ■留守録設定画面で設定できること

[留守録設定] ボタンにタッチすると、次のような画面が表示されます。ここでは、本商品の留守番電話機能についての設定ができます。



項目	設定内容
①呼出音鳴動秒数 (目安)	着信から何秒後に留守番電話に切り替わるかを設定します。
②最大保存秒数	1回の留守録で保存する最大秒数を設定します。
③メッセージ保存先	留守録を保存する場所を設定します。
④メッセージ保存件数 (目安)	最大保存秒数とメッセージ保存先に選択したメモリの空き容量から保存できる件数の目安を計算して表示します。 ※留守録メッセージは、最大99件まで保存可能です。

### お知らせ

- H.323を利用している場合は、設定できません。
- 録音されるメッセージの長さや画像の状態により、表示された保存件数より多くのメッセージが保存できる場合があります。
- システムの負荷により、呼出鳴動秒数で設定した値より留守番電話への切り替えに時間がかかる場合があります。
- システムの負荷により、最大保存秒数で設定した値より長く録音される場合があります。

## 電話番号にタッチして電話をかけます

タッチパネルで電話番号をタッチして電話をかけます。電話がつながると、ハンズフリーで通話することができます。[映像送信] ボタンにタッチすると、自分側のカメラ映像が相手側に送信されます。



### ワンポイント

- ・ ひかり電話とIPテレビ電話サービスを併用する場合の電話のかけ方については、画面上のヘルプをご覧ください。

### お知らせ

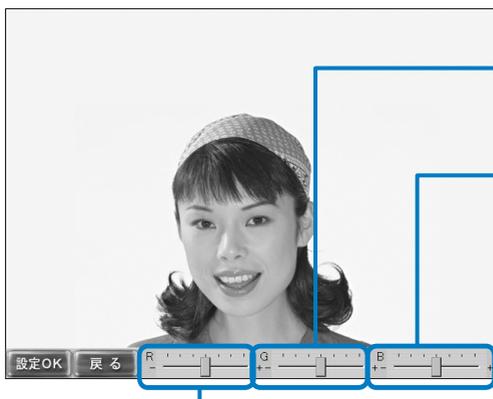
- 相手側が音声のみに対応している端末の場合は、[映像送信] ボタンは表示されません。
- ハンズフリーでの通話中に、通話以外の「ピー」「キー」などの異常音（ハウリング音）が聞こえたときや、受話音量が不安定になったときには、次のいずれかの方法を行ってください。
  - ・ 受話音量を小さくしてください。
  - ・ マイクをスピーカから遠ざけてください（外部マイク接続時）。また、次のようなときは異常音が起こりやすくなりますので、ご注意ください。
  - ・ 受話音量を大きくしすぎたとき
  - ・ スピーカやマイクに手を近づけたとき
  - ・ 反響音が大きい場所に設置したとき
  - ・ 相手側から音声以外の信号（保留音、トーン信号など）が入ってきたとき
- ハンズフリーでの通話時に本体や画面上のボタンを操作すると、通話相手に操作音が伝わる場合がありますが、故障ではありません。
- 通話中に各種ボタンや液晶ディスプレイを強くタッチすると、相手側に大きな音が伝わる場合があります。ご注意ください。
- システムやネットワークの状況により、自動的に「電話準備中」と表示され、電話を再設定する場合があります。設定が完了するまでしばらくお待ちください。
- 通話中、呼出中または着信中に何らかの原因で一方の端末の接続が切断された場合、通話中、呼出中、または着信中のままになることがあります。テレビ電話通話中は画像が動かなくなることもあります。この場合は、[切る] ボタンにタッチしてください（着信中の場合はいったん電話を受けてから [切る] ボタンにタッチしてください）。[切る] ボタンにタッチしてもすぐに切れない場合は、しばらくお待ちください。
- 本商品、フレッツフォン VP1000、フレッツフォンに対応したソフトフォンおよびFOMA®以外のIP電話、加入電話、携帯電話、PHSに電話をかけた場合は、音声のみの通信になります。また、ご利用の電話サービスによっては、音声のみの通信になる場合があります。
- 契約されたIPテレビ電話サービスが携帯電話やPHSへの通話をサービス対象外としている場合は、本商品から電話をかけることはできません。プロバイダが提供するIPテレビ電話サービスをご利用の場合は、サービス内容についてプロバイダ各社にお問い合わせください。
- ネットワークの状態によっては、映像や音声が乱れたり、止まったり、また、切断となる場合があります。

## 1 本体前面のTV電話ボタンを押す

## 2 自分側のカメラ映像を確認したいときは、【待ち受け】ボタンにタッチする イメージウィンドウに自分側のカメラ映像が表示されます。

### ワンポイント

- ・【画面拡大】ボタンにタッチすると自分側のカメラ映像が拡大表示され、電話をかける前に自分側のカメラ映像を確認することができます。
- ・自分側のカメラ映像を見ながら、カメラの角度を調節してください。
- ・拡大表示にすると、下の図のような映像の色味を調整するつまみが表示されます。映像の色味が不自然な場合は、つまみを動かして調整してください。



映像の緑色の強さを調整します。つまみを右側に動かすと、緑色が強くなります。

映像の青色の強さを調整します。つまみを右側に動かすと、青色が強くなります。

映像の赤色の強さを調整します。つまみを右側に動かすと、赤色が強くなります。

### お知らせ

- 縞模様の洋服などを表示させると、映像がちらつくことがあります。

## 3 相手の電話番号にタッチする

電話番号を間違えたときは、【修正】ボタンにタッチすると、入力した電話番号を末尾から1文字ずつ削除することができます。

入力した電話番号をすべて削除するときは、【削除】ボタンにタッチします。

ひかり電話にかける場合	市外局番－市内局番－電話番号
IP電話にかける場合	050－××××－××××
加入電話にかける場合	市外局番－市内局番－電話番号
携帯電話にかける場合	090－××××－××××、または080－××××－××××
PHSにかける場合	070－××××－××××
FLET'S.Netナンバーを利用する場合	×××××× (6桁)
ダイヤルナンバーを利用する場合	××××××× (7桁)
H.323 (多地点テレビ会議)を利用する場合	任意に設定した1桁から32桁の番号

## 4 【発信】 ボタンにタッチする

発信中画面が表示されます。

電話がつながると、「テレビ電話通話中」と表示され、操作パネルの表示が切り替わります。

相手側が音声のみに対応している端末の場合は、「通話中」と表示されます。

相手側の音声の流れ、ハンズフリーで通話できます。



電話がつながると、操作パネルの表示が切り替わります

受話音量を小さくします

受話音量を大きくします

### ワンポイント

- ・ 周囲の雑音が大きいときやお話しを始めたとき、相手がお話しをしている間は、こちらの声がいと相手に声が聞こえにくくなります。このようなときは、マイクに近づいてお話ししてください。

### お知らせ

- 本商品で着信を受けることができない場合は、発信側の端末で呼出音が鳴ったあとに話し中になることがあります。
- 通話時には、マイクに手などを近づけないようにして、マイクから50cm以内の距離でお話しをしてください。
- 存在しない電話番号に電話をかけた場合や相手の電話に電源が入っていない場合など、音声でご案内が流れる場合がありますが、受話音量は調節できません。
- 次のようなときは、エラーメッセージが表示されずに、待ち受け状態になることがあります。
  - ・ 通話中の相手に発信したとき
  - ・ 相手呼び出しから約3分経過したとき
  - ・ 接続できない番号（存在しない相手番号など）へ発信したとき

通話開始後、相手側が「映像送信」ボタンにタッチすると、相手側のカメラ映像が表示されます。



相手側のカメラ映像が表示されます

### お知らせ

- 発信側、着信側の利用回線により、最適な映像帯域で画面表示します。
- 操作パネルが表示されたまま、相手側のカメラ映像がイメージウィンドウに表示されている場合、「画面拡大」ボタンにタッチすると、カメラ映像が拡大表示されます。
- H.323を利用している場合は、テレビ電話画面のオプションで「通話開始時全画面OFF」設定で映像帯域が1Mbps以上でも操作パネルが表示されたまま、相手側のカメラ映像がイメージウィンドウに表示されます。

## 5 【映像送信】ボタンにタッチする

自分側のカメラ映像が、相手側に送信されます。同時に自分側のカメラ映像が、子画面に表示されます。



自分側のカメラ映像が子画面に表示されます

カメラ映像のどこかにタッチすると、全画面表示になります

相手側のカメラ映像が親画面に表示されます

## 6 通話が終わったら【切る】ボタンにタッチする

## ■ 通話中の操作について

項目	説明
 	映像保留／映像送信
 	音声消音／音声送信
 	電話を切る
	子画面
	戻る
	カメラ

### ワンポイント

- ・ [オプション] ボタンにタッチすると、テレビ電話の各種設定画面が表示され、次のような設定ができます。詳しくは、画面上のヘルプをご覧ください。
  - お客様の電話番号を相手側に通知するかどうかを設定することができます。
  - 着信音の大きさを調節することができます。
  - 電話着信音を変更することができます。

## ■ 保留にします

通話中の電話を保留にすることができます。

- 音声消音中は、自分側のカメラ映像はそのまま音声流さないようにします。
- 映像保留中は、「映像保留中」のメッセージ画像を相手側に送信します。

### 1 通話中に【映像送信】ボタン、または【音声送信】ボタンにタッチする

【映像送信】ボタンにタッチすると、自分側のカメラ映像の代わりに「映像保留中」のメッセージ画像を相手側に送信します。また、音声も同時に保留されます。

【音声送信】ボタンにタッチすると、自分側の音声も相手側に送信されなくなります。

### 2 電話に出られるようになったら【映像送信】ボタン、または【音声送信】ボタンにタッチする

【映像送信】ボタンにタッチした場合、同時に音声も送信されます。

## 前にかけた電話番号にかけ直します（リダイヤル）

最後にかけた電話番号にかけ直すことができます。通話相手が話し中の場合など、かけ直すときに便利です。

**1** 本体前面のTV電話ボタンを押す

**2** 【リダイヤル】 ボタンにタッチする  
最後にかけた電話番号が表示されます。

**3** 【発信】 ボタンにタッチする  
電話番号が表示され、発信中画面が表示されます。

電話がつながると「テレビ電話通話中」と表示され、操作パネルの表示が切り替わります。相手側が音声のみに対応している端末の場合は、「通話中」と表示されます。相手側の音声の流れ、ハンズフリーで通話できます。

通話開始後、相手側が【映像送信】 ボタンにタッチすると、相手側の映像が表示されます。

**4** 【映像送信】 ボタンにタッチする  
自分側のカメラ映像が、相手側に送信されます。  
同時に自分側のカメラ映像が、子画面に表示されます。

**5** 通話が終わったら【切る】 ボタンにタッチする

## 発信履歴から電話をかけます

電話をかけると、通話相手の電話番号や日付、時刻などの情報が発信履歴として記憶されます。相手が電話に出なかった場合も履歴として記憶されます。履歴を利用して電話をかけることができます。

- 通話中は履歴を表示できません。
- 履歴には、本商品で設定された日時が記憶されます。日付、時刻は正しく設定してください。設定について詳しくは、画面上のヘルプをご覧ください。
- 履歴は20件まで記憶されます。

### お知らせ

- 電話帳を利用して電話をかけると、電話番号、氏名、発信日時が発信履歴に表示されます。

#### 1 本体前面のTV電話ボタンを押す

#### 2 【発信履歴】 ボタンにタッチする

履歴が表示されます。

#### 3 履歴を選んで【発信】 ボタンにタッチする

電話番号が表示され、発信中画面が表示されます。

電話がつながると「テレビ電話通話中」と表示され、操作パネルの表示が切り替わります。相手側が音声のみに対応している端末の場合は、「通話中」と表示されます。相手側の音声の流れ、ハンズフリーで通話できます。

通話開始後、相手側が「映像送信」ボタンにタッチすると、相手側の映像が表示されます。

#### 4 【映像送信】 ボタンにタッチする

自分側のカメラ映像が、相手側に送信されます。  
同時に自分側のカメラ映像が、子画面に表示されます。

#### 5 通話が終わったら【切る】 ボタンにタッチする

### ■ 発信履歴を削除します

#### 1 本体前面のTV電話ボタンを押す

#### 2 【発信履歴】 ボタンにタッチする

#### 3 削除したい履歴にタッチする

#### 4 【1件削除】 ボタンにタッチし、【はい】 ボタンにタッチする

すべての履歴を削除するときは、【全件削除】 ボタンにタッチします。  
中止する場合は、【いいえ】 ボタンにタッチします。

## 着信履歴から電話をかけます

電話を受けると、通話相手の電話番号や日付、時刻などの情報が着信履歴として記憶されます。電話に出なかった場合も履歴として記憶されます。履歴を利用して電話をかけることができます。

- 通話中は履歴を表示できません。
- 履歴には、本商品で設定された日時が記憶されます。日付、時刻は正しく設定してください。設定について詳しくは、画面上のヘルプをご覧ください。
- 履歴は20件まで記憶されます。

### お知らせ

- 通知された電話番号が電話帳に登録されている場合は、電話番号、氏名、着信日時が着信履歴に表示されます。

### 1 本体前面のTV電話ボタンを押す

### 2 【着信履歴】 ボタンにタッチする

履歴が表示されます。

### 3 履歴を選んで【発信】 ボタンにタッチする

電話番号が表示され、発信中画面が表示されます。

電話がつながると「テレビ電話通話中」と表示され、操作パネルの表示が切り替わります。相手側が音声のみに対応している端末の場合は、「通話中」と表示されます。相手側の音声の流れ、ハンズフリーで通話できます。

通話開始後、相手側が【映像送信】 ボタンにタッチすると、相手側の映像が表示されます。

### 4 【映像送信】 ボタンにタッチする

自分側のカメラ映像が、相手側に送信されます。同時に自分側のカメラ映像が、子画面に表示されます。

### 5 通話が終わったら【切る】 ボタンにタッチする

## ■ 着信履歴を削除します

### 1 本体前面のTV電話ボタンを押す

### 2 【着信履歴】 ボタンにタッチする

### 3 削除したい履歴にタッチする

### 4 【1件削除】 ボタンにタッチし、【はい】 ボタンにタッチする

すべての履歴を削除するときは、【全件削除】 ボタンにタッチします。中止する場合は、【いいえ】 ボタンにタッチします。

## 短縮ボタンから電話をかけます

よくかける電話番号は、短縮ダイヤルに登録すると便利です。

- 短縮ダイヤルは6件まで登録できます。
- 短縮ダイヤルは、短縮ボタン 1つに対して1件のみ登録することができます。
- テレビ電話画面で「短縮」ボタンにタッチすると、登録した電話番号の氏名一覧が表示されます。

### ■ 短縮ダイヤルを設定します

- 1** 本体前面のTV電話ボタンを押す
- 2** 【短縮登録】ボタンにタッチする
- 3** 「短縮1」欄～「短縮6」欄のいずれかにタッチする
- 4** 【キーボード】アイコンにタッチして氏名と電話番号を入力する  
氏名は、 にタッチして表示される一覧から選択することもできます。
- 5** 入力が終わったらキーボードの【隠す】ボタンにタッチする
- 6** 【設定OK】ボタンにタッチする

#### お知らせ

- 登録済みの短縮ダイヤルに新しく登録すると、短縮ダイヤルが上書きされます。前に登録されていた電話番号は消去されます。

## ■ 短縮ボタンで電話をかけます

1 本体前面のTV電話ボタンを押す

2 【短縮】 ボタンにタッチする  
短縮モード画面が表示されます。

3 電話をかけたい短縮ボタンに  
タッチする



4 【発信】 ボタンにタッチする  
電話番号が表示され、発信中画面が表示されます。

電話がつながると「テレビ電話通話中」と表示され、操作パネルの表示が切り替わります。相手側が音声のみに対応している端末の場合は、「通話中」と表示されます。相手側の音声の流れ、ハンズフリーで通話できます。

通話開始後、相手側が【映像送信】ボタンにタッチすると、相手側の映像が表示されます。

5 【映像送信】 ボタンにタッチする  
自分側のカメラ映像が、相手側に送信されます。  
同時に自分側のカメラ映像が、子画面に表示されます。

6 通話が終わったら【切る】ボタンにタッチする

## ハンドセット（オプション）を使って電話をかけます

オプションのハンドセットを接続すると、通常の電話機と同様のかけかたで電話をかけることができます。ハンドセットは、本体側面のハンドセット接続ポートに接続します。

**1** 本体前面のTV電話ボタンを押す

**2** ハンドセットを取りあげる

**3** 相手の電話番号にタッチする

**4** 【発信】 ボタンにタッチする

電話番号が表示され、発信中画面が表示されます。

電話がつながると「テレビ電話通話中」と表示され、操作パネルの表示が切り替わります。

相手側が音声のみに対応している端末の場合は、「通話中」と表示されます。

通話開始後、相手側が【映像送信】ボタンにタッチすると、相手側のカメラ映像が表示されます。



電話がつながると操作パネルの表示が切り替わります

**5** 【映像送信】 ボタンにタッチする

自分側のカメラ映像が、相手側に送信されます。

同時に自分側のカメラ映像が、子画面に表示されます。

**6** 通話が終わったらハンドセットを置き台に置くか、【切る】 ボタンにタッチする



### ワンポイント

- ・【ハンズフリー】 ボタンにタッチし、ハンドセットを置き台に置くと、ハンズフリーで通話できます。

# 電話を受けます

本商品で電話を受けます。電話がつながると、カメラ映像を見ながらハンズフリーで通話できます。加入電話や携帯電話、PHSからの電話を受けても音声のみで通信できます。



## ワンポイント

- 電話番号を通知してこない電話を、受けないように設定することができます。詳しくは、画面上のヘルプをご覧ください。

## お知らせ

- 相手側が音声のみに対応している端末の場合は、[映像送信] ボタンは表示されません。
- IP電話が利用できる状態になっていても次のような場合は、着信を受けることができません。また、このような状態の相手先に電話をかけた場合は、呼出中のまま、話し中、またはエラーとなります。
  - ・ [留守] ボタンにタッチ後の留守録応答メッセージ再生中
  - ・ 留守録中
  - ・ 留守録メッセージ保存中、削除中
  - ・ ブラウザまたはメモ帳で印刷中
  - ・ 起動中（再起動、シャットダウンの処理中）
  - ・ アップデート中（メッセージ表示中）
  - ・ 設定ガイド起動中
  - ・ 各種設定の設定反映中
  - ・ タッチパネル補正中
  - ・ メモ帳機能、ファイル機能でのファイル保存中、削除中
  - ・ データ管理機能のバックアップ処理中、読み込み処理中（メッセージ表示中）
  - ・ プロバイダを利用したメールの送受信中
  - ・ ディスプレイオフ移行時（メッセージ表示中）
  - ・ ハンドセット（オプション）を接続し、ハンドセットを取りあげているとき
  - ・ メディアプレーヤ起動から再生開始までの間
- 公衆電話からの着信は、使用している電話サービスにより「非通知」となる場合があります。テレビ電話画面のオプションで「非通知着信拒否」をONにすると、公衆電話からの着信を受けません。
- 通話中、呼出中、または着信中に、何らかの原因で一方の端末の接続が切断された場合、通話中、呼出中、または着信中のままになることがあります。テレビ電話通話中は画像が動かなくなることもあります。この場合は、[切る] ボタンにタッチしてください（着信中の場合はいったん電話を受けてから [切る] ボタンにタッチしてください）。[切る] ボタンにタッチしてもすぐに切れない場合は、数10秒お待ちください。
- H.323を利用している場合は、「テレビ電話着信中」にならず「電話着信中」と表示されます。
- ネットワークの状態によっては、映像や音声が乱れたり、止まったり、また、切断となる場合があります。
- 着信中／保留中／留守録中にイヤホンマイクやハンドセットを接続したり、取り外さないでください。電話を受けてしまう場合があります。

## 電話を受けます

### 1 電話がかかってきたら【発信】ボタンにタッチする



電話がつながると「テレビ電話通話中」と表示され、操作パネルの表示が切り替わります。相手側が音声のみに対応している端末の場合は、「通話中」と表示されます。相手側の音声の流れ、ハンズフリーで通話できます。



電話がつながると操作パネルの表示が切り替わります

受話音量を小さくできます

受話音量を大きくできます

### お知らせ

- 相手側が電話番号を通知してきた場合は、着信中画面に電話番号が表示されます。
- 電話番号を通知してきた相手が電話帳に登録されている場合は、着信中画面に電話番号と氏名が表示されます。

相手側が「映像送信」ボタンにタッチすると、相手側のカメラ映像が表示されます。



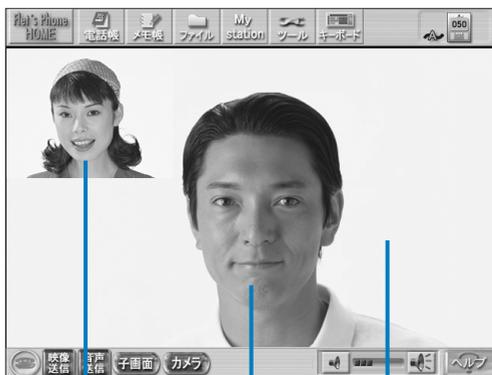
相手側のカメラ映像が表示されます

### お知らせ

- 発信側、着信側の利用回線により、最適な映像帯域で画面表示します。
- 操作パネルが表示されたまま、相手側のカメラ映像がイメージウィンドウに表示されている場合、「画面拡大」ボタンにタッチすると、カメラ映像が拡大表示されます。
- H.323を利用している場合は、テレビ電話画面のオプションで「通話開始時全画面OFF」設定で映像帯域が1Mbps以上でも操作パネルが表示されたまま、相手側のカメラ映像がイメージウィンドウに表示されます。

## 2 【映像送信】ボタンにタッチする

自分側のカメラ映像が、相手側に送信されます。  
同時に自分側のカメラ映像が、子画面に表示されます。



自分側のカメラ映像が子画面に表示されます

カメラ映像のどこかにタッチすると、全画面表示になります

相手側のカメラ映像が親画面に表示されます

## 3 通話が終わったら【切る】ボタンにタッチする

## ハンドセット（オプション）を使って電話を受けます

オプションのハンドセットを接続すると、通常の電話機と同様の受けかたで電話を受けることができます。ハンドセットは、本体側面のハンドセット接続ポートに接続します。

### 1 電話がかかってきたらハンドセットを取りあげる

「テレビ電話通話中」と表示され、操作パネルの表示が切り替わります。

相手側の音声が聞こえます。相手側が音声のみに対応している端末の場合、「通話中」と表示されます。

相手側が「映像送信」ボタンにタッチすると、相手側のカメラ映像が表示されます。



電話がつながると操作パネルの表示が切り替わります

### 2 【映像送信】 ボタンにタッチする

自分側のカメラ映像が、相手側に送信されます。同時に自分側のカメラ映像が、子画面に表示されます。

### 3 通話が終わったらハンドセットを置き台に置くか、【切る】 ボタンにタッチする

#### ワンポイント

- ・【ハンズフリー】 ボタンにタッチし、ハンドセットを置き台に置くと、ハンズフリーで通話できます。

# 電話帳を利用します

本商品には、電話番号やメールアドレスを登録できる電話帳があります。電話帳に個人データを登録して、お客様の用途に合わせて使い分けることができます。

## 電話帳に登録します

電話帳には氏名、フリガナ、電話番号、グループ、相手端末の種類（アイコン）、メールアドレスを登録することができます。

- 1つの氏名で電話番号とメールアドレスを各3件まで登録できます。登録したい相手ごとに「自宅のメールアドレス」、「会社のメールアドレス」、「携帯電話のメールアドレス」などもまとめて登録しておくことができます。
- 電話帳には、最大250件まで登録できます。
- 電話帳を登録するときに、グループを設定しておくとう便利です。グループは、20グループまで設定できます。
- 登録した電話帳は、フリガナ検索または詳細検索ですばやく呼び出すことができます。
- 電話帳に登録した相手から電話がかかってくると、電話番号と氏名が表示されます。
- 電話帳に登録された相手と電話をかけたり、受けたりすると履歴に電話番号、氏名、日時が表示されます。
- 発信履歴や着信履歴から電話帳に登録することもできます。
- 電話帳から短縮ダイヤルに登録することもできます。操作について詳しくは、画面上のヘルプをご覧ください。

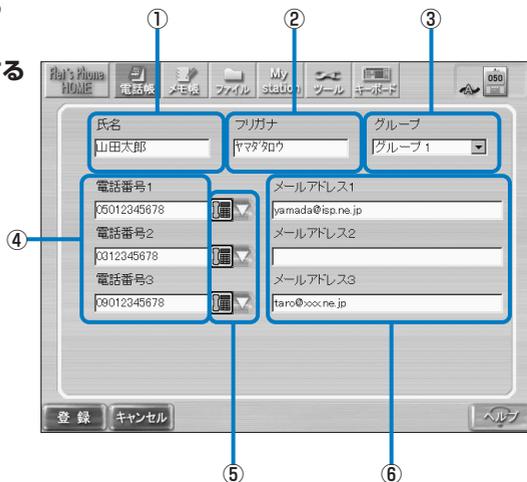
### お知らせ

- 電話帳に251件以上の登録をする場合、新規作成画面は表示されますが、登録時にエラーが表示され登録することができません。
- 電話帳のアドレス登録・編集時や短縮登録時に、半角英数字以外の文字は電話番号欄に貼り付けできません。

## ■ 電話帳に新規登録します

**1** 【電話帳】 ボタンにタッチする

**2** 【新規作成】 ボタンにタッチする  
右の画面が表示されます。



項目	説明
①氏名	相手の氏名を、漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号で入力します。32文字まで入力できます。
②フリガナ	氏名のフリガナを、漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号で入力します。氏名を漢字、ひらがな、カタカナ、半角英字、半角数字で入力すると自動的に入力されます。32文字まで入力できます。
③グループ	「設定なし」および「グループ1」～「グループ20」から選びます。
④電話番号1～3	相手の電話番号を入力します。半角英数字で49文字まで入力できます。「-」は入力しません。3件まで登録できます。
⑤相手端末	相手側端末の種類（アイコン）を選択できます。アイコンは、4種類から選択できます。
⑥メールアドレス1～3	メールアドレスを入力します。半角英数字、記号で50文字まで入力できます。3件まで登録できます。

**3** 【キーボード】 アイコンにタッチしてキーボードを表示し、必要な項目を入力する

**4** 設定が終わったら【登録】 ボタンにタッチする  
電話帳画面に戻ります。

## 電話帳を編集します

電話帳の登録内容の変更や削除をすることができます。

### 1 【電話帳】 ボタンにタッチする

### 2 編集したい電話帳を選んで【編集】 ボタンにタッチする

電話帳を削除する場合は、[削除] → [はい] の順にボタンにタッチします。

### 3 登録画面で登録内容の変更を行う



#### ワンポイント

- 登録画面については、「電話帳に新規登録します」(P.66) をご覧ください。

#### お知らせ

- 1つの氏名で電話番号とメールアドレスを各3件まで登録できます。[削除] ボタンを使用すると、1件の電話番号やメールアドレスを指定して削除した場合でも、氏名1件分の電話番号やメールアドレス（最大3件分）の登録データがすべて削除されます。ご注意ください。

## 電話帳を検索します

登録した電話帳は、フリガナ検索または詳細検索で呼び出すことができます。呼び出した電話帳から電話をかけたり、メールを送信することができます。

### ■ フリガナ検索します

**1** 【電話帳】 ボタンにタッチする

**2** フリガナの頭文字のボタンにタッチする

フリガナの頭文字が50音の場合は、[あ] ~ [わ] ボタンにタッチします。

フリガナの頭文字が英数字の場合は、[英数] ボタンにタッチします。

フリガナの頭文字が記号の場合は、[他] ボタンにタッチします。

[全] ボタンにタッチすると、登録されている電話帳すべてが表示されます。

**3** 電話帳が表示されたら目的の電話番号を選択する

電話をかけるには、[発信] ボタンにタッチします。

メールを送信するには、[メール作成] ボタンにタッチします。メール機能について詳しくは、画面上のヘルプをご覧ください。

### ■ 詳細検索をします

**1** 【電話帳】 ボタンにタッチする

**2** 【詳細検索】 ボタンにタッチする

検索方法を選択する画面が表示されます。

**3** 「グループ検索」または「文字列検索」のどちらかを選択する

**4** 「グループ検索」を選択した場合は、検索するグループを選択する  
「文字列検索」を選択した場合は、検索する項目を選択して文字列を入力する

検索したいグループや電話帳の氏名、メールアドレスの一部などを入力して、検索できます。

**5** 【検索】 ボタンにタッチする

該当する電話帳が一覧に表示されます。

**6** 電話帳が表示されたら目的の電話番号を選択する

電話をかけるには、[発信] ボタンにタッチします。

メールを送信するには、[メール作成] ボタンにタッチします。メール機能について詳しくは、画面上のヘルプをご覧ください。

## その他の機能について

本商品では、テレビ電話の他に次のようなことができます。各機能の詳細は、画面上のヘルプを参照してください。

- プロバイダを利用してインターネット上のホームページを見ることができます。
- ひかり電話をご契約の場合、保留、キャッチホン、内線、内線転送機能を利用することができます。
- 留守番電話を利用できます。
- プロバイダを利用したメールの送受信ができます。
- メモ帳で簡単なイラストや文章の入ったメモ（画像データ）を作成、共有することができます。
- ツール機能で設定や再起動ができます。
- メディアプレーヤで動画や音声ファイルを再生できます（Windows Media 9形式で最大2Mbpsの動画再生をサポート）。

### お知らせ

#### メディアプレーヤ機能ご利用時の注意

- 本商品のメディアプレーヤは、機能が限定されています。そのため、パソコンと同じように再生されないことがあります。
- ホームページ上のメディアファイルの再生のしかたには、メディアプレーヤが起動して再生する場合とホームページに埋め込まれて再生する場合があります。
  - メディアプレーヤが起動する場合：
    - ・ 動画や音声ファイルを再生中に電話がかかってきた場合、メディアプレーヤを一時停止し、着信音が鳴ります。
    - ・ 全画面サイズで再生しているときに画面をタッチすると、通常画面サイズになります。
    - ・ サポートしていないコンテンツを再生しようとしたときに、メディアプレーヤ上に黒い矩形が一時表示される場合があります。
    - ・ 通常画面サイズで再生しているときに画面をタッチすると、一時停止します。通常画面サイズで一時停止または停止しているときに画面にタッチすると、再生します。
    - ・ 動画再生中にヘルプを表示した場合は、動画の再生は一時停止状態になります。ヘルプを閉じたあと、「再生」ボタンにタッチして動画の再生を再開してください。
    - ・ 動画再生中にコンテンツの終了約3秒以内で「一時停止」ボタンをタッチした場合は、動画の再生が停止する場合があります。繰り返し再生の場合は一時停止することができますが、その際、一時停止解除後に、コンテンツの先頭から再生が始まる場合があります。
  - ホームページに埋め込まれている場合：
    - ・ 動画再生中に一時停止を行った場合、スクロール時に映像が正常に表示されない場合があります。その場合は、一時停止を解除してください。
    - ・ 動画や音声ファイルを再生中に電話がかかってきた場合、再生は終了し、着信音が鳴ります。
    - ・ 表示領域サイズがコンテンツサイズより小さい場合は、映像は縮小されて表示されます。スクロールにより、表示領域サイズがコンテンツサイズより小さくなった場合も、映像は縮小されて表示されます。
    - ・ コンテンツを再生しているときに音量を調節する場合は、ブラウザの「音量」ボタンで調節してください。
    - ・ 全画面サイズで再生しているときに画面をタッチすると、一時停止します。
    - ・ 早送り、巻き戻しなどを行ったあと、映像または音声はすぐに再生されない場合があります。その場合は、しばらくお待ちください。また、コンテンツ上のボタンにより全画面表示にした場合、画面全体に映像が再生されるため早送り、巻き戻しなどの操作は行えません。全画面表示を解除するときは、インターネットボタンを押してください。

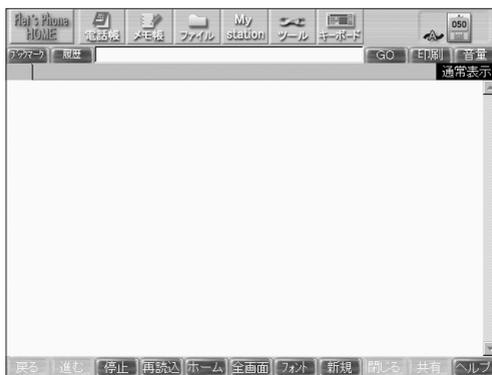
## お知らせ

### ○メディアプレーヤ/埋め込み共通：

- ・一時停止ができないコンテンツがあります。コンテンツの再生を止める場合、[停止] ボタンをタッチしてください。
- ・サポートしている動画のビットレートは2Mbps以下です。2Mbps以上の動画の再生を続けていると、システムに大きな負荷がかかり、動作が著しく遅くなったり、停止したりする可能性があります。その場合は、本商品を再起動するか電源を入れ直してください。
- ・ファイル形式により正しく再生できない場合があります。サポートしているファイル形式は、次のとおりです。
  - 音声ファイル：WAV、WMA、MP3
  - 動画ファイル：WMV (Windows Media 9)サポートしていない形式のファイルは再生できません。また、サポートされているファイル形式であっても配信方式によっては再生できない場合があります。
- ・ネットワーク負荷などの影響により、十分な回線速度を確保できない場合は、動画を正しく再生できないことがあります。その場合は、しばらく待つか別のビットレートのもので再度お試しください。
- ・動画や音声再生中に電話を受けた場合、通話が開始できるまでに10秒以上かかることがあります。
- ・画面サイズ640×480ドットの動画を再生した場合、320×240ドットに縮小されて表示されます。
- ・動画の読み込み中や再生中に次のような操作を行うと、システムに負荷がかかり、動画が静止画となったり、動画の再生がコマ送りまたは停止するなど、正常に表示されない場合があります。
  - 電話着信などのネットワークアクセス
  - スクロールによる画像の再描画
  - 連続してボタンを押す
  - ヘルプの参照
  - 通常画面から全画面へ、全画面から通常画面への表示切替その場合は、動画の再生を再度行ってください。
- ・DRM (著作権保護、暗号化技術) コンテンツはサポートしていません。このようなコンテンツを再生しようとする、認証ページが表示される場合があります。そのときは、キーボードによる文字の入力はできません。
- ・サポートしていない形式のファイルを再生したとき、映像の表示や音声の再生が行われないことがあります。サポートしている形式のファイルであっても、システムの状態によっては「不明なエラーが発生しました」などのエラーメッセージが表示され、再生できない場合があります。その場合は、メディアプレーヤをいったん終了させ、使用していないブラウザタブを閉じて、再度動画の再生を行ってください。また、特殊なホームページの記述による動画再生や低速での動画再生などで、システムに大きな負荷がかかり動作が著しく遅くなったり、停止したりする可能性があります。その場合は、本商品を再起動するか電源を入れ直してください。

## ■ ホームページを見ます

本体前面のインターネットボタンを押すとブラウザ画面が表示されます。プロバイダを利用している場合は、インターネットに接続してホームページを見ることができます（ホームページによっては、正しく表示できない場合があります）。よく見るホームページをブックマークに登録することもできます。



### ワンポイント

- ・ 本商品どうし、またはフレッツフォン VP1000との通話の場合には、通話相手に現在表示しているWEBページを通知できます（URLの共有）。
- ・ ブラウザで表示している内容を印刷することができます。印刷機能について詳しくは、画面上のヘルプをご覧ください。

### お知らせ

- 子画面内をタッチすることで表示位置が左右に移動します。
- ホームページスクロール中に、着信や共有依頼などのメッセージを表示した場合、画面が正しく表示されないことがあります。その場合は、画面中央部分にタッチしてください。
- H.323で通話している場合および内部・外部メモリ、またはメール添付されたファイルを表示している場合は、URLの共有はできません。
- 通話中にテレビ電話以外の機能を利用する場合は、通話相手の映像を子画面で表示します。なお、双方で映像送信している場合のみ表示されます。
- 通話中は一度表示した子画面を消すことはできません。ただし、共有操作を繰り返すと、子画面が他の画面の背後に隠れてしまうことがあります。本体前面のTV電話ボタンを押して、テレビ電話画面に戻ってください。
- 本商品のブラウザは機能が限定されています。そのためパソコンと同じようには表示されないことがあります。
- 大容量のファイルや大きなサイズの画像およびFlashコンテンツは、正常に表示されない場合があります。

## お知らせ

- ホームページの内容によっては、正しく表示されないだけでなく、システムに大きな負荷がかかり動作が著しく遅くなったり、停止する可能性があります。例えば、次のような場合があります。

- ・ 検索サイトなど、検索結果が多数表示されるようなサイトを閲覧した場合
- ・ 1ページあたりの容量が非常に大きいサイトを閲覧した場合
- ・ Flashを使用したホームページを複数開いた場合
- ・ 容量の大きなFlashを使用したホームページを閲覧した場合
- ・ 上記のようなホームページを閲覧したあと、ホームページに埋め込まれているコンテンツを再生しようとした場合
- ・ 読み込み処理が終わらない場合やページ移動が出来なくなった場合

その場合は、電源ボタンを4秒以上押し続けて電源を切り、再度電源ボタンを押して電源を入れ直してください。電源ボタンを4秒以上長く押し続けたり、電源コードを抜いたりして電源を切ると、本商品が起動しなくなる場合があります。電源ボタンが作動しなかったり、再起動ができないとき以外には、ご利用にならないでください。

- ホームページのURLの長さが256文字以上の場合は、そのホームページを開くことができません。ホームページに埋め込まれた画像ファイルなどのリンク先アドレスも同様です。
- 本商品のブラウザでは動画や音楽などのコンテンツを、2つ同時に開くことはできません。
- リンク先をタッチして新規ブラウザタブが表示される場合は、ブラウザの「履歴」にURLが記憶されません。
- ブラウザの各ボタンやリンクなどを連続してタッチしないでください。
- ホームページの内容や表示するファイルによっては、読み込みに時間がかかり、画面の表示内容がすぐに更新されない場合があります。その場合は、読み込みが完了し、画面の表示内容が更新されるまでしばらくお待ちください。または【停止】ボタンを押し、再度読み込みを行ってください。
- 通話中にインターネットボタンやメールボタンを押すとそれぞれの機能をご利用いただけますが、テレビ電話はつながったままになっています。ご利用になるIPテレビ電話サービスによっては、つながっている時間に応じて料金が発生する場合があります。ご注意ください。
- ポータル画面をURLに指定する場合に、容量の大きなページや動画、音楽などのコンテンツを設定しないでください。

## ■ ひかり電話で保留、キャッチホン、内線、内線転送機能を利用します

ひかり電話をご契約している場合、次のような機能を利用することができます。

- 通話中の電話を保留することができます。
- 通話中のキャッチホン着信ができます。
- 内線通話を行うことができます。
- 通話を内線に転送することができます。
- ひかり電話において、映像通信時には、キャッチホン、保留、内線転送はできません。

### お知らせ

- 内線通話は、(“#”+) 数字1桁または2桁で発信します。
- キャッチホンを利用するには、別途付加サービスの契約が必要です。

## 通話中の電話を保留する

### 1 通話中に【保留】ボタンにタッチする

保留が開始されます。

保留中は通話相手に保留音が流れます。



### 2 通話に戻るときは、再度【保留】ボタンにタッチする

通話が再開されます。



## 通話中のキャッチホン着信

### 1 通話中に【キャッチ】ボタンにタッチする

現在通話中の相手を保留にし、新しく着信した相手と通話します。



### 2 通話している相手を変えるときは、再度【キャッチ】ボタンにタッチする



## 内線通話を行う

### 1 内線番号をタッチし、【発信】ボタンにタッチして通話を開始する



## 通話を内線転送する

### 1 通話中に【保留】ボタンにタッチする

保留中は通話相手に保留音が流れます。



### 2 内線番号をタッチし、【発信】ボタンにタッチする

転送先が着信すると、通話が開始されます。



### 3 【切る】ボタンにタッチして内線転送を完了する



## ■ 留守番電話を利用します

留守中に受けた電話の用件を記録します。

- 留守番電話を設定できます。
- 留守番電話を解除できます。
- 留守録メッセージを再生できます。
- 留守録メッセージを削除できます。



### ワンポイント

- ・本体前面のステータスランプは、留守番電話を設定している場合は橙色に点灯、留守録メッセージがある場合は橙色にゆっくりと点滅します。
- ・未再生の留守録メッセージがある場合は、「留守」ボタンが点滅します。

### お知らせ

- 留守番電話設定は、待ち受け状態でのみ設定ができます。  
留守番電話解除は、待ち受けおよび電話が使用不可状態でのみ解除ができます。
- 発信中、着信中、通話中、切断中は、留守番電話の設定はできません。
- 留守番電話設定時の応答メッセージ再生中は、着信できません。
- 応答メッセージの途中で再生を停止する場合は、音量以外のキーをタッチしてください。応答メッセージの再生が停止します。
- 留守録メッセージの録音中でも、発信ボタンまたはハンドセットで通話を開始できます。  
その場合は、それまでの録音内容は保存されません。
- 留守録は、設定により内部メモリまたは外部メモリに保存できます。
- 情報ウィンドウ内の留守録件数情報は、保存先メモリで指定されたメモリ内の件数です。保存先メモリが存在しない、または空き容量がない等で留守録が保存できない場合は、留守録件数表示が赤色で表示されます。
- 留守録の最大件数は99件です。
- 外部メモリを抜き差しした場合、再度留守番電話の設定を行ってください。
- システムの負荷により、ステータスランプの点滅間隔が長くなる場合があります。
- システムの負荷により、留守番電話の設定で設定された呼出鳴動秒数／最大保存秒数より長く動作する場合があります。
- 応答メッセージは変更することができません。
- 留守録の設定については、「留守録設定画面で設定できること」(P49)をご覧ください。

## 留守番電話を設定する

### 1 グレー表示の【留守】ボタンにタッチする

応答メッセージが再生され、「留守」ボタンが赤く変わり、ステータスランプが橙色に点灯します。



## 留守番電話を解除する

### 1 赤色表示の【留守】ボタンにタッチする

未再生の留守録メッセージがない場合（赤色点灯状態）では、メッセージ再生確認が表示されてから留守番電話設定が解除され、【留守】ボタンがグレーになります。未再生の留守録メッセージがある場合（赤色点滅状態）は、留守録メッセージを選択する画面が表示され、留守番電話設定は解除されます。



## 留守録メッセージを再生する

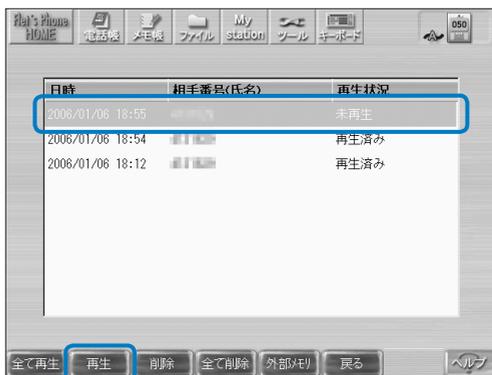
### 1 赤で点滅している状態で【留守】ボタンにタッチする

留守録メッセージ選択画面が表示されます。



### 2 再生したい留守録メッセージを選択し、【再生】ボタンにタッチする

【全て再生】ボタンにタッチすると、日付の古い順から再生が始まります。選択した留守録メッセージを連続してタッチしても再生できます。



留守録メッセージ再生画面が表示され、選択した留守録メッセージが再生されます。



## お知らせ

- 再生開始直後、映像が表示されない(黒画面のまま)場合がありますが、しばらくすると映像が表示されます。

## 留守録メッセージを削除する

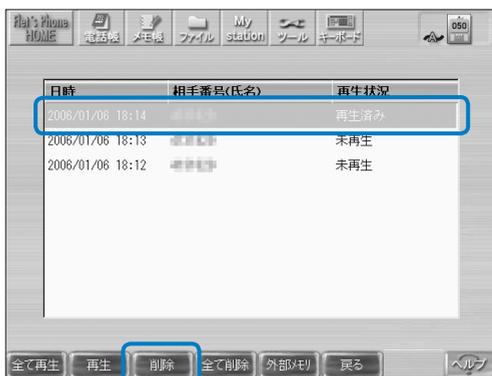
- 留守番電話が設定されている状態で【留守】ボタンにタッチする



- 削除したい留守録メッセージを選択し、【削除】ボタンにタッチする

削除確認のメッセージが表示されたら、【はい】ボタンにタッチします。

すべての留守録メッセージを削除したい場合は、【全て削除】ボタンにタッチします。削除確認のメッセージが表示されたら、【はい】ボタンにタッチします。



## ■ 留守録メッセージ再生画面中の操作について

項目	説明
繰返し	現在選択している留守録メッセージを初めから再生します。
前へ	現在表示（再生）中の、前のメッセージを再生します。 最初のメッセージを再生している場合は、[前へ] ボタンはグレー表示でタッチできません。
次へ	現在表示（再生）中の、次のメッセージを再生します。 最後のメッセージを再生している場合は、[次へ] ボタンはグレー表示でタッチできません。
削除	現在選択している留守録メッセージを削除します。 ※一度削除すると、元には戻せません。
戻る	再生中の留守録メッセージを停止し、留守録メッセージ選択画面を表示します。
音量	留守録メッセージの再生音量を調整できます。
ヘルプ	留守録メッセージ再生に関するヘルプを表示します。

### お知らせ

- 留守録選択画面で選択した機能によって、再生する順番が異なります。  
[再生] : 並べた留守録リストの先頭から再生  
[全て再生] : 日付の古い順から再生
- 留守録メッセージ再生画面で行った音量変更は、留守録メッセージ再生画面のみ有効です。  
その他の再生音量等には影響しません。

## ■ メールを送受信します

本体前面のメールボタンを押すと、メール画面が表示されます。本商品でメールの作成、送受信ができます。受信したメールに返信することもできます。メールには、画像ファイルなどを添付して送信することもできます。



### ワンポイント

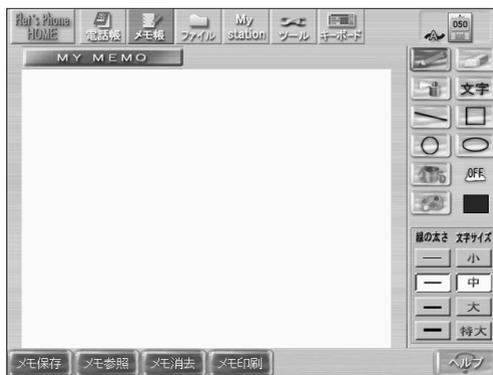
- ・ プロバイダを利用するメールの場合は、操作状況を記憶します。操作途中でほかの機能に移動しても、メールボタンを押して操作途中の画面に戻ることができます。

### お知らせ

- 新着メールのステータス表示は、本商品の再起動時やメールの読み込みの完了時に消えます。
- メール本文または件名に、ローマ数字などのメールで使えない文字を入力しないでください。送られたメールの本文や件名の文字が、正しく表示されなくなります。

## ■ メモ帳でメモを作成します

テレビ電話画面上部の【メモ帳】ボタンにタッチすると、メモ帳画面が表示されます。メモ帳を使って簡単なイラストや文章の入ったメモ（画像データ）を作成することができます。作成したデータは、本商品の内部メモリや市販のUSBメモリに保存できます（BMPファイル形式）。

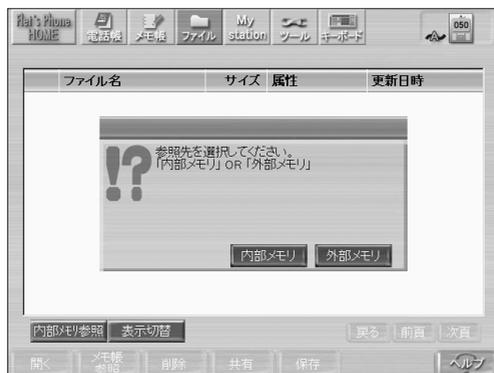


### ワンポイント

- ・ 本商品どうし、またはフレッツフォン VP1000との通話の場合には、通話中の相手とメモ帳を共有することができます（ホワイトボード機能）。通話中にメモ帳で作成した画像を送受信できます。共有後は、通話中の相手と同じ画像を見ることができます。また、共有開始後は、絵を追加することにより、相手に同じ絵を表示することができます。
- ・ メモ帳で表示している内容を印刷することができます。印刷機能や操作について詳しくは、画面上のヘルプをご覧ください。

## ■ ファイル機能で画像や動画を見ます

テレビ電話画面上部の【ファイル】ボタンにタッチすると、本商品の内部メモリや外部メモリ（USBメモリ）に保存されているファイルの内容を見ることができます。



内部メモリか外部メモリかを選択すると、保存されているファイルの一覧が表示されます。表示したいファイルを選択して【開く】ボタンにタッチすると、そのファイルの内容が表示されます。表示可能なファイルは次のファイルです。

ファイル種別	拡張子*1	再生アプリケーション
画像ファイル	.jpg、.jpeg、.bmp、.JPG、.JPEG、.BMP	メモ帳またはブラウザ
	.gif、.GIF	ブラウザ
音声ファイル	.wma、.wav、.mp3、.WMA、.WAV、.MP3	メディアプレーヤ
動画ファイル	.wmv*2、.asx、.WMV*2、.ASX	メディアプレーヤ
テキストファイル	.txt、.TXT	ブラウザ
インターネットファイル	.htm、.html、.HTM、.HTML	ブラウザ

\*1：拡張子とは、ファイルの種類を示すものです。パソコンで使用されているファイルの拡張子と同様です。

\*2：wmvファイル、WMVファイルは、Windows Media 9をサポートしています。

### ワンポイント

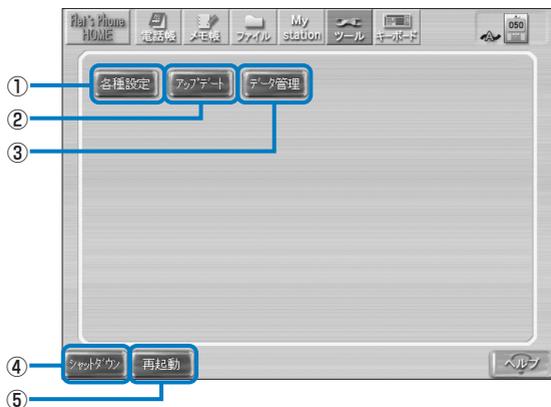
- ・本商品どうし、またはフレッツフォン VP1000との通話の場合には、通話中の相手とファイルの送受信ができます（ファイルの共有）。

### お知らせ

- USBポートは2つありますが、USBメモリを2つセットしても、1つしか認識されません。
- サポートしている形式（拡張子）のファイルでも、内容によっては正しく表示できない場合があります。また、ファイルや画像サイズによって開くことができない場合があります。詳しくは、ファイルのヘルプをご覧ください。
- 容量の大きな動画、音声、静止画などのファイルを再生しようとすると、メモリ不足により正しく再生または表示できないことがあります。
- 外部メモリにファイルを保存したり削除する場合は、外部メモリのライトプロテクトを外して書き込み許可にしてください。

## ■ ツール機能で本商品の設定や再起動などをします

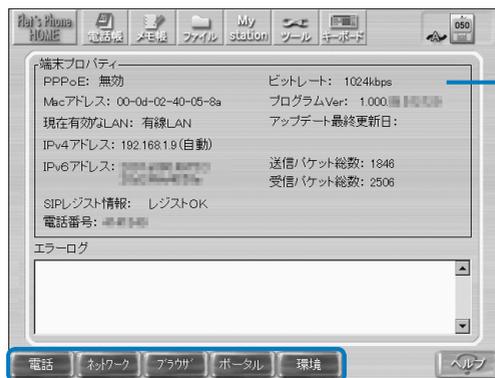
テレビ電話画面上部の「ツール」ボタンにタッチすると、次のような画面が表示されます。本商品の各種設定やシャットダウン、再起動などができます。



ボタン名	機能
①各種設定	本商品の電話の設定やネットワーク設定など、各種設定を変更できます。設定できる項目について詳しくは、「本商品の設定変更をするには」(P.84)をご覧ください。
②アップデート	本商品のシステムを更新できます。更新方法について詳しくは、「本商品のシステムをアップデートするには」(P.92)をご覧ください。
③データ管理	本商品の電話帳データのバックアップ、読み込みができます。
④シャットダウン	本商品の電源を切るときに使うボタンです。電源を切るときは、必ずこのボタンにタッチしてください。電源の切りかたについて詳しくは、「本商品の電源の切りかた」(P.37)をご覧ください。
⑤再起動	本商品を再起動します。

# 本商品の設定変更をするには

[ツール] → [各種設定] の順にボタンをタッチすると、次のような画面が表示されます。



ここには現在の設定内容が表示されています

画面下部の各ボタンにタッチすると、各種設定を変更できます

## ワンポイント

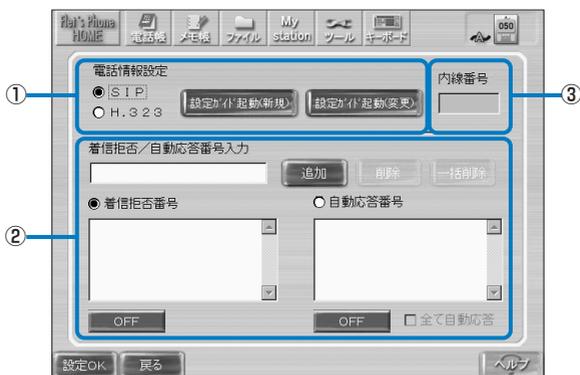
- ・ 次のメッセージはエラーではありません。
  - 端末が起動されました
  - 端末が再起動されました
  - 端末をシャットダウンしました

## お知らせ

- 設定の変更後は、各画面に表示される [設定OK] ボタンにタッチしてください。変更内容が保存されます。[戻る] ボタンにタッチすると、変更内容を保存しないで前の画面に戻ります。
- 設定内容によっては、本商品の再起動が必要になる場合があります。再起動を促すメッセージが表示された場合は、メッセージに従って本商品を再起動してください。
- 各設定について詳しくは、画面上のヘルプをご覧ください。

## ■ 電話設定画面で設定できること

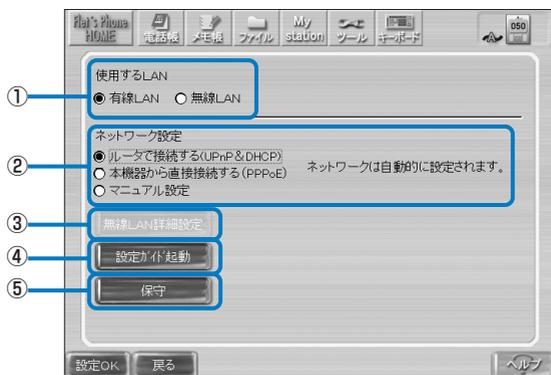
[電話] ボタンにタッチすると、次のような画面が表示されます。ここでは、電話についての設定ができます。



項目	設定内容
①電話情報設定	<p>利用するIPテレビ電話サービスの接続方式を選択します。  「SIP」を選択すると、[設定ガイド起動(新規)]ボタン、[設定ガイド起動(変更)]ボタンが有効になります。[設定ガイド起動(新規)]ボタン、[設定ガイド起動(変更)]ボタンにタッチすると、電話設定ガイドが起動します。IPテレビ電話サービスの設定を変更できます。「H.323」を選択すると、[設定ガイド起動(変更)]ボタンが有効になります。[設定ガイド起動(変更)]ボタンにタッチすると、設定内容を変更できます。設定について詳しくは、「初期設定をします」(P.26)をご覧ください。</p>
②着信拒否/自動応答番号入力	<p>着信拒否をしたい番号や自動応答(通話開始時に自動的に自分側の映像を送信)にしたい番号を設定できます。  着信拒否/自動応答番号入力欄に電話番号を入力し、着信拒否番号にするか、自動応答番号にするかを選択します。[追加]ボタンにタッチすると、入力した電話番号が一覧に表示されます。[OFF]ボタンにタッチして[ON]にすると、設定した電話番号から着信があった場合に、着信拒否または自動応答します。「自動応答番号」に設定すると、テレビ電話画面のオプションの「通話開始時の映像ON / OFF」の設定に関係なく、映像が送信されます。</p>
③内線番号	<p>ひかり電話内線番号を設定します。  ひかり電話が利用可能の場合のみ入力が可能です。入力できるのは、半角数値1桁または2桁のみです(“0”~“9”、“00”~“99”)。何も入力されていない場合、内線通話を利用しないと判断します。  ※ひかり電話を利用できない環境の場合、本項目は入力できません。</p>

## ■ ネットワーク設定画面で設定できること

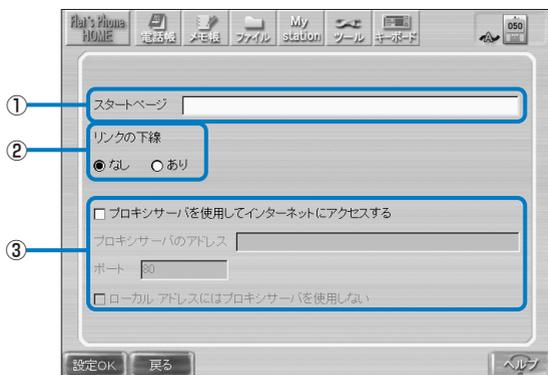
[ネットワーク] ボタンにタッチすると、次のような画面が表示されます。ここでは、インターネットに接続するためのネットワーク設定ができます。



項目	設定内容
①使用するLAN	本体背面のLANポートを使ってネットワークに接続するか、USBポートに別売の無線LANアダプタを取り付けて無線でネットワークに接続するかを選択します。「無線LAN」を選択すると、「無線LAN詳細設定」ボタンが有効になります。
②ネットワーク設定	ネットワークへの接続方法を選択し、設定します。接続方法を選択すると、右側に設定の必要な項目が表示されます。必要事項を入力してください。
③無線LAN詳細設定	「使用するLAN」で「無線LAN」を選択した場合に有効になります。無線LANに接続するための設定を行います。
④設定ガイド起動	このボタンにタッチすると、ネットワーク設定ガイドが起動して、本商品のネットワーク設定が自動で設定されます。設定について詳しくは、「初期設定をします」(P.26)をご覧ください。
⑤保守	当社のお問い合わせ窓口にお問い合わせいただいた際、本体の動作確認をするために使用します。窓口の担当者から指示があった場合にタッチしてください。通常はタッチしないでください。

## ■ ブラウザ設定画面で設定できること

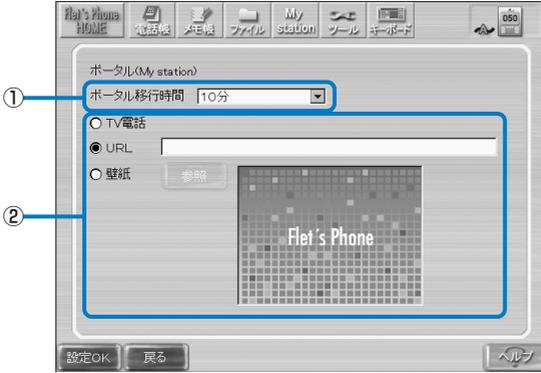
[ブラウザ] ボタンにタッチすると、次のような画面が表示されます。ここでは、ブラウザについての設定ができます。



項目	設定内容
①スタートページ	ブラウザの [ホーム] ボタンを押したときに表示されるページを設定します。本商品を起動後、初めてインターネットボタンを押したときもこのページが表示されます。
②リンクの下線	ホームページ内で他のページへのリンクがある箇所を、下線で表示するかどうかを選択します。
③プロキシサーバの設定	インターネットに接続する際に、プロキシサーバを使用するかどうかを設定します。プロキシサーバを使用する場合は、「プロキシサーバを使用してインターネットにアクセスする」を選択して、プロキシサーバのアドレスを入力してください。

## ■ ポータル設定画面で設定できること

[ポータル] ボタンにタッチすると、次のような画面が表示されます。[MY station] ボタンを押すか、または本商品を何も操作しない状態が続くと、自動的にポータル画面が表示されます。ここでは、ポータル画面についての設定ができます。



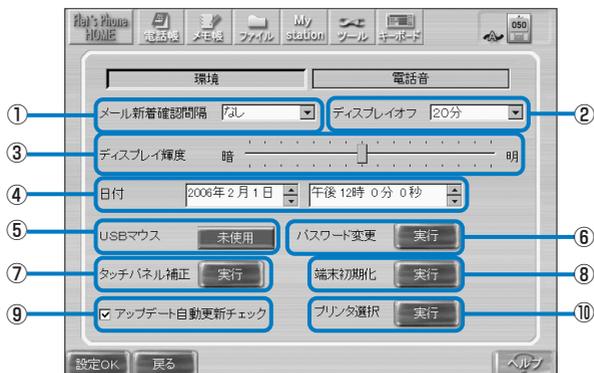
項目	設定内容
①ポータル移行時間	ポータル画面が表示されるまでの時間を設定できます。
②ポータル画面の選択	ポータル画面として表示する画面を選択します。 「TV電話」を選択すると、待ち受け時にテレビ電話画面を表示することができます。「URL」を選択すると、待ち受け時に任意のホームページを表示することができます。URL欄に表示させたいホームページのURLを入力してください。「壁紙」を選択すると、待ち受け時に本商品の内部メモリまたは外部メモリに保存されている静止画を表示することができます。[参照] ボタンにタッチして、表示したい静止画を選択してください。

### お知らせ

- 「URL」を選択した場合、ポータルに設定したホームページの表示は、次のようになります。
  - ・ ホームページは全画面で表示されます。
  - ・ ホームページのリンクにタッチすると、リンク先のページが表示されます。ただし、元のページには戻れません。また、新しいウィンドウが開かれるようなリンクには対応していません。新しいウィンドウが開かれるページの場合は、本体前面のインターネットボタンを押して表示させてください。
  - ・ 動画や音声再生されるページは表示できません。
  - ・ 音量の調整はできません。
  - ・ ページの印刷はできません。
- 「URL」、「壁紙」を選択した場合、通話中に [My station] ボタンにタッチすると、「通話中は、選択した機能を実行できません。」と表示され、本機能は実行されません。
- ポータル画面が表示されたあと、通常の使用に戻るには、インターネット、メール、TV電話のいずれかのボタンを押してください。
- ディスプレイオフの設定時間によっては、ポータル画面が表示されない場合があります。

## ■ 環境設定画面で設定できること

[環境] ボタンにタッチすると、次のような画面が表示されます。ここでは、本商品の使用環境についての設定ができます。



項目	設定内容
①メール新着確認間隔	新着メールが届いているかどうかを確認する間隔を、設定できます。
②ディスプレイオフ	本商品を何も操作しない状態が続いたときに、液晶ディスプレイ（タッチパネル）の表示を消して省電力モードに入るまでの時間を設定できます。
③ディスプレイ輝度	液晶ディスプレイ（タッチパネル）の明るさを調整できます。
④日付	本体の日付と時刻の設定ができます。日付と時刻は、電話の発着信履歴、プロバイダを利用したメールの送受信時に表示されます。正しく設定しておいてください。
⑤USBマウス	本体側面のUSBポートに、市販のUSBマウスを接続して使用するための設定ができます。USBマウスを使用する場合は、[未使用] ボタンにタッチして[使用]にし、各種設定を終了させるときに必ず再起動してください。
⑥パスワード変更	パスワードの設定画面が表示されます。パスワード設定により保護される場所は、電話のオプション画面、プロバイダを利用するメールの設定画面、「各種設定」内の設定画面です。なお、パスワード入力失敗時にはパスワード入力ダイアログが閉じ、画面は切り替わりません。
⑦タッチパネル補正	画面にタッチしたときの位置ずれを補正できます。[実行] ボタンにタッチして、表示されるメッセージに従って操作してください。
⑧端末初期化	本商品をお買い上げのときの状態に戻します。詳しくは、「本商品をお買い上げのときの状態に戻すには（初期化）」(P.91)をご覧ください。
⑨アップデート自動更新チェック	チェックを付けると、本商品のシステムの更新情報がないかを自動的に確認します。更新情報がある場合は、ステータス表示に[アップデート] アイコンが表示されます。
⑩プリンタ選択	印刷するプリンタの選択を行います。



### ワンポイント

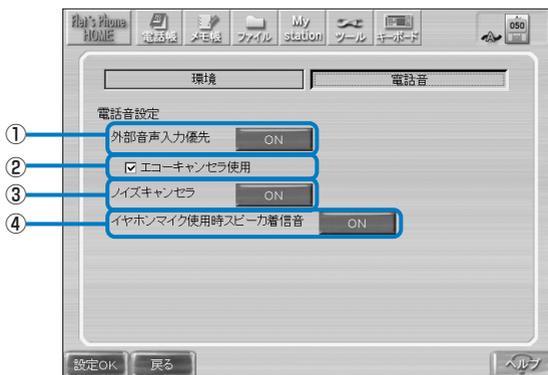
- ・ 初期状態は、パスワード設定なしです。
- ・ パスワード設定で、空文字（何も入力しない）にするとパスワード設定を解除できます。
- ・ パスワードに設定可能な文字は、半角英数です。英字は、大文字／小文字を区別します。
- ・ パスワードは、4文字以上、8文字以内で設定してください。
- ・ パスワードを忘れてしまった場合は、再設定できません。  
「本商品をお買い上げのときの状態に戻すには（初期化）」(P.91) をご覧になり、本商品の内容を初期状態にしてください。

## お知らせ

- ディスプレイオフになっているときに着信があると、ディスプレイオフが解除されます。
- USBマウスを設定を変更し、[設定OK] ボタンにタッチすると、再起動の確認画面が表示されます。[いいえ] ボタンにタッチすると、[使用] になっていてもUSBマウスが使えない場合があります。ご注意ください。
- 通話中は、メール新着確認、アップデート自動更新チェックは実行されません。
- 操作を促すメッセージを表示中にディスプレイオフになると、再度画面を表示したときに、メッセージのみ表示した画面になります。

## ■ 電話音設定画面で設定できること

[電話音] ボタンにタッチすると、次のような画面が表示されます。ここでは、本商品の音声入力についての設定ができます。



項目	設定内容
① 外部音声入力優先	ONにすると、音声入力端子に外部機器が接続されていれば接続されている機器を使用し、接続されていないときは内蔵マイクを使用します。OFFにすると、常に内蔵マイクを使用します。ただし、ハンドセット、イヤホンマイク使用時は内蔵マイクは使用しません。
② エコーキャンセラ使用	チェックを付けると、音声入力端子からの音声に対してエコーキャンセラ機能を使用するようになります。スピーカーから出力された音声をマイクが拾うことで発生するエコーやハウリングを抑える機能で、テレビ電話の音声を相手に聞きやすくすることができます。
③ ノイズキャンセラ	ノイズキャンセラ機能を有効にするかどうかを設定します。ノイズキャンセラとは、周囲の騒音を抑える機能です。周囲に騒音がある場所でも、テレビ電話の音声を相手に聞きやすくすることができます。ただし、ハンドセット、イヤホンマイク、外部音声入力使用時はノイズキャンセラ機能は使用しません。
④ イヤホンマイク使用時スピーカ着信音	イヤホンマイク接続時に、着信音を本体スピーカからも出力するかどうかを設定します。

## 本商品をお買い上げのときの状態に戻すには（初期化）

【ツール】 ボタンを使って、本商品の設定をお買い上げのときの状態に戻す（初期化）ことができます。

### お知らせ

- 本商品を廃棄（または譲渡、返却）される際には、必ず本商品の設定をお買い上げのときの状態に戻し、本商品内に登録または保持されたデータを消去してください。
- お買い上げのときの状態に戻すと、電話帳やメール、メモ帳など、本商品内に登録されたデータはすべて消去されます。重要なデータは、外部メモリに保存しておいてください。メールのデータは、外部メモリには保存できません。別に紙に書き写すなどしてください。

### 本体前面の3ボタンによる方法

- 1** TV電話ボタン、メールボタン、インターネットボタンの3つを同時に押して、本商品を起動する  
電源投入後のプログレスバー表示から、画面が切り替わるまで押し続けてください。

### メニューからの方法

- 1** 【ツール】 → 【各種設定】 の順にボタンにタッチする
- 2** 【環境】 ボタンにタッチする
- 3** 「端末初期化」 の【実行】 ボタンにタッチする
- 4** 【はい】 ボタンにタッチする  
「端末データの削除が完了しました。」 と表示されます。
- 5** 【再起動】 ボタンまたは【シャットダウン】 ボタンにタッチする  
【再起動】 ボタンにタッチした場合は、本商品が再起動されます。【シャットダウン】 ボタンにタッチした場合は、本商品のシャットダウンが行われます。  
再度、インターネット接続やテレビ電話を利用するときは、「初期設定をします」(P.26) をご覧になり、初期設定をやり直してください。

# 本商品のシステムをアップデートするには

本商品のシステムをアップデートすることで、機能の追加や改善などができます。お客様が手動で本商品のアップデートを行いたい場合は、次の手順で本商品のシステムをアップデートしてください。

## お知らせ

- アップデートを行う前に、本商品に保存されている重要なデータ、設定内容などは、外部メモリにバックアップをとるか、別に紙に書き写すなどしておいてください。
- ステータス表示に  が表示されたら、システムのアップデートができます。
- アップデートが完了するまで、約10～30分かかります（ご利用の回線の通信速度、ネットワークの状況、サーバの混雑状況によっては、それ以上の時間がかかる場合もあります）。
- アップデート中は、電話の着信を含め、アップデート以外の機能はすべて使えません。
- アップデート中は、絶対に本商品の電源を切らないでください。

## 1 【ツール】 → 【アップデート】 の順にボタンにタッチする

更新情報の確認が始まります。

更新情報が取得されると、アップデートするかどうかを確認する画面が表示されます。

## 2 【はい】 ボタンにタッチする

システムのアップデートが始まります。

## ■ アップデートが正しくできたか確認する

アップデートが正しくできているかは、次の手順で確認できます。

## 1 【ツール】 → 【各種設定】 の順にボタンにタッチする

各種設定のメイン画面が表示されます。

「プログラムVer:」の表示が最新版に変更されていれば、アップデートは正しくできています。

# 付 録

---

制限事項

仕 様

故障かなと思ったら

こんなときは

エラーメッセージ一覧

索 引

保守サービスのご案内

# 制限事項

本商品のご利用に際して、下記のような制限事項があります。

## ■ IPテレビ電話サービスに関する注意事項

- 次のようなときは、テレビ電話の映像品質および通話品質が劣化したり、通信が切断されたりする場合があります。
  - ・ ADSL回線の接続状況によって十分な通信速度が確保できない場合（本商品では、Bフレッツ回線のご利用を推奨しています）。
  - ・ 本商品あるいは本商品と同じルータなどに接続しているパソコンで、ファイル転送やストリーミングサービスのような大容量のデータ通信を必要とするサービスを利用中の場合
- 110番、118番、119番など一部の電話番号には、ひかり電話から発信できますが、IPテレビ電話サービスからは発信できません。また、契約されたIPテレビ電話サービスが、携帯電話やフリーダイヤルなどへの通話をサービス対象外としている場合も発信できません。  
プロバイダが提供するIPテレビ電話サービスをご利用の場合、ご利用になれるサービスについてはプロバイダ各社にお問い合わせください。
- 停電時および本商品の電源を切っている場合には、IPテレビ電話サービスを利用できません。また、IPテレビ電話サービスによる通話中に停電、あるいは本商品の電源を切ると、通話が切断されます。
- IPテレビ電話サービスご利用中にLANケーブルを抜き差しすると、システムの状態によっては回線が切れたことを認識できず、リンクダウンのエラーメッセージを表示しない場合があります。

## ■ 本商品をルータに接続して使用する場合

本商品をルータやルータ機能付きADSLモデムに接続する場合やルータ配下のネットワークに接続する場合は、次の点に注意してください。

- 本商品の設定を行う前に、ルータでインターネットに接続できるように設定を完了しておいてください。設定について詳しくは、ルータの取扱説明書をご覧ください。
- ルータに接続する場合やルータ配下のネットワークに接続する場合は、本商品の電源を入れる前に、ルータの電源を入れてください。
- ルータの設定を変更した場合やルータを再起動した場合は、本商品の電源を入れ直してください。
- ルータの電源が入っていない場合やルータの再起動中などは、本商品での電話の発着信やインターネット接続、プロバイダを利用したメールの送受信ができません。
- プロバイダを利用する場合は、ルータがUPnP機能に対応している必要があります。UPnP機能を有効にしてご使用ください。また、ご利用になるサービスによって、ルータに必要な機能が異なります。

# 仕様

項目	特長	
基本機能	テレビ電話	映像：MPEG-4 / H.263 音声：G.711
	ストリーミング	Windows Media™ 9 ※1
	WEBブラウザ	Internet Explorer 6.0 for Windows® CE
	IP電話	ハンズフリー
	表示	TFT LCD (VGA8インチ) ※2、65,536色
	カメラ	CMOS 30万画素
	操作	タッチパネル
	テレビ出力	映像：NTSC (Composite Video × 1ch、S-Video × 1ch) 音声：Stereo × 1ch
	ネットワーク	10BASE-T / 100BASE-TX
著作権保護技術	マクロビジョン	
ユーザインタフェース	ボタン	電源ボタン インターネットボタン メールボタン TV電話ボタン
	電源／ステータスランプ	電源：本商品の電源が入っているときに緑色に点灯します。 ステータス：内部メモリに情報を書き込んでいるときには橙色に速く点滅します。留守番電話を設定しているときには橙色に点灯します。留守番電話を設定して未再生の留守録メッセージが記録されているときには橙色にゆっくり点滅します。
	LINKランプ	LINK：LANのリンクが確立しているときに橙色に点灯します。
	DATAランプ	DATA：LANのデータが送受信されているときに緑色に点灯します。
外部コネクタ	USBポート	USB1.1 × 2
	LANポート	10BASE-T / 100BASE-TX × 1
	S映像出力端子	NTSC S-Video OUT × 1
	映像出力端子	NTSC Composite OUT × 1
	映像入力端子	NTSC Composite IN × 1
	音声出力端子	Stereo OUT R × 1 / L × 1
	音声入力端子	Mono × 1
	ハンドセット接続ポート	専用インタフェース × 1
	イヤホンマイク接続ポート	EIAJ RC-5240 角形ジャック端子 × 1
	電源コネクタ	DC Jack × 1
電源	入力電圧：AC100V、50 / 60Hz 定格出力：DC12V / 3.75A	
消費電流	2.2A (max)	
動作環境	温度：5～40℃ 湿度：5～85% (ただし、結露しないこと)	
電磁妨害波規格	VCCI クラスB	
サイズ	210 (W) × 199 (D) × 223 (H) mm	
重量	約2kg	

※1：コンテンツによっては正しく再生できない場合があります。

※2：液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかな黒い点や常時点灯する赤、青、緑の点が見えることがあります。見る角度によっては、色むらや明るさのむらが見えることがあります。また、電源投入直後はディスプレイが暗く感じる場合があります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。

# 故障かなと思ったら

現象	対処
テレビ電話が使用できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>LANケーブルが抜けたり、接続しているルータの再起動やPPPoE接続が切れてしまうなどの要因により、テレビ電話が使用できなくなる場合があります。ネットワーク環境上のすべてのLANケーブルが、正しく接続されているか確認してください。ネットワークの状態によっては、テレビ電話が利用できる画面に戻るまでに10分ほどかかる場合があります。また、接続環境によっては、テレビ電話が利用できる画面のままであってもテレビ電話が利用できない場合があります。しばらく経ってもテレビ電話が利用できない場合は、本商品のマニュアルやルータなどの取扱説明書に従い、再接続してください。</li> </ul>
何も表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しく接続されているか確認してください。</li> <li>省電力モード中です。液晶ディスプレイ(タッチパネル)にタッチすると画面が表示されます。</li> <li>ACアダプタのコードが破損していないか確認してください。破損している場合、すぐにACアダプタを電源コンセントから抜いてください。</li> <li>電源を再度入れるときは、電源を切ってから30秒以上経ってから行ってください。電源を切ったあとすぐに電源を入れたり、電源コードの抜き差しや電源ボタンの操作を連続して行ったりすると、起動やシャットダウンが正しくできない場合があります。</li> <li>電源コードを抜いて30秒以上経ってからあらためて差し込んでください。</li> </ul>
ときどきファンの音がする	<ul style="list-style-type: none"> <li>本体内部に熱がこもらないようにファンが動いています。故障ではありませんのでそのままご使用ください。</li> </ul>
映像が正常に表示されない(例：モザイクがかかったような映像になってしまう)	<ul style="list-style-type: none"> <li>回線速度と映像帯域の設定が合っていない可能性があります。テレビ電話画面のオプションで、「映像帯域」の設定を使用回線ごとの適切な値に変更してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- ADSL 1.5M契約の場合 128kbps</li> <li>- ADSL 1.5M契約以外の場合 384kbps</li> <li>- Bフレッツの場合 1Mbps</li> <li>- フレッツ・光プレミアムの場合 1Mbps</li> </ul> </li> <li>回線速度と映像帯域の設定を合わせても同じ現象が発生する場合は、回線品質の一時的な低下が影響している可能性があります。いったん電話を切り、しばらく経ってからおかけ直してください。</li> <li>ご使用の回線で本商品の他にもインターネット接続機器などが通信している場合、ネットワークに負荷がかかるため、映像が正常に表示されない可能性があります。いったん電話を切り、他のインターネット接続機器の使用を中止するなど、ネットワークの負荷を軽減してからおかけ直してください。</li> </ul>
本商品の映像出力端子に接続したテレビの画面がちらつく	<ul style="list-style-type: none"> <li>本商品を再起動してください。再起動の方法は、「ツール機能で本商品の設定や再起動などをします」(P.83)をご覧ください。</li> <li>表示する色や表示内容によっては、ちらつきが発生する場合があります。故障ではありませんので、そのままご使用ください。</li> </ul>
メッセージ表示中に画面が乱れる(例：メッセージの下に不完全な画像が表示される)	<ul style="list-style-type: none"> <li>メッセージ内に表示しているボタンにタッチし、メッセージを閉じてください。</li> </ul>

現象	対処
スピーカから何も聞こえない	・ [音量調節] ボタンにタッチして、受話音量を聞き取りやすい大きさに調節してください。
自分側の声が相手側に聞こえにくい	・ 本商品のマイクがふさがれていないか確認してください。
相手側の声が自分側に聞こえない 聞こえにくい 声が反響する 通話中に「ザーザー」というノイズが入る 通話中にプツプツ切れる	・ 回線品質の一時的な低下が影響している可能性があります。いったん電話を切り、しばらく経ってからおかけ直してください。 ・ 相手側が音声を保留している可能性があります。 ・ 本商品のスピーカがふさがれていないか確認してください。 ・ [音量調節] ボタンにタッチして、受話音量を聞き取りやすい大きさに調節してください。
相手側の声が大きすぎる	・ [音量調節] ボタンにタッチして、受話音量を聞き取りやすい大きさに調節してください。
携帯電話、PHSへダイヤルしたがつながらない	・ NTT東日本のFLET'S、Netナンバーをご利用の場合、これらの番号へはつながりません。加入電話からおかけください。 ・ NTT西日本のダイヤルナンバーをご利用の場合、これらの番号へはつながりません。加入電話からおかけください。 ・ プロバイダのIPテレビ電話サービスをご利用の場合、携帯電話・PHSへつながるかどうかは、プロバイダによって異なります。ご利用のプロバイダへお問い合わせください。 ・ ひかり電話をご利用の場合、携帯電話・PHSへつながります。
緊急通報番号（110番、119番、118番）にダイヤルしたがつながらない	・ ひかり電話または加入電話からおかけください。
フリーダイヤルにダイヤルしたがつながらない	・ ひかり電話または加入電話からおかけください。
ナビダイヤル、ダイヤルQ2にダイヤルしたがつながらない	・ 加入電話からおかけください。発信には利用料金が発生しますのでご了承ください。
携帯電話、PHSから着信できない	・ NTT東日本のFLET'S、Netナンバーをご利用の場合、これらの番号からはつながりません。加入電話へかけていただくようご案内ください。 ・ NTT西日本のダイヤルナンバーをご利用の場合、これらの番号からはつながりません。加入電話へかけていただくようご案内ください。 ・ プロバイダによるIPテレビ電話サービスをご利用の場合、携帯電話・PHSからつながるかどうかは、プロバイダによって異なります。ご利用のプロバイダへお問い合わせください。 ・ ひかり電話をご利用の場合、携帯電話・PHSからの着信を受けることができます。通話相手がFOMA®携帯電話の場合、テレビ電話通話が可能です
着信履歴、発信履歴、短縮ダイヤルの設定が消えた	・ 本商品の「端末初期化」を実行すると、お買い上げのときの状態になり、個人データはすべて消去されます。
インターネット閲覧中に電話を受けても、すぐにテレビ電話画面に切り替わらない	・ 本商品で容量の大きなページやFlash、動画などの動きのあるコンテンツを使用したホームページを表示している場合、システムの動作が遅くなり、電話を受けてもすぐにテレビ電話画面に切り替わらない場合があります。この場合は、テレビ電話画面に切り替わるまでしばらくお待ちください。
本商品どうして通話している場合に、ファイルやメモの「共有」ができないことがある	・ 画面に表示されているボタンへのタッチや、ファイル（の共有）、メモ帳（の共有）やブラウザ（の共有）をすばやく繰り返した場合、共有ができなくなる場合があります。再度共有をやり直すか、電話をかけ直してから共有を行ってください。 ・ H.323をご利用の場合は、共有できません。 ・ ひかり電話をご利用の場合は、ご利用の環境によっては共有できません。

現象	対処
通話開始時に緑色の画面が表示される	・ 故障ではありません。そのまま画像が表示されるまで数秒間お待ちください。
テレビ電話画面のオプションで、着信音に「ユーザ設定」を選択したら、着信時に音が鳴らない	・ WAVファイル形式の音声ファイルであっても本商品でサポートしていない特殊なものがあり、音が鳴らない場合があります。設定時に「[試聴] ボタンにタッチして、音が鳴るか確認してください。
ディスプレイが暗い	・ 電源投入直後はディスプレイが暗く感じる場合があります。しばらくお待ちください。 ・ 画面の明るさが暗く設定されている可能性があります。「ディスプレイ輝度」で明るさを調整してください。ディスプレイ輝度については、「環境設定画面で設定できること」(P.89)をご覧ください。
画面が急にポータル画面に切り替わった	・ 本商品には、タッチパネルやボタンの操作が何も無い状態が続いたときに、ポータル画面を表示する機能があります。USBキーボードやUSBマウスが接続されていた場合、その操作をしていても、設定時間後にはポータル画面に切り替わります。ポータル画面については、「ポータル設定画面で設定できること」(P.88)をご覧ください。
画面が急に暗くなる	・ 本商品には、タッチパネルやボタンの操作が何も無い状態が続いたときに、液晶ディスプレイの表示を消す機能(ディスプレイオフ)があります。タッチパネルまたはボタン操作により、表示が元に戻ります。ただし、タッチパネルの場合は、ダイヤル入力や他の機能に移行してしまうことがあります。USBキーボードやUSBマウスが接続されていた場合、その操作では元に戻りません。ディスプレイオフについては、「環境設定画面で設定できること」(P.89)をご覧ください。
USBメモリを接続していた、または抜き差ししたら映像が滑らかでなくなったり、動作が遅くなった	・ USBメモリのデータ書き込み中や読み込み中などに、USBメモリの抜き差しを行った可能性があります。USBメモリを抜いたあとでも映像が滑らかでなかったり動作が遅い場合は、本商品を再起動してください。USBメモリについては、「お願ひ」の第6項(P.6)もご覧ください。 ・ USBメモリを接続または抜き差ししていると、テレビ電話の映像に影響を与えることがあります。その場合は通話を終了し、USBメモリのアクセスランプが点滅していないことを確認してから、USBメモリを抜いてください。ファイル保存を行う場合は、内部メモリに保存してください。USBメモリを抜いたあとでも同じ現象が発生する場合は、本商品を再起動してください。
「各種設定」で本商品の設定を変更すると、本商品の再起動を促すメッセージが表示される	・ 本商品の動作を変更する設定を行った場合は、再起動が必要です。メッセージに従って本商品を再起動してください。
ポータル画面に動画ファイルを指定できない	・ ポータル画面に動画ファイルを指定することはできません。ポータル画面に設定できるのは、URLアドレスと本商品で使用する静止画のみです。
ホームページが正しく表示されない	・ 「[再読込] ボタンにタッチすると正しく表示される場合があります。ただし、本商品のブラウザはパソコンのブラウザとは機能が異なりますので、パソコンと同じようには表示されないことがあります。また、ログインや特殊なプログラムを使ったホームページなどは、本商品では正しく表示されないことがあります。
インターネットで、ファイルのダウンロードができない	・ 本商品では、インターネットでのファイルのダウンロードやアップロードはできません。

現象	対処
ホームページ閲覧時、[停止]ボタンにタッチしても読み込みが止まらない ブラウザの各ボタンが効かない場合がある	・表示しているホームページの内容やシステムに負荷を与える操作によっては、読み込みを停止できないことやブラウザの各ボタンが効かなくなることがあります。TV電話ボタンを押す等、他の機能に切り替えたあと、ブラウザに切り替えてください。または、システムを再起動してください。
ブラウザで音楽再生しているときに他の機能を利用すると、そのまま音楽が再生されたり、再生音量が変わることがある(例:着信があると、ブラウザで再生している音と着信音が重なる)	・タブを閉じるか他のページに移動して、音楽再生しているページを終了してから、他の機能をご利用ください。 ・着信の場合は、電話に出ればブラウザの音は消えて、通話のみの音になります。
外部メモリが認識されない	・USBメモリが正しくセットされていない可能性があります。 ・USBポートは2つありますが、USBメモリを2つセットしても、1つしか認識されません。 ・USBメモリを再度抜き差しするか、または本商品を再起動してください。
USBメモリに書き込みができない 書き込み動作が遅くなる	・USBメモリによっては、書き込み禁止設定スイッチなどがあり、書き込み禁止に設定されている場合があります。書き込み許可にしてご利用ください。ご利用のUSBメモリによっては、本商品の再起動が必要になります。
操作中に画面の動きが著しく遅くなったり、通話中に画像の動きがぎこちなくなることがある	・ネットワークやシステムに何らかの負荷がかかっている可能性があります。しばらくお待ちいただくか、システムを再起動してください。
本商品の動作が遅い	・ブラウザ画面でホームページを複数開いていると、本商品の動作が遅くなることがあります。見終わったページは閉じてください。
「動きのあるコンテンツを表示できない可能性があります。読み込み処理を一旦中止し、文字中心の表示に変更いたします。」というメッセージが表示される	・ブラウザの表示状態が変更され、動きのあるコンテンツが表示されなくなります。システムに負荷のかかるコンテンツの場合に表示されます。表示状態はブラウザの右上に表示されます。 ・通常の表示に戻したい場合は、通話をしていないときに、[戻る]、[進む]、[ホーム]、[Flet's Phone HOME]、[ブックマーク]、[履歴]のいずれかのボタンからページを選択するか、アドレスバーにURLを入力してページを移動してください。
通話中に動きのあるコンテンツを表示できない、文字中心の表示に変更されてしまう	・通話中にブラウザを使用すると、ブラウザの表示状態が変更され、動きのあるコンテンツが表示されなくなります。表示状態はブラウザの右上に表示されます。 ・通常の表示に戻したい場合は、通話を切断し、[戻る]、[進む]、[ホーム]、[Flet's Phone HOME]、[ブックマーク]、[履歴]のいずれかのボタンからページを選択するか、アドレスバーにURLを入力してページを移動してください。
本商品の画面が正しく表示されない	・システムに何らかの負荷がかかっている可能性があります。システムを再起動してください。
ホワイトボード共有を開始した直後、描画できないことがある ホワイトボード上で描画したものがMY MEMOに描画されていることがある	・ホワイトボード開始要求を受けたあと、タッチペンで画面をタッチしたままにすると正しく描画できない場合があります。ホワイトボード開始要求を受けたら、いったんタッチペンを画面から離し、ホワイトボード画面に切り替わるまでお待ちください。
「共有に失敗しました (E910)」が表示され、ホワイトボード共有ができない	・受信側と共有機能のバージョンが違う場合に表示されます。電話を切って送信側と受信側の本商品のシステムをアップデートしたあと、電話をかけた直して共有を行ってください。システムのアップデート方法は、「本商品のシステムをアップデートするには」(P.92)をご覧ください。

現象	対処
共有に失敗する 共有機能が正しく動作しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>「メモ参照」にてファイルを開いたあとにホワイトボード共有を行った場合は、共有に失敗したり、その後共有機能が正しく動作しなくなることがあります。共有機能が正しく動作しなくなった場合は、電話を接続し直してください。なお、「メモ参照」のあとのホワイトボード共有では、共有できる画像のファイルサイズは2MBまでです。</li> </ul>
通信相手と同時にホワイトボード共有を開始すると、開始時の画像が一致しない または指定した画像にならない	<ul style="list-style-type: none"> <li>開始画像を一致させる場合は、いったんホワイトボード共有を終了し、どちらか一方から再度ホワイトボード共有を開始してください。</li> </ul>
ホワイトボード共有中の画像が相手側の画像と一致しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホワイトボード共有中に通信相手と同時に描画を行うと、画像が一致しなくなる場合があります。画像の不一致が発生した場合には、いったんホワイトボード共有を終了してください。その後、共有する側から「現在表示している画面を送信」を指定してホワイトボード共有を行ってください。</li> </ul>
無線LAN環境でホワイトボード共有をした場合、描画が遅くなったりフリーハンドの描画が滑らかでなくなることがある ボタンをタッチして次の画面に移るまでの時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> <li>次のいずれかの方法を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- ホワイトボードの描画などの操作をゆっくり行ってください。</li> <li>- 有線LANで利用してください。</li> </ul> </li> </ul>
共有要求中に電話を切ったり、ネットワークケーブルが抜けたりとすると、約1分間操作できなくなる	<ul style="list-style-type: none"> <li>通信相手と同時に共有要求中の状態で通話を終了すると、共有機能の終了に時間がかかり、約1分端末を操作できなくなる場合があります。その場合は端末が操作できるようになるまでお待ちください。</li> </ul>
共有依頼中のメッセージが表示されたまま、約3分間操作ができなくなることがある	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホワイトボード共有開始依頼を受けたあと、ネットワーク障害などによって通信相手にリンクダウンが発生すると、共有依頼中のメッセージが表示されたまま約3分間操作ができなくなることがあります。その場合は電話をかけ直してから共有を行ってください。</li> </ul>
ホワイトボード共有を利用中にメモ消去や共有終了を行っても、通信相手に確認メッセージが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>このような場合、本商品では確認メッセージが表示されません。</li> </ul>
メール画面で複数のボタンをすばやく連続してタッチすると、本商品が応答しなくなることがある	<ul style="list-style-type: none"> <li>TV電話ボタンまたはインターネットボタンを押してから、再度メールボタンを押してください。</li> </ul>
上記事象以外で本商品の動作が不安定と感じた	<ul style="list-style-type: none"> <li>本商品の動作が不安定なときは、次のいずれかの操作を行って復旧してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 電源ボタンを短く押し続けて電源を切ってください。</li> <li>- 電源ボタンが作動しなかったり、再起動ができないときは、電源ボタンを4秒以上長く押し続けてください。</li> <li>- 本商品を再起動してください。</li> </ul> </li> <li>再起動の方法は、「ツール機能で本商品の設定や再起動などをします」(P.83)をご覧ください。</li> <li>いずれの操作もできないときは、本商品のACアダプタの電源コードを抜いてください。</li> <li>電源を入れ直すときは、電源コードを抜いて30秒以上経ってからあらためて差し込んでください。また、次のようなときには電源ボタンを押しても動作しませんので、現在の操作が終了するのを待ってからあらためて電源ボタンを押してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 画面に「電源を抜かないでください。」と表示されているとき</li> <li>- 本商品の起動中</li> <li>- メモ帳でメモを保存、または消去しているとき</li> <li>- ファイル参照で、ファイルを開く、あるいは削除、共有、保存しているとき</li> <li>- メールの受信中</li> <li>- ツールのデータ管理でバックアップしているとき</li> <li>- システムのアップデート中</li> <li>- テレビ電話のご利用中</li> </ul> </li> </ul>

# こんなときは

こんなときは	対処
お買い上げのときの状態に戻したい	「本商品をお買い上げのときの状態に戻すには(初期化)」(P.91)をご覧ください。お買い上げの状態に戻してください。個人データはすべて消去されます。十分ご注意ください。重要なデータはあらかじめ外部メモリに保存するか、別に紙に書き写すなどしてください。なお、メールのデータは外部メモリには保存できません。
メディアプレーヤで動画再生中は、電話に出ないようにしたい	本商品では電話機能が優先されるため、動画再生中に着信しないように設定することはできません。また、電話の着信応答をすると、メディアプレーヤは終了されます。
1台のルータに、本商品を複数台接続して、その電話どうして電話したい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロバイダが提供する「050」番号を利用したIPテレビ電話サービスでUPnPをご利用の場合、1台のルータに本商品を複数台接続して電話することはできません。UPnP接続の数を0または1台とし、残りをPPPoE接続にすることにより、1台のルータ下で本商品を、複数台接続しての通話ができます。</li> <li>・ ひかり電話をご利用の場合は、内線で通話が可能です。また、NTT東日本が提供する「FLET'S.Netナンバー」、もしくはNTT西日本が提供する「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能をご利用の場合は、通話が可能です。</li> </ul>
本商品を起動中に誤ってACアダプタを抜いてしまい再度起動したら、画面右上にあるステータス表示のPPPoEのアイコンに×がついて電話ができなくなった	本商品を回線終端装置(ONU)やADSLモデムに接続した環境で、正常に起動できなかった場合に起こります。[ツール] → [各種設定] → [ネットワーク] でパスワードエリアに入力後[設定OK]をタッチして設定するか、または[設定ガイド起動]ボタンをタッチして初期設定を行ってください。
本商品どうし、またはフレッツフォン VP1000との通話中、メモ帳で滑らかな線が描けない	システムやネットワークに負荷がかかっている可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共有送受信中は負荷がかかるため、共有送受信が終了してからメモの編集を行ってください。</li> <li>・ 電話の送信映像のデータ量を小さくすることで改善される場合があります。電話を切り、テレビ電話画面のオプションで「映像帯域」の設定を小さくしてください。</li> <li>・ 電話を切って本商品を再起動し、電話をかけ直してください。</li> </ul>

# エラーメッセージ一覧

エラーメッセージ	対処
起動に失敗しました。電源を再投入してください。	シャットダウン操作を行ってから電源コードを抜いて、30秒以上経ってから電源を入れ直してください。電源を入れ直しても同じメッセージが表示される場合は、本商品の異常が考えられます。当社のサービス取扱所までご連絡ください。
接続に失敗しました。 設定を確認してください。 (PPPoE:xxx)	次のような原因が考えられます。接続や設定を確認してください。 ・LANケーブルが外れている ・ユーザ名やパスワードの入力を間違えている 何らかの異常で回線が切断されたときにも、数分間このメッセージが表示されます。
内線番号設定エラー (xx)	指定した内線番号が使用できない、または、内線番号の空きがありません。接続しているルータの内線番号設定を確認してください。
選択されたファイルは閲覧再生できません。	メールの添付ファイルがサポートしていない形式のファイルです。本商品で表示できるファイルの種類については、「ファイル機能が画像や動画を見ます」(P.82)をご覧ください。
ネットワークを確立できません。 設定及び接続環境を確認してください。	ネットワークの初期設定中にエラーが発生しました。LANケーブルが外れていないか、ユーザ名やパスワードなどが正しく入力できているかなどを確認してください。
ネットワーク (PPPoE) の再接続ができませんでした。復旧のため端末を再起動します。 しばらくお待ちください。	ネットワーク (PPPoE) が切断され自動復旧を試みましたが、再接続できませんでした。本商品を自動的に再起動します。しばらくお待ちください。
只今、更新情報自動確認中です。選択した操作は実行できません。 しばらく経ってからもう一度実行してください。	アップデート情報の自動確認中です。確認処理が終わるまでは、アップデートを実行することはできません。30秒以上経ってから、もう一度実行してください。
IPアドレスを取得できませんでした。 (DHCPエラー) 本商品のネットワーク接続や接続されているネットワーク機器の設定を確認し、本商品を再起動してください。	回線断によるリンクダウン状態などにより、左記の確認画面が表示される場合があります。本商品を再起動してください。
電話機能復旧のために端末を再起動します。 しばらくおまちください。	電話機能の動作が停止しました。復旧のため、本商品を自動的に再起動します。しばらくお待ちください。
設定の保存に失敗しました。未保存データが失われる可能性があるため、端末を再起動します。 しばらくお待ちください。	何らかの原因により、ご利用の機能の設定保存に失敗しました。本商品の設定の復旧、および機能安定化のため再起動します。しばらくお待ちください。
通信再開処理実行 (xxx)	音声、映像の送受信ができなくなっています。[OK] ボタンにタッチして、音声、映像の送受信を再開してください。[OK] ボタンにタッチしたあと、しばらく経っても再開されない場合は、[切る] ボタンにタッチして通話を切断してから、本商品を再起動してください。
通話中は、再生できません。	テレビ電話での通話中に動画や音楽を再生しようとしています。通話中は動画や音楽の再生はできません。

エラーメッセージ	対処
TV電話以外の機能の画面表示ができなくなる可能性があります発生しています。ご利用いただいている機能を停止してTV電話画面に戻ります。	本商品のメモリの空き容量が不足した場合に表示されま す。本商品を再起動すると、メモリの空き容量が増えま す。
リンクダウンを検出しました。 LANケーブルまたは無線LANアダプタ の状態を確認してください。	本商品に接続されているLANケーブル／無線LANアダ プタが外れている、または瞬断の可能性があります。接 続を確認してください。
無線LANの初期化に失敗しました。	無線LANアダプタを取り付けた状態で本商品を起動し た、無線LANの初期化処理ができなかった場合に表示さ れます。本商品の電源を入れ直してください。
無線LANアダプタが実装されていま せん。	無線LANアダプタを取り付けてから無線LANの設定を やり直してください。
選択されたアダプタは現在無効の状態 か実装されていません。	無線LANアダプタが動作していないか、取り付けられ ていません。無線LANアダプタを取り付けてから無線 LANの設定をやり直してください。
無線LANアダプタを検出できません。 無線LANが使用できない可能性があります。 その場合は再起動してください。	何らかの原因により無線LANを使用できなくなりました。 無線LANアダプタの取り付けを確認し、改善しない 場合は無線LAN設定をやり直してください。
GKサーバ登録解除に失敗しました (xxx)	テレビ電話の設定が正しくできていない可能性がありま す。設定内容を確認してください。
GKサーバ登録に失敗しました (xxx)	テレビ電話の設定が正しくできていない可能性がありま す。設定内容を確認してください。
SIPサーバ登録解除に失敗しました (xxx)	プロバイダ側のサーバが正しく動作していない可能性が あります。ご利用のプロバイダにお問い合わせください。
SIPサーバ登録に失敗しました (xxx)	プロバイダ側のサーバが正しく動作していない可能性が あります。ご利用のプロバイダにお問い合わせください。
UPnP外部IPアドレスを取得できま せんでした (xx)	本商品をルータに接続しているとき、UPnP機能が正しく 動作しなかった可能性があります。次の手順を行って ください。 ①ルータがインターネット接続 (PPPoE接続) されて いるか確認してください。 ②そのままの状態ですばらくお待ちください。IPテレビ 電話サービスが使用可能になる場合があります。 ③しばらくしてもIPテレビ電話サービスが使用できない 場合は、本商品を再起動してください。
UPnP初期化処理に失敗しました (xx)	本商品をルータに接続している場合に、UPnP機能が正 しく設定できなかったときに表示されます。本商品を再 起動してください。
UPnPポートマッピングに失敗しまし た (xx)	本商品をルータに接続している場合に、UPnP機能が正 しく設定できなかったときに表示されます。次の手順を 行ってください。 ①ルータに接続されている本商品やパソコンなどの台数 を確認してください。1台のルータには、本商品は1 台のみ接続するようにしてください。 ②ルータを再起動してください。 ③本商品を再起動してください。
UPnPルータを検出できませんでした (xx)	本商品をルータに接続して使用している場合に表示され ます。次のような原因が考えられます。ルータとの接続 やルータの状態を確認してください。 ・本商品とルータを接続するLANケーブルが外れている ・ルータの電源が入っていない ・ルータが再起動中

エラーメッセージ	対処
電話帳登録エラー	電話帳の登録可能最大件数（250件）まで登録済みのため、登録できません。
電話帳入力エラー 氏名・フリガナの入力は必須です	氏名、フリガナを入力しないで電話帳の登録をしようとしています。氏名、フリガナを入力してください。
電話帳で編集集中のデータがあります 本機能は実行されません	電話帳で編集集中のデータを登録してから再度、実行してください。
バックアップファイルが見つかりませんでした	外部メモリにバックアップファイルがないため、データの読み込みができません。
バックアップファイルが不正です	バックアップファイルが壊れているため、データの読み込みができません。
音声／映像処理の初期化に失敗しました（xxx）	本商品を再起動してください。
接続先が話中です（xxx）	相手先がお話中です。しばらく経ってからおかけ直しください。
接続先番号へ接続できませんでした（xxx）	次のような原因が考えられます。 ・ 電話番号の入力を間違えている ・ 相手先が着信拒否をしている ・ 電話やネットワークの設定が正しくない 設定や電話番号を再確認してかけ直してください。設定や電話番号の入力が正しいのに接続できない場合は、発信元または相手先のネットワークに障害が発生している可能性があります。しばらく経ってからかけ直してください。
接続先番号へは本サービスで接続できません（xxx）	IPテレビ電話サービスの対象外の電話番号に電話をかけようとしています。ご利用のプロバイダに発信可能な電話番号をご確認ください。
切断処理に失敗しました（xxx）	電話が切れません。本商品を再起動してください。
入力された番号が不正です（xxx）	入力した電話番号が正しいか、再確認してください。
認証に失敗しました（xxx）	プロバイダ側のサーバが正しく動作していない可能性があります。ご利用のプロバイダにお問い合わせください。
ネットワークが使用できなくなりました	何らかの原因でネットワーク接続が切断されています。本商品を再起動してください。
ネットワーク初期化に失敗しました（xxx）	プロバイダ側のサーバの設定が正しくできていない可能性があります。次の手順を行ってください。 ①プロバイダの設定（ユーザIDやパスワードなど）が、正しくできているか確認してください。 ②本商品を再起動してください。 設定が正しいにもかかわらず同じ現象が発生する場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。
メールアドレスが選択されていません	メールアドレスが登録されていない電話帳からメールを作成しようとしています。メールアドレスを登録してください。
応答処理に失敗しました（xxx）	電話が受けられる状態にありません。本商品を再起動してください。
検索文字列が入力されていません	検索文字列を入力しないで電話帳の詳細検索をしようとしています。検索する文字列を入力してください。
検索文字列の種類が選択されていません	検索する項目を選択しないで電話帳の詳細検索をしようとしています。検索する項目を選択してください。
選択した場所にデータはありません	データが登録されていない電話帳を、編集／削除しようとしています。
電話番号が選択されていません	電話番号が登録されていない電話帳から発信しようとしています。電話番号を登録してください。
電話番号が入力されていません	電話番号を入力しないで [発信] ボタンにタッチしています。電話番号を入力してください。

エラーメッセージ	対処
発信処理に失敗しました (xxx)	電話がかかけられる状態になるまで、しばらくお待ちください。しばらくしても発信できない場合は設定内容を確認してください。
発信番号エラー	電話番号が正しく入力されているか確認してください。
着信音が登録されていません	着信音をユーザ設定にするときは、着信音の登録を行ってください。
指定されたファイルは着信音に登録できません。	指定されたファイルのサイズが512Kを超えています。または、内部メモリの空き容量が不足しています。
入力された番号は重複しています。今回の入力を取り消します。	すでに着信拒否／自動応答番号に設定されている電話番号を、入力しようとしています。入力する電話番号を再確認してください。
電話番号を入力してください。	電話番号を入力してから [追加] ボタンにタッチしてください。
削除する着信拒否番号を選択してください。	削除する着信拒否番号を選択してから [削除] ボタンにタッチしてください。
削除する自動応答番号を選択してください。	削除する自動応答番号を選択してから [削除] ボタンにタッチしてください。
「ゲートキーパアドレス」を入力してください。	ゲートキーパアドレスが入力されていません。ゲートキーパアドレスを入力してください。
「ゲートキーパアドレス」入力欄に無効な値が入力されました。	ゲートキーパアドレスが、正しく入力されているか確認してください。
「H.323ユーザ名」を入力してください。	H.323ユーザ名が入力されていません。H.323ユーザ名を入力してください。
「H.323ユーザ名」入力欄に無効な値が入力されました。	H.323ユーザ名が、正しく入力されているか確認してください。
「H.323ユーザ番号」を入力してください。	H.323ユーザ番号が入力されていません。H.323ユーザ番号を入力してください。
「H.323ユーザ番号」入力欄に無効な値が入力されました。	H.323ユーザ番号が、正しく入力されているか確認してください。
WEPキーの長さが不正です。	WEPキーが、正しく入力されているか確認してください。
WEPキーの値が不正です。	WEPキーが、正しく入力されているか確認してください。
PPPoE設定が変更されるとテレビ電話機能は使用できません。接続しますか？	ネットワーク接続の保守のため、当社への接続確認を行います。接続すると設定が変更されるため、テレビ電話機能が使用できなくなります。テレビ電話機能を使用するには、接続確認の終了後、本商品を再起動してください。
PPPoE設定が変更されるとテレビ電話機能は使用できません。切断しますか？	ネットワーク接続の保守のため、当社への接続確認を行います。切断すると設定が変更されるため、テレビ電話機能が使用できなくなります。テレビ電話機能を使用するには、接続確認の終了後、本商品を再起動してください。
PPPoE設定が変更され、テレビ電話機能は使用できません。再起動しますか？	PPPoEの設定が変更されています。本商品を再起動してください。
「IPアドレス」入力欄に無効な値が入力されました。	IPアドレスが、正しく入力されているか確認してください。
「サブネットマスク」入力欄に無効な値が入力されました。	サブネットマスクが、正しく入力されているか確認してください。
「デフォルトゲートウェイ」入力欄に無効な値が入力されました。	デフォルトゲートウェイが、正しく入力されているか確認してください。
「プライマリDNS」入力欄に無効な値が入力されました。	プライマリDNSが、正しく入力されているか確認してください。
「セカンダリDNS」入力欄に無効な値が入力されました。	セカンダリDNSが、正しく入力されているか確認してください。

エラーメッセージ	対 処
「ユーザID」入力欄に無効な値が入力されました。	ユーザIDが、正しく入力されているか確認してください。
「パスワード」入力欄に無効な値が入力されました。	パスワードが、正しく入力されているか確認してください。
「プロキシサーバーのアドレス」入力欄に無効な値が入力されました。	プロキシサーバーのアドレスが、正しく入力されているか確認してください。
URLを入力してください。	ポータル画面として表示するホームページのURLを入力してください。
「URL」入力欄に無効な値が入力されました。	URLが、正しく入力されているか確認してください。
壁紙の設定に失敗しました。	次のような原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 壁紙にしようとしているファイルが壊れている ファイルが開けるか確認してください。</li> <li>・ 内部メモリの容量が不足している 内部メモリに保存されている不要なファイルを削除してください。</li> </ul>
選択されているページは共有できません	共有できないファイルを共有しようとしています。ヘルプ、内部メモリまたは外部メモリに保存されているファイル、メール添付されたファイルは、共有できません。
メディアプレーヤの起動に失敗しました。	再度、コンテンツやファイルを指定してください。
インターネット機能の起動に失敗しました。 一旦 [TV電話] を押してダイヤル画面を表示後、再度 [インターネット] を押してください。 数回この操作を行ってもこのメッセージを表示する場合、再起動してください。	インターネット閲覧機能を起動できませんでした。画面の指示に従い、本商品の操作を行ってください。
メール機能の起動に失敗しました。 一旦 [TV電話] を押してダイヤル画面を表示後、再度 [メール] を押してください。 数回この操作を行ってもこのメッセージを表示する場合、再起動してください。	メール機能を起動できませんでした。画面の指示に従い、本商品の操作を行ってください。
ハンドセットがあがっているため、メディアプレーヤを起動できません。ハンドセットを置いてから再度メディアプレーヤを起動してください。	ハンドセットを置き台に置いてから、再度メディアコンテンツを実行してください。
ブラウザの画面表示ができなくなる可能性が発生しています。 ブラウザの機能を停止してテレビ電話画面に戻ります。	ブラウザで本商品に負荷のかかるコンテンツが表示されたので、本商品の機能保護のためブラウザの機能を停止しました。インターネット機能を使用する場合は、再度、本体前面のインターネットボタンを押してください。
タブは3個までしか作成できません これ以上タブを開くことができません	1度にかけるタブは3つまでです。使用していないタブを閉じてください。
入力されたURLファイル名が違います。 確認して再入力してください。	本商品で開けないURLまたはファイル名を指定しています。URLまたはファイル名が、正しいか確認してください。
選択されているページは何も表示されていないため、全画面表示出来ません	何も表示されていないページを全画面表示しようとしています。何も表示されていないページは全画面表示にはできません。
タイトルが未入力です。	ブックマークに追加したいホームページのタイトルを入力してください。
URLが未入力です。	ブックマークに追加したいホームページのURLを入力してください。

エラーメッセージ	対処
データを追加できません。	ブックマークに追加しようとしているホームページのタイトル、URLが入力されていません。タイトル、URLを入力してください。
ブックマークの登録可能最大件数まで登録済みのため、これ以上登録できません。	必要のないブックマークを削除して、新しいブックマークを追加登録できるようにしてください。
同じURLのブックマークが既に登録されています。上書きされますがよろしいですか。	[はい] ボタンにタッチすると、ブックマークが上書きされます。前に登録されていたホームページのブックマークは消去されます。
外部メモリが認識できません。	外部メモリ (USBメモリ) がセットされていません。本体側面のUSBポートにUSBメモリをセットしてください。
外部メモリの容量が不足しています。	外部メモリの空き容量が不足しています。ファイルを保存するには、不要なファイルを削除して、空き容量を増やしてください。
内部メモリの容量が不足しています。	内部メモリの空き容量が不足しています。ファイルを保存するには、不要なファイルを削除して、空き容量を増やしてください。
メモリの空き容量が不足しています。ファイルを開く事ができません。	メモリの空き容量が不足しています。本商品を再起動し、メモリの空き容量を増やしてからファイルを開いてください。
メモリの空き容量が不足しています。ファイルを保存することができません。	メモリの空き容量が不足しています。本商品を再起動し、メモリの空き容量を増やしてからファイルを保存してください。
本ファイルは容量が大きいため本端末で読み込めません。前回編集していたメモを表示します。	メモ帳では表示できないファイルサイズです。メモ帳で表示できるファイルのサイズは、次のとおりです。 ・ビットマップファイル 最大2Mバイトまで ・JPEGファイル 最大786,432画素 (例: 1024×768) まで
外部メモリが認識できません。内部メモリ参照に切換えます。	外部メモリ (USBメモリ) を参照中に、USBメモリが引き抜かれました。USBメモリを参照したい場合は、USBメモリをセットし直してください。
ファイルがありません。	いったんファイル画面を終了してから、もう一度ファイルを指定し直してください。
保存に失敗しました。	外部メモリのライトプロテクトを外して書き込み許可にしてください。外部メモリが、正しくセットされているか確認してください。
削除に失敗しました。	外部メモリのライトプロテクトを外して、書き込み許可にしてください。外部メモリが、正しくセットされているか確認してください。
このページを印刷することはできません。	ブラウザで、ヘルプや内部・外部メモリおよびメール添付されたファイルを表示している場合は、印刷することはできません。 メモ帳で、メモ消去後に編集しないで印刷することはできません。
プリンタが接続されていません。プリンタ接続を確認してください。	プリンタが接続されていないか電源が入っていない可能性があります。プリンタの接続を確認してください。
通話中は印刷することができません。通話切断後に印刷を行ってください。	印刷を行う場合は、通話を切断したあとに行ってください。
Internet Explorerはこのドキュメントを印刷できません。プリンタの設定を確認してください。	次のいずれかの方法を行ってください。 ・プリンタの設定を確認後、再度印刷してください。 ・本商品を再起動後、再度印刷してください。
ファイルの読み込みに失敗しました。前回編集していたメモを表示します。	破損しているファイルを「メモ帳参照」した可能性が考えられます。

エラーメッセージ	対処
ファイルの書込みに失敗しました。	本商品を再起動してください。
共有に失敗しました。(ネットワークの応答がありません)(Exxx)	<p>お使いのネットワークに負荷がかかった、通話が切断されたなど、回線異常の可能性があります。次のいずれかの方法を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電話を切って、もう一度電話をかけ直してください。</li> <li>・ 電話を切って、テレビ電話画面のオプションで「映像帯域」の設定を小さくしてください。</li> <li>・ 回線を確認してください。</li> <li>・ 電話を切って本商品を再起動し、電話をかけ直してください。</li> </ul> <p>すばやく共有をくり返すなどして、システムに負荷がかかったことが考えられます。すばやく共有をくり返さないでください。</p>
共有に失敗しました。(ファイルの処理に失敗しました)(Exxx)	<p>次のいずれかの方法を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共有するファイルがありません。送信したいファイルを確認してください。また、外部メモリ(USBメモリ)のファイルを送信する場合は、USBメモリが、正しくセットされているか確認してください。</li> <li>・ 電話を切って本商品を再起動してから共有を行ってください。</li> </ul>
共有に失敗しました。(メモリの空き容量が不足しています)	<p>共有しようとしているファイルの容量が大きすぎると、共有することができません。次のいずれかの方法を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ファイルの共有に必要なメモリの容量が不足しています。本商品を再起動して、メモリの空き容量を増やしてから共有を行ってください。</li> <li>・ 本商品の内部メモリや外部メモリに保存してあるファイルを削除して、空き容量を増やしてから共有を行ってください。</li> </ul>
共有に失敗しました。(Exxx)	<p>次のいずれかの方法を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ルータの設定で、アクセス無制限設定やパケットフィルタ設定について制限をかけている場合、解除することにより共有できる場合があります。共有で利用しているポートは、デフォルトでHTTP5024です。</li> <li>・ 「共有に失敗しました(E910)」は、相手側と共有機能のバージョンが違う場合に表示されます。電源を切って自分側と相手側の本商品の両方のシステムをアップデートしたあと、電話をかけ直して共有を行ってください。システムのアップデート方法は、「本商品のシステムをアップデートするには」(P.92)をご覧ください。</li> <li>・ 電話を切って本商品を再起動し、電話をかけ直してから再度共有を行ってください。</li> </ul>
共有要求を拒否されました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手先が共有を拒否しています。相手先に確認してください。</li> <li>・ 相手先が一定時間応答しなかった場合にも表示されます。相手先に確認してください。</li> </ul>
ホワイトボードが開始できませんでした。	<p>次のいずれかの方法を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ネットワークの負荷が高くなっている可能性があります。しばらく待ってから共有を行ってください。</li> <li>・ システムの負荷が高くなっている可能性があります。電話を切って本商品を再起動してから共有を行ってください。</li> <li>・ 電話を切って送信側と受信側の両方のシステムをアップデートしたあと、電話をかけ直して共有を行ってください。</li> </ul>

エラーメッセージ	対処
ホワイトボードが正常に終了できなかった可能性があります。	次のいずれかの方法を行ってください。 ・ ネットワークの負荷が高くなっている可能性があります。いったん電話を切ってしばらく経ってから共有を行ってください。 ・ システムの負荷が高くなっている可能性があります。電話を切って本商品を再起動してから共有を行ってください。
現在読み込んでいるコンテンツは表示できない可能性があります。 読み込み処理を一旦終了しました。	本商品では表示できないページが指定されている、または、メモリが不足しているため、現在のページを表示できません。メモリ不足の場合は、本商品の再起動により表示できることがあります。
現在サムネイル表示が出来ません。	内部メモリの空き容量が不足しています。
@マークのないメールアドレスがあります。	メールアドレスが、正しく入力されているか確認してください。
256文字を超えているメールアドレスがあります。	送信できるメールアドレスの長さは256文字までです。宛先のメールアドレスが、正しく入力されているか確認してください。
サーバのメールのサイズが大きいため、受信することができません。 行数制限受信を行ってください。	サーバに保存されているメールのサイズが大きいため、本商品で受信することができません。メールの受信設定で「受信メールの行数制限」を行って、再度受信してください。
サーバのメールのサイズが大きいため、受信することができません。メールのサイズを2Mバイトより小さくして再送していただくか、パソコンのメールソフトなどを利用して受信してください。	受信しようとしたメールのサイズが大きいため受信できません。相手からメールのサイズを2Mバイトより小さくして再送していただくか、パソコンのメールソフトなどを利用して受信してください。
パラメータエラーが発生しました。	メールのプログラムが破損している可能性があります。本商品を再起動してください。再起動後も同じ現象が発生する場合は、当社のお問い合わせ窓口にご連絡ください。
ファイルがありません。消去されている可能性があります。	外部メモリ（USBメモリ）に保存したファイルが消去されている可能性があります。USBメモリに、ファイルがあるか確認してください。 内部メモリにファイルがあるときに、このメッセージが表示される場合は、メールのプログラムが破損している可能性があります。当社のお問い合わせ窓口にご連絡ください。
フォントの読み込みに失敗しました。	本商品を再起動して、再度メール画面を表示してください。同じ現象が発生する場合は、メールのプログラムが破損している可能性があります。当社のお問い合わせ窓口にご連絡ください。
メールBOXの作成に失敗しました。	本商品を再起動して、再度メールBOXを作成してください。同じ現象が発生する場合は、メールのプログラムが破損している可能性があります。当社のお問い合わせ窓口にご連絡ください。
メールBOXの削除に失敗しました。	本商品を再起動して、再度メールBOXの削除を行ってください。同じ現象が発生する場合は、メールのプログラムが破損している可能性があります。当社のお問い合わせ窓口にご連絡ください。
メールBOXは、32個までしか作成できません。	メールBOXの最大作成数（32個）まで作成済みのため、作成できません。
メールBOX名の文字数が32文字を超えています。	メールBOX名として使用できる文字数は、32文字までです。文字数を減らしてください。
メールBOX名の変更に失敗しました。	本商品を再起動して、再度メールBOX名の変更を行ってください。同じ現象が発生する場合は、メールのプログラムが破損している可能性があります。当社のお問い合わせ窓口にご連絡ください。

エラーメッセージ	対処
メールがサーバから削除できませんでした。	原因不明のエラーが発生しています。パソコンなどのメールソフトを利用して、メールを削除してください。
メールが受信できませんでした。	原因不明のエラーが発生しています。パソコンなどのメールソフトを利用して、メールを受信してください。
メールが選択されていません。	操作したいメールを選択してから、操作ボタンにタッチしてください。
メールが送信できませんでした。 メールの内容を確認してください。 送信できなかったメールは下書きBOXに保存されます。	メールの設定、メールアドレスが正しく設定されていない可能性があります。設定情報、メールアドレスを確認して再度送信してください。
メールサーバとの通信ができませんでした。 時間を空けて再度削除してください。	何らかの原因でメールサーバと通信ができませんでした。しばらく経ってから、再度メールサーバから削除してください。
メールサーバとの通信ができませんでした。 時間を空けて再度受信してください。	何らかの原因でメールサーバと通信ができませんでした。しばらく経ってから、再度受信してください。
メールサーバとの通信ができませんでした。 時間を空けて再度送信してください。 送信できなかったメールは下書きBOXに保存されます。	何らかの原因でメールサーバと通信ができませんでした。しばらく経ってから、再度送信してください。
メールサーバとの認証に失敗しました。 メールアドレス名・メールアドレスを確認してください。	メールアドレス名、メールアドレスが正しく設定されていない可能性があります。メールアドレス名、メールアドレスの設定を確認してください。
メールサーバとの認証に失敗しました。 メールアドレス名・メールアドレスを確認してください。 送信できなかったメールは下書きBOXに保存されます。	メールアドレス名、メールアドレスが正しく設定されていない可能性があります。メールアドレス名、メールアドレスの設定を確認してください。
メールサーバに接続できませんでした。 メールサーバの設定情報を確認してください。	メールサーバの設定が正しくできていない可能性があります。送信/受信サーバのアドレス、メールアドレス名、メールアドレスが、正しく設定されているか確認してください。
メールサーバに接続できませんでした。 メールサーバの設定情報を確認してください。 送信できなかったメールは下書きBOXに保存されます。	メールサーバの設定が正しくできていない可能性があります。送信/受信サーバのアドレス、メールアドレス名、メールアドレスが、正しく設定されているか確認してください。
メールの宛先は100件までしか指定できません。	1つのメールを同報できる宛先数は100件までです。宛先を減らしてください。
メールの宛先を指定してください。	メールの宛先が指定されていません。メールの宛先を入力してから送信してください。
メールの移動に失敗しました。	本商品を再起動して、再度メールの移動を行ってください。同じ現象が発生する場合は、メールのプログラムが破損している可能性があります。当社のお問い合わせ窓口にご連絡ください。
メールの行数指定受信ができませんでした。 行数指定受信を解除して受信してください。	メールの受信設定で「受信メールの行数制限」を解除して、再度受信してください。
メールの削除に失敗しました。	本商品を再起動して、再度メールの削除を行ってください。同じ現象が発生する場合は、メールのプログラムが破損している可能性があります。当社のお問い合わせ窓口にご連絡ください。
メールを受信できませんでした。 サーバから削除された可能性があります。	パソコンなど別の機器からすでにメールを受信済みのため、サーバからメールが削除された可能性があります。

エラーメッセージ	対処
画像の展開に失敗しました。	メールのプログラムが破損している可能性があります。本商品を再起動してください。再起動後も同じ現象が発生する場合は、当社のお問い合わせ窓口にご連絡ください。
画像の読み込みに失敗しました。	メールのプログラムが破損している可能性があります。本商品を再起動してください。再起動後も同じ現象が発生する場合は、当社のお問い合わせ窓口にご連絡ください。
外部メモリが挿入されていません。OKを押すと添付ファイルを内部メモリに保存する設定でメールを受信します。キャンセルを押すと受信を取りやめます。	外部メモリ（USBメモリ）がセットされていません。[OK] ボタンにタッチすると、添付ファイルを内部メモリに保存する設定でメールを受信します。
外部メモリが挿入されていません。外部メモリを挿入し、OKボタンを押してください。	外部メモリ（USBメモリ）がセットされていません。本体側面のUSBポートにUSBメモリをセットしてください。
外部メモリにメールを保存する容量が足りませんでした。不要なデータを削除して、再度受信してください。	本商品の外部メモリ（USBメモリ）がいっぱいのため、メールが受信できませんでした。不要なデータを削除して、再度受信してください。
件名の文字数が128文字を超えています。	メールの件名に入力できる文字数は128文字までです。文字数を減らしてください。
原因不明のエラーが発生しました。	メールのプログラムが破損している可能性があります。再起動してください。再起動後も同じ現象が発生する場合は、当社のお問い合わせ窓口にご連絡ください。
削除する際に必要なメモリが確保できませんでした。	メールの削除に必要なメモリの空き容量がありません。本商品を再起動してメモリの空き容量を増やしてから、再度削除してください。なお、本商品を再起動すると、作業中の内容は失われます。
指定された名称のメールBOXは既に存在します。別の名称を指定してください。	メールBOX名を変更してください。
受信したメールのデコードができませんでした。	本商品では受信できないメールの可能性があります。パソコンのメールソフトなどを利用して、メールを受信してください。
受信したメールを保存できませんでした。不要なメールを削除して再度受信してください。	メールBOXの容量がいっぱいのため、メール保存できません。不要なメールを削除して、再度受信してください。
1行が日本語（全角）508文字を超えるメールを受信しようとした。このメールは受信できないため中断します。以降のメールを受信するには「受信」ボタンを押してください。	1行が全角508文字を超えるメールは受信できないため、受信を中断します。送信元で1行が508文字以内で改行するようにして、再送してもらってください。
1行が日本語（全角）508文字を超えるメールを受信しようとした。このメールは受信できないため中断します。	メールの受信設定で「受信メールの行数制限」を設定しているときに、1行が508文字を超えるメールを受信しました。1行が全角508文字を超えるメールは受信できないため、受信を中断します。送信元で1行が508文字以内で改行するようにして、再送してもらってください。
受信する際に必要なメモリが確保できませんでした。	メール受信に必要なメモリの空き容量がありません。本商品を再起動してメモリの空き容量を増やしてから、再度受信してください。なお、本商品を再起動すると、作業中の内容は失われます。
設定が完了していません。設定終了後、メールを作成してください。	メール送受信のための設定ができていません。設定を行ってから、メールを作成してください。
設定の登録に失敗しました。再度設定画面を表示し設定を確認してください。	設定内容に誤りがある可能性があります。設定内容を確認してください。

エラーメッセージ	対処
設定項目が入力されていません。	設定項目を入力してから [決定] ボタンにタッチしてください。
選択されているメールBOXでは操作できません。	選択しているメールBOXに、今の操作はできません。
前回送信時にエラーとなったメールの内、添付ファイルが消去されたメールがあります。ファイル確認後送信してください。	送信しようとしているメールのうち、添付ファイルが消去されているメールがあります。ファイルを確認後、再度送信してください。
送信するデータが多すぎるため、送信できません。 送信するデータを減らし、再度送信ボタンを押してください。	次のような原因が考えられます。 ・ 添付ファイルの容量が大きい ・ 添付ファイルの数が多い ・ メール本文が長すぎる 添付ファイルを減らしたり、本文を短くするなどの対処を行ってから、再度送信してみてください。
送信済みのメールは、移動できません。	「送信済みBOX」のメールを移動しようとしています。 「送信済みBOX」のメールは移動できません。
添付されているファイルが消去されています。ファイル確認後送信してください。	送信しようとしている添付ファイルが、消去されている可能性があります。ファイルを確認後、再度送信してください。
添付ファイルの書き出しに失敗しました。	外部メモリ（USBメモリ）をセットし直して、再度、添付ファイルの書き出しを行ってください。
添付ファイルの保存先が存在しません。	添付ファイルの保存先に外部メモリを選択しているときに、外部メモリ（USBメモリ）がセットされていません。本体側面のUSBポートにUSBメモリをセットしてください。
内部メモリにメールを保存する領域が足りませんでした。 不要なメールを削除して、再度受信してください。	本商品の内部メモリのメール保存領域がいっぱいのため、メールが受信できませんでした。不要なメールを削除して再度受信してください。
内部メモリの容量が不足しています。 不要なメールを削除して、再度作成してください。	メール作成に必要なメモリの空き容量が不足しています。不要なメールを削除して再度作成してください。
更新情報の取得に失敗しました。（通信失敗）	回線との接続が切断されているため、アップデートが正常に行われませんでした。次の点を確認してから、もう一度アップデートを行ってください。 ・ 本商品とモデムやルータの接続が正しくできているか ・ 回線への接続が正しくできているか ・ ネットワーク設定が正しくできているか
ファームウェアの取得に失敗しました。（通信失敗）	回線との接続が切断されているため、アップデートが正常に行われませんでした。次の点を確認してから、もう一度アップデートを行ってください。 ・ 本商品とモデムやルータの接続が正しくできているか ・ 回線への接続が正しくできているか ・ ネットワーク設定が正しくできているか 再度アップデートを行っても同じ現象が発生する場合は、サーバが正しく動作していない可能性があります。当社のお問い合わせ窓口にお問い合わせください。
ファームウェアの更新に失敗しました。（システムファイル破損）	アップデートが正常に行われませんでした。システムファイルが破損されたため、本商品の再起動ができません。当社のお問い合わせ窓口にお問い合わせください。
ファームウェアの更新に失敗しました。（アプリケーションファイル破損）	アップデートが正常に行われませんでした。もう一度アップデートをやり直してください。
メモリの確保に失敗しました。（メモリ容量不足）	システムのアップデートに必要なメモリの空き容量が不足しています。本商品を再起動してアップデートをやり直してください。

エラーメッセージ	対 処
内部メモリ容量不足です。 メールまたは、ファイルを削除して内部メモリ容量を確保してください。	内部メモリの空き容量が不足しています。アップデートを行うには、不要なファイルを削除して空き容量を増やしてください。
本音声形式に未対応のため音声は再生されません。	本商品では再生できない形式のファイルのため、音声は再生できません。
本ビデオ形式に未対応のため映像は再生されません。	本商品では再生できない形式のファイルのため、映像は再生できません。
ネットワークから映像データが受け取れないため再生できません。	ネットワークが混んでいて、データが受け取れないあるいは電話着信などのネットワークアクセスがあった可能性があります。しばらく待つか、別のビットレートのもので再度お試しください。
動作保証していない音声データのため、再生できない場合があります。	再生しようとしている音声データは、サポートしていない形式です。本商品でサポートしている形式は、「メディアプレーヤ機能ご利用時の注意」(P.69)をご覧ください。
動作保証していないデータのため、再生を停止します。	再生しようとしているデータはサポートしていない形式のため、再生は停止されます。本商品でサポートしている形式は、「メディアプレーヤ機能ご利用時の注意」(P.69)をご覧ください。
ファイルを開くことが出来ません。	本商品では再生できない形式のファイルのため、ファイルを開くことができません。
再生中にUSBメモリが抜かれました。続きを再生することが出来ません。	再生中にUSBメモリが引き抜かれました。USBポートにUSBメモリをセットして、最初から再生し直してください。
接続に失敗しました。	しばらく待ってから [再接続] ボタンにタッチして、設定をやり直してください。
予期不能なエラーが発生しました。(0xxx)	[設定ガイド起動 (新規)] ボタンで設定をやり直してください。詳しくは、「電話設定画面で設定できること」(P.85)をご覧ください。
接続に失敗しました。(エラー理由: ユーザ認証エラー)	[設定ガイド起動 (新規)] ボタンで設定をやり直してください。詳しくは、「電話設定画面で設定できること」(P.85)をご覧ください。
接続に失敗しました。(エラー理由: サーバ登録未完了)	次のいずれかの方法を試してみてください。 ・ [再接続] ボタンにタッチして、設定をやり直してください。 ・ しばらくしてから設定ガイドを実行してください。同じ現象が発生する場合は、[設定ガイド起動 (新規)] ボタンで設定をやり直してください。詳しくは、「電話設定画面で設定できること」(P.85)をご覧ください。
接続に失敗しました。(エラー理由: 予期不能なエラー)	詳しくは、「電話設定画面で設定できること」(P.85)をご覧ください。
FLET'S.Netナンバー申込サイト (フレッツ・スクウェア) への接続に失敗しました。 ルータに接続されたパソコンから、フレッツ・スクウェアに接続できるかどうか等をご確認の上、「再確認」ボタンを押してください。 ※フレッツ・スクウェアへの接続方法は、フレッツ公式ホームページ ( <a href="http://flets.com/square/con_index.html">http://flets.com/square/con_index.html</a> ) にてご確認ください。	本商品をルータに接続している場合、ルータにフレッツ・スクウェアに接続する設定がされていないときに表示されます。ルータの設定を確認してください。

エラーメッセージ	対処
ネットワーク設定ウィザードが完了していません。 ネットワーク設定ウィザードを完了させてから、本機能を実行してください。	ネットワーク設定ガイドの設定が完了していない状態で、電話設定ガイドを起動しようとした。ネットワーク設定ガイドの設定を完了させてください。
たがいまFLET'S.Net工事中です 本画面のまま1時間程度お待ちください。 1時間程度経過後、「FLET'S.Netナンバー申込み」ボタンを押して、引き続き、FLET'S.Netナンバーのお申し込みを行ってください。	FLET'S.Netの工事が終わっていないため、FLET'S.Netナンバーの申し込みができません。1時間程度待ってから、再度申し込みを行ってください。
通話中は着信音を保存できません。	通話中は着信音の保存はできません。通話を切断してから、着信音を保存してください。
着信音の保存に十分な空き容量がありません。	着信音の保存に必要なメモリの容量が不足しています。本商品を再起動してメモリの空き容量を増やしてから、着信音を保存してください。
着信音の保存に失敗しました。	次のいずれかの方法を行ってください。 ・本商品を再起動してメモリの空き容量を増やしてから、着信音を保存してください。 ・何らかの原因でネットワーク接続が切断されています。本商品を再起動したあと、再度着信音を保存してください。
応答メッセージの再生に失敗しました (xxx)	本商品を再起動してください。
録音・録画に失敗しました (xxx)	保存先のメモリ空き容量不足により、留守録メッセージを録音できません。必要のないデータを消すなどして、留守録設定画面でメッセージ保存件数(目安)が0件にならないようにしてください。改善されない場合は本商品を再起動してください。
留守録メッセージの保存に失敗しました (xxx)	保存先のメモリ空き容量不足、または外部メモリの取り外しにより、留守録メッセージを録音できません。必要のないデータを消すなどして、留守録設定画面でメッセージ保存件数(目安)が0件にならないようにしてください。改善されない場合は本商品を再起動してください。
録音・録画の中止に失敗しました (xxx)	本商品を再起動してください。
指定された留守録メッセージを削除できませんでした。	留守録メッセージのファイル属性が「読み取り専用」になっている可能性があります。外部メモリに留守録メッセージを保存された場合は、パソコン等の機器で外部メモリに格納されているファイルの属性から「読み取り専用」のチェックを外してください。または、外部メモリのライトプロテクトを外して書き込み許可にしてください。
削除できなかった留守録メッセージがありました。	留守録メッセージのファイル属性が「読み取り専用」になっている可能性があります。外部メモリに留守録メッセージを保存された場合は、パソコン等の機器で外部メモリに格納されているファイルの属性から「読み取り専用」のチェックを外してください。または、外部メモリのライトプロテクトを外して書き込み許可にしてください。
留守録メッセージ再生の初期化に失敗しました。	テレビ電話画面にて自画像が表示できることを確認してください。 自画像が表示されない場合は、本商品を再起動してください。

エラーメッセージ	対 処
留守録メッセージを再生できませんでした。	テレビ電話画面にて自画像が表示できることを確認してください。 自画像が表示されない場合は、本商品を再起動してください。
留守番電話の解除に失敗しました	再度、留守ボタンにタッチして留守番電話を設定してから解除してください。解除されない場合は本商品を再起動してください。
留守番電話の設定に失敗しました 留守録メッセージを再生しますか？	再度、留守ボタンにタッチして留守番電話を設定してください。設定されない場合は本商品を再起動してください。

# 索引

## 英字

ACアダプタ	9
ADSLモデム	17,21,22,28
FLET'S.Netナンバー	12,45
Flet's Phone HOME	34
H.323	12,46
IPテレビ電話サービス	12,44,94
IP電話	13
LANケーブル	9
LANポート	15
My station	34
S映像出力端子	15,25
TV電話ボタン	14,33
USBポート	14,24
USBマウス	24
USBメモリ	24

## あ

相手画像	35,47
アップデート	92
イメージウィンドウ	35,47
イヤホンマイク	24
イヤホンマイク接続ポート	15,24
インターネット接続	26,27
インターネットボタン	14,33
映像出力端子 (RCAピンジャック)	15,25
映像入力端子 (RCAピンジャック)	15,25
液晶ディスプレイ	14
エラーメッセージ	103
オプション	47
オプション設定	48
音声出力端子 (RCAピンジャック)	15,25
音声入力端子 (RCAピンジャック)	15,25
音量インジケータ	48
音量調節	48

## か

回線終端装置 (ONU)	17,21,22,28
加入者網終端装置 (CTU)	15,17,21,23,28
カメラ	14,47

カメラ (外部入力)	35,47
画面拡大	35,47
環境設定	89
キーボード	34,38
機能ボタン	35
基本操作	31
キャッチホン	74
切る	47
故障	97,119
こんなときは	102

## さ

削除	48
自画像	35,47
修正	48
仕様	95
詳細検索	68
情報ウィンドウ	35,48
初期化	91
初期設定	26
スイッチングハブ	17
ステータス表示	35
ステータスランプ	14
スピーカ	14
制限事項	94
セキュリティロック	14
接続例	20
設定変更	84
操作パネル	35

## た

ダイヤル画面	35
タッチ	31
タッチパネル	14
タッチペン	9,31
タッチペンケース	9,32
タッチペン用ストラップフック	15,32
短縮/ダイヤル	48
短縮ダイヤル	58
短縮登録	47
短縮ボタン	58,59
着信履歴	47,57
ツータッチ入力	38
ツール	34,83
通話中の操作	54

テレビ会議	12,46
テレビ電話	29
テレビ電話画面	34,47
電源	37
電源コード	9
電源コネクタ	15
電源ボタン	14
電源ランプ	14
電話音設定	90
電話設定	85
電話帳	34,65
電話を受ける	61
電話をかける	44
盗難防止用ロック穴	14
ドラッグ	31

な

内線転送	75
ナンバー・ディスプレイ	46
ネットワーク設定	86

は

発信	47
発信者番号通知	46
発信履歴	47,56
ハンズフリー	48
ハンドセット (オプション)	9,24,60,64
ハンドセット接続ポート	15,24
ひかり電話	12,44,73
ファイル	34,82
ブラウザ設定	87
フリガナ検索	68
フレッツ・v6アプリ	12,46
フレッツ・光プレミアム	12,46
プロバイダ	17,18,29,71,80
プロバイダが提供する「050」番号	12,29,45
ヘルプ	36,48
ポータル設定	88
ホームページ	71
補修用部品	119
保守サービス	119
保証	119
保証書	9

保留	54,73
本体ボタン	33

ま

マイク	14
待ち受け	35,47
メール	80
メールボタン	14,33
メディアプレーヤ	69
メモ帳	34,81
文字の入力	38

ら

リダイヤル	47,55
ルータ	17,21,23,28,94
ルータ機能付きADSLモデム	17,94
留守	47
留守番電話	76
留守録設定	49

# 保守サービスのご案内

## ■ 保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください（詳しくは、「保証書」の無料修理規定をご覧ください）。

## ■ 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 (修理費として、お客様へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用、部品代をいただきます) (故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください) ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要になります。

## ■ 本商品／機器の接続、設定、お取り扱い方法に関する相談は下記へお気軽にご相談ください。

### ●NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

NTT東日本 光サポートセンタ

 0120-970492 (9:00～21:00)

※携帯電話・PHS・050IP電話からご利用の場合（通話料金がかかります）  
03-5667-7035

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

### ●NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

NTT西日本 ビジュアルサポートデスク (VSD)

 0120-710494 (9:00～21:00)

※携帯電話・PHS・050IP電話からご利用の場合（通話料金がかかります）  
06-6310-3739

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

## ■ 故障の場合は

故障した場合は以下へお問い合わせください。

### ●NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）の方

 0120-242751 (終日)

### ●NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）の方

 0120-248995 (終日)

## ■ 補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

---

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://www.ntt-east.co.jp/ced/>  
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

---

©2006 NTTEAST・NTTWEST



本 2784-1 (2006.2)  
IPTV2-TEL-ドレツ